

第8回

学生生活実態調査報告書



Tokyo University of Agriculture and Technology

平成27年度
東京農工大学

ま え が き

本学では平成6年度以来、3年に1回、「学生生活実態調査」を実施し、学生の学業、課外活動、生活全般にわたるデータを収集し、教育内容、教育環境の整備および大学運営に生かすための基礎資料としてきました。今回は、3年前の平成24年度調査に続く8回目の調査となります。このほど、本調査の集計結果がまとまり、分析結果と併せて報告書として取りまとめました。

本調査でのアンケート回収率は78.7%で、第7回調査の77.9%に比べ、1ポイントアップしました。前回の77.9%も高い回収率でしたが、今回も高い回収率となりました。回収率が高かった要因としては、今回の調査において、得られた結果を大学全体のみならず、学科単位できめ細かく対応して学生生活の改善に役立てるという、アンケートの趣旨を十分に説明いただいたことが挙げられます。この調査の趣旨を理解し、積極的にアンケートに参加してくれた学生諸君に感謝するとともに、アンケートの配布や回収の促進にご努力いただいた教職員各位に心よりお礼申し上げます。

全体として、本学への満足度は85%と非常に高いのが特徴です。また、海外での留学やインターンシップへの参加を希望する学生の割合が42%と、前回調査と同様に非常に高い割合を維持しております。海外活動希望者の割合は学部1年次の学生が最も高く、グローバル化が進む中で、低学年ほど海外への意識が高いことが示されました。海外留学を妨げる要因としては経済的理由が6割以上と最も高く、次いで語学・海外生活に不安があるという理由が続き、グローバル化に向けたカリキュラムの整備や海外活動希望者への支援策の充実が必要であることがわかりました。

インターンシップは、2割程度の学生が経験しており、その満足度は9割以上でした。一方、会社説明会、大学推薦、インターンシップの充実を含めて就職支援の在り方が課題であることも浮き彫りにされました。

この他にもこの調査結果で集約された貴重な意見、希望に対し、可能な限り大学運営に生かしていきたいと考えています。

最後になりましたが、アンケート項目の策定や集計結果の分析等に関わっていただいた学生生活実態調査ワーキンググループの委員および学務部の事務職員の皆様に感謝申し上げます。

理事（教育担当）・副学長 國見 裕久

目 次

序 章	調査の概要	1
第 I 章	基本的事項	
	1～4. 調査対象人数、回収率、生活形態	4
	4. 生活形態	5
	5～6. 留学生及びその経費区分	5
第 II 章	経済的状况	
	7. 収入	6
	8. 収入源	8
	9. 支出	9
	10. 支出項目	10
	11. 授業料の主たる支払者	11
	12～13. アルバイト	12
	14～15. 経済的困難学生とその解決策	14
第 III 章	住居	
	16. 現在の住居・生活形態	16
	17. 学生寮の満足度	17
	18. 学生寮への入居希望	18
	19. 学生寮への入居を希望しない理由	18
	20. 国際交流会館への入居希望	18
	21. 国際交流会館の満足度	19
	22. 国際交流会館への入居を希望しない理由	19
第 IV 章	通学	
	23. 主な通学手段・方法	20
	24. 通学所要時間	21
第 V 章	学業、学習環境	
	25. 大学憲章、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）の周知状況	22
	26. 大学憲章や三つのポリシーの情報入手方法	22
	27. 本学への満足度	23
	28. カリキュラムへの満足度	24
	29. 教養科目（共通科目）への希望	25
	30. 一週間の平均授業外学習時間	25
	31. 授業時間外学習を行うのに必要な施設・設備や対策	28
	32. 授業における疑問についての対処方法	29
	33. 講義室、実験室への満足度	30

34.	講義室、実験室への改善希望	31
35.	校内環境への改善希望	31
36.	実験・実習における危険体験	32
37.	図書館の利用頻度	33
38.	図書館の主な用途	34
39.	図書館への満足度	36
40.	図書館への不満	37
41.	在学中の海外活動経験	38
42.	海外活動の内容	40
43.	海外での活動希望の有無	42
44.	希望する海外活動の内容	43
45.	海外活動を妨げる理由	44
第VI章 課外活動		
46.	サークル加入の有無	45
47.	加入しているサークル団体の種類	46
48.	一週間の平均活動時間	47
49.	課外活動の不満の有無	48
50.	課外活動の不満の内容	49
51.	課外活動施設等の満足度	50
52.	課外活動施設等の不満点	51
第VII章 ボランティア活動		
53.	ボランティア経験の有無	52
54.	ボランティア活動の内容	53
55.	ボランティア活動の頻度	54
56.	ボランティア活動への支援希望の有無	55
57.	ボランティア活動への支援希望内容	56
58.	ボランティア参加希望の有無	57
59.	ボランティア参加を希望しない理由	58
第VIII章 学生生活		
60.	学生生活の悩み	59
61.	対人関係の悩みの相手	62
62.	大学生活で困ったことの有無	65
63.	相談相手	66
64.	教員との対話	68
65.	学生同士の交流	69
66.	学生相談室の認知度	70
67.	保健管理センターカウンセラーの認知度	71
68.	飲み会・コンパにおける経験	72
69.	ハラスメント相談室の認知度	74
70.	セクシュアル・ハラスメントを受けた経験	75

71.	セクシュアル・ハラスメントを受けた相手	76
72.	セクハラ以外のハラスメントを受けた経験	78
73.	セクハラ以外のハラスメントを受けた相手	79
74.	喫煙の有無	81
75.	キャンパス内マナーの満足度	82
76.	キャンパス内マナーで不満に思う点	83
77.	生協食堂の利用状況	84
78.	140周年記念会館エリプス（小金井）の利用状況	84
79.	喫茶室オリザ（府中）の利用状況	84
80.	生活購買部（売店）の利用状況	84
81.	食堂・エリプス・喫茶室の満足度	87
82.	食堂・エリプス・喫茶室で不満に思う点	87
83.	生協購買部（売店）の満足度	87
84.	生協購買部（売店）で不満に思う点	87
85.	キャンパスの施設・設備環境改善希望（講義室・実験室を除く）	90
86.	工学部・小金井キャンパスの大学祭への参加	91
87.	工学部・小金井キャンパスの大学祭で改善を望むこと	92
88.	農学部・府中キャンパスの大学祭への参加	93
89.	農学部・府中キャンパスの大学祭で改善を望むこと	94
90.	生活情報の入手先（外国人留学生）	95

第Ⅸ章 進路（就職・進学）

91.	将来の希望進路	96
92.	進路に関する情報入手手段	97
93.	将来の希望職種	98
94.	希望する就職支援	98
95.	インターンシップの経験	99
96.	インターンシップ先	99
97.	インターンシップ満足度	100

第Ⅹ章 要望・意見等

巻末資料

1.	委員会等の構成メンバー	107
2.	調査票	108
3.	回答用紙	113

東京農工大学教育組織概説図

学部	大学院	
農学部	農学府	連合農学研究科
共同獣医以外の 4 学科(4 年)	9 専攻 修士課程(2 年)	博士課程(3 年)
共同獣医学科(6 年)		岐阜大学連合獣医学研究科
		博士課程(4 年)
工学部	工学府	
8 学科	7 専攻 博士前期課程(2 年)	7 専攻 博士後期課程(3 年)
	産業技術専攻(2 年)	
	生物システム応用化学府(BASE)	
	生物機能システム化学専攻 博士前期課程(2 年)	生物機能システム化学専攻 博士後期課程(3 年)
		共同先進健康科学専攻 後期 3 年だけの博士課程
	食料エネルギーシステム科学専攻(5 年)	

序章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、東京農工大学の学生の生活実態を把握し、今後の学生のための厚生施策の充実、教育・研究環境の改善及びサービスの向上等に役立たせるための資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の実施及び組織

学生へのより良いサービス向上等に資するため平成27年5月20日開催の教育・学生生活委員会において、第8回学生生活実態調査を実施することが承認され、ワーキンググループが設置された。ワーキンググループでは、過去の実態調査の反省点を精査しつつ、調査内容の企画立案、調査票の作成、調査結果の分析を実施し、ここに報告書を作成した。

3. 調査の対象

平成27年10月1日現在で本学に在籍している全学生（連合獣医学研究科、BASE 府共同先進健康科学専攻で本学配置の学生を含む）を対象とした。

ただし、休学者、研究生、科目等履修生及び留学中の学生は除いた。

4. 調査の時期

平成27年10月1日（木）～10月20日（火）

5. 調査の方法

学科ごとに必修科目の授業や研究室等で配布し、対象者自身が記入する（自記式）方式とした。

6. 調査の内容（ ）は担当教員名

I. 基本的事項（養王田 正文） II. 経済的状況（養王田 正文） III. 住居（近藤 敏之） IV. 通学（近藤 敏之） V. 学業、学習環境（有江 力、吉永 契一郎） VI. 課外活動（RAKSINCHAROENSAK PONGSATHORN、岩田 陽子） VII. ボランティア活動（RAKSINCHAROENSAK PONGSATHORN、岩田 陽子）、VIII. 学生生活（原田 賢治、馬淵麻由子） IX. 進路（就職・進学）（岩淵 喜久男）、X. 要望・意見等（土屋 俊幸、藤井 恒人）

7. 発行年月日

平成28年3月31日（木）

調査の要旨

1 経済的状況 (P6～P15)

1ヶ月の平均収入は61.8千円であり、前回と比較して顕著に減少している。特に、平均収入が20千円以下の割合が最も大きくなっている。経済的に困難な学生は全体の16.1%であり、奨学金や授業料免除などで対応している。TA、RAなどの学内のアルバイトによる支援も充実しつつあるが、学習や研究のための書籍などの購入も困難な学生が多いことから、さらなる充実がもためられている。

2 住居環境 (P16～P21)

単身生活者の割合は41.4%で、過去4回の調査を通して微減少。住居形態は、自宅生（親戚宅等含む）56.0%、単身アパート等35.6%、学生寮等8.4%。単身生活者はアパート等に満足しており、学生寮への入寮を希望する者の割合は11.5%と前回調査から13.5ポイントの大幅減。一方、留学生の53.3%、70%がそれぞれ学生寮、国際交流会館への入居を希望しており、留学生の住居環境の充実が必要。通学手段・所要時間に大きな変動は無く、全体の3分の2の学生が1時間以内で通学している。

3 学業、学習環境 (P22～P44)

- ① カリキュラムの満足度（「満足」＋「やや満足」）は69%で、前回調査から14ポイント減となった。学部別では農学部68%に対し、工学部65%とほぼ同等である。
- ② 授業外学習に割く時間は、週6時間未満が49%で、前回調査よりも4ポイント減となった。また、授業外学習に必要な施設・設備は、順番に、図書館と学習スペース、無線LANとなっている。
講義室・実験室の満足度は70%と高いが、満足していない者は机・椅子の改善を希望。そのほか講義室の形状、清掃、実験器具に対する改善希望が多い。
- ③ 図書館の利用状況は、毎日と週2～3回を合わせて27%と必ずしも高くないが、満足度は69%とまずまず高い。満足していない理由は、開館時間が短い、蔵書数が少ない等。
- ④ 海外活動希望者は42%で、前期調査から1ポイント減少。博士課程を除けば学部、修士とも低学年ほど海外希望者の割合が高く、グローバル化が進む中で、海外への意識が高い。海外留学を妨げる要因は経済的理由が6割以上、次いで語学・海外生活に不安があるという理由からであり、グローバル化に向けたカリキュラムの整備や海外活動希望者の支援策の充実が必要。

4 課外活動、ボランティア活動 (P45～P58)

課外活動に対して年々、積極的になっており、約半数が体育系サークルに所属している。活動時間としては、1時間～5時間未満が最も多い。課外活動を取り巻く大学側の状況への不満がかなり大きく、特に、練習設備・施設等への不満が増加している。施設の使い勝手の悪さ、老朽化等が進んでいることがうかがえ、大学側として今後どのように対応していくかが課題といえよう。

ボランティアに関しては、年々、参加率の低下傾向が見られ、参加回数も年に数回程度に留まっている。大学側に対する支援希望としては、交通費、情報やプログラムの紹介が挙げられた。しかし、ボランティアに対する参加希望は年々低下しており、その理由の第一位が「時間がない」という回答であった。

5 学生生活 (P59~P95)

- ① 学生の悩みの二大テーマは、学業・研究 54%と進路・就職 45%で、これまでの調査と同様の傾向。「悩みがない」が19%と前回よりも若干増加。
- ② 対人関係の悩みは15%で、その相手は友人が49%と最も高い。
- ③ 悩みの相談相手として「誰にも相談しなかった」と回答した男子学生が全体の27%で、増加傾向。対人交流を活発にもつ学生と、交流の非常に乏しい学生との二極化の可能性も推察される。
- ④ 学生相談室の認知度は、知っている者が64%、カウンセラーは67%、ハラスメント相談室は26%であり、特にハラスメント相談室の認知度が低下している。周知方法に工夫が必要。
- ⑤ 飲み会・コンパなどでの不快・危険な経験（飲酒強要、一気飲み強要、暴言・暴力、セクハラ等）は72%が「経験なし」だが、依然として「飲酒」や「一気飲み」の強要がそれぞれ300件以上、「ハラスメントを受けた」との回答も100件以上の回答となった。今後も飲酒の危険度やハラスメント防止の啓発活動が必要。
- ⑥ セクハラを受けた経験について、「ある」、「ない」2件法で質問したところ、「ある」と答えた割合は3.8%で前回調査から増加傾向。男女ともに増加しており、特に男性のセクハラへの意識が高まっている可能性がある。
- ⑦ キャンパス内マナーの満足度は、満足とやや満足の合計が69%と比較的高い。不満に思う点は、駐輪場不足が最多で、続いて、自転車の止め方、タバコの吸い方や喫煙場所、ゴミの捨て方・処理、自転車や傘の盗難、施設内の汚れ、タバコの吸い殻の処理、自転車の危険運転の順であり、教職員と学生が一体となった取り組みが必要。
- ⑧ 生協食堂等の利用状況をみると、「よく利用する」と「ときどき利用する」の合計が、生協食堂は、府中地区85%、小金井地区85%、エリプスは小金井地区73%と、比較的高いが、喫茶室オリザは府中地区で34%と利用率が低かった。また、売店の「よく利用する」割合は、府中地区51%、小金井地区37%と両地区の差が大きい。満足度については、食堂等での「満足」の割合は19%、売店では27%であり、不満に思う点で上位の、食堂等のコストパフォーマンスや混雑、売店の営業時間など、学生の声を参考にサービス内容の工夫、改善が必要。
- ⑨ キャンパスの施設・設備環境改善希望では、全回答者の40%が無線LANについて改善を希望しており、大学全体でつながりやすくしてほしいとの要望が多く、インターネット環境の整備が必要。

6 進路（就職・進学）(P96~P100)

前回と比べ、大学院への進学希望者が大幅に減少、就職希望者が増加している。

- ① 進路を考える上での情報入手手段は、前回調査と同様に、インターネットを使っているものが約70%と最も多く、次いで先輩・知人から得ているものが約55%で、大学院生では会社説明会によるものも約50%と多い。前回の調査では、大学経由の情報収集（教員17%、大学内資料10%）は高くないという結果であったが、複数回答にしたところ、教員から情報を得ているものが40%いることがわかった。
- ② 希望する就職支援は、前回調査と同様の傾向で、会社説明会の充実を望む声が約45%と最も多く、大学推薦（約36%）インターンシップの充実（約30%）を望む声も多い。全体に多様な支援を求めていることが窺われる。
- ③ 今回の新規調査項目であるインターンシップの経験は、全体で18%程度、大学院生では35%が経験しており、前回より増加。満足度は9割以上であるが、インターンシップを含めて就職支援の在り方が課題。

第 I 章 基本的事項

1～4. 調査対象人数、回収率、生活形態

対象学生 5,761 人に対して、4,536 人からの回答を得た。回収率は、全体で 78.7%であり、平成 6 年度に実施した第 1 回の調査から着実に増加していることから、本調査が本学での有効な評価して定着し得ることがわかる。性別では、男子生徒が 78.0% (3,161 件)、女子生徒が 80.5% (1,375 件) であった。

学部生の回収率は 83.6% (3,218 件) であり、大学院生の 69.0% (1,318 件) に比べて高かった。これは博士後期課程の回収率が低いことが一因であるが、博士後期課程は社会人学生が多いことが影響しており、一般の学生の生活調査としては十分に実態を反映しているものと考えられる。学部別では、農学部が 80.5% (1,126 件)、工学部が 85.3% (2,092 件) と工学部の回答率が若干高かった。

Q 1～3. 調査対象人数と回収率

学部学科等	対象学生数 (人)			回収数 (人)			回収率 (%)		
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子
《学部計》	3,850	2,639	1,211	3,218	2,181	1,037	83.6	82.6	85.6
農学部	1,398	707	691	1,126	546	580	80.5	77.2	83.9
工学部	2,452	1,932	520	2,092	1,635	457	85.3	84.6	87.9
《大学院計》	1,911	1,413	498	1,318	980	338	69.0	69.4	67.9
(農学府計)	438	259	179	333	191	142	76.0	73.7	79.3
農学府修士課程	438	259	179	333	191	142	76.0	73.7	79.3
(工学府計)	960	794	166	777	552	112	80.9	69.5	67.5
工学府博士前期課程	743	613	130	561	466	95	75.5	76.0	73.1
工学府博士後期課程	217	181	36	103	86	17	47.5	47.5	47.2
工学府専門職学位課程	81	64	17	52	42	10	64.2	65.6	58.8
連合農学研究科博士課程 (本学配置学生)	138	90	48	61	38	23	44.2	42.2	44.2
(BASE計)	234	175	59	184	140	44	78.6	80.0	74.6
BASE 博士前期課程	150	112	38	130	101	29	86.7	90.2	76.3
BASE 博士後期課程	73	51	22	38	27	11	52.1	52.9	50.0
BASE 博士課程 (共同先進)	14	7	7	8	5	3	57.1	71.4	42.9
BASE 一貫制博士課程	10	8	2	8	7	1	80.0	87.5	50.0
連合獣医学研究科博士課程 (本学配置学生)	47	28	19	24	17	7	51.1	60.7	36.8
総計	5,761	4,052	1,709	4,536	3,161	1,375	78.7	78.0	80.5

回収率の推移

調査年度	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
調査年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
回収率 (%)	26.3	24.4	21.1	49.8	63.7	53.3	77.9	78.7

4. 生活形態

生活形態は、経済状況に大きく影響する。全体の 57.4%、大学院生でも 50%程度が家族・親族と同居している。

Q 4. 生活形態

	単身生活	家族・親族と同居	友人等と同居
全体	41.4%	57.4%	1.2%
男	44.3%	54.4%	1.3%
女	34.7%	64.4%	0.9%
留学生	62.8%	27.7%	9.6%
国内生	40.5%	58.7%	0.8%
学部生	38.5%	60.5%	0.9%
大学院生	48.4%	49.8%	1.8%
農学部	36.4%	62.9%	0.7%
工学部	39.7%	59.3%	1.1%
農学府修士課程	45.0%	53.5%	1.5%
工学府博士前期課程	45.6%	52.0%	2.3%
工学府専門職学位課程	61.5%	38.5%	0.0%
工学府博士後期課程	50.5%	48.5%	1.0%
連合農学研究科博士課程	59.0%	41.0%	0.0%
B A S E 博士前期課程	54.6%	43.8%	1.5%
B A S E 博士後期課程	47.4%	50.0%	2.6%
B A S E 博士課程	50.0%	37.5%	12.5%
B A S E 一貫制博士課程	87.5%	12.5%	0.0%
連合獣医学研究科博士課程	50.0%	45.8%	4.2%

5～6. 留学生及びその経費区分

回答者に占める留学生の割合は 4.1%であった。私費留学生在が 54.3%、国費留学生在が 33.5%、政府派遣留学生在が 6.9%で、前回と比べ私費留学生在が減少した。工学府やBASE（博士前期・後期課程）では、私費留学生在の割合が高い。

Q 6. 留学生の経費区分

	私費留学生	日本政府国費留学生	母国派遣留学生	不明(※)
全体	54.3%	33.5%	6.9%	5.3%
男	51.7%	37.1%	5.2%	6.0%
女	58.3%	27.8%	9.7%	4.2%
留学生	54.3%	33.5%	6.9%	5.3%
単身生活	53.4%	37.3%	7.6%	1.7%
家族・親族と同居	53.8%	26.9%	7.7%	11.5%
学部生	40.8%	32.7%	10.2%	16.3%
大学院生	59.0%	33.8%	5.8%	1.4%
農学部	58.3%	16.7%	0.0%	25.0%
工学部	35.1%	37.8%	13.5%	13.5%
農学府修士課程	42.9%	52.4%	4.8%	0.0%
工学府博士前期課程	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
工学府専門職学位課程	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
工学府博士後期課程	78.9%	5.3%	10.5%	5.3%
連合農学研究科博士課程	68.8%	18.8%	12.5%	0.0%
B A S E 博士前期課程	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
B A S E 博士後期課程	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%
B A S E 博士課程	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
B A S E 一貫制博士課程	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
連合獣医学研究科博士課程	9.1%	72.7%	18.2%	0.0%

※不明：無回答、重複回答を含む

私費留学生の割合の推移

調査年度	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
私費留学生の割合 (%)				50.4	57.8		65.9	54.3

第Ⅱ章 経済的状况

7. 収入

全体の平均収入は 61.8 千円であり、前回と比較して顕著に減少していた。特に、平均収入が 20.0 千円以下の割合が最も大きくなっている。単身生活者が 88.2 千円、同居では 4.21 千円であった。留学生の多くは、単身であり、大学院生も多いことから、101.7 千円となっている。学部生は 42.1 千円、修士学生 68.1 千円、博士学生 12.1 千円となっている。学部学生と修士学生では家庭及び学外でのアルバイトが主要な収入源となっている。修士学生では、30%程度の学生が TA などで収入を得ている。一方、博士学生では、家庭及び学内でのアルバイトが減少し、奨学金や TA または RA からの収入の割合が多くなっている。

平均収入の推移

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
平均収入 (千円)	97.1	88.3	152.8	84.8	153.8	99.8	83.5	61.8

Q7. あなたの1か月の平均収入額は、およそいくらですか

	0~2万円	2~4万円	4~6万円	6~8万円	8~10万円	10~12万円	12~14万円	14~16万円	16~18万円	18~20万円	20万円以上	不明(※)	合計
全体	989 (21.8)	766 (16.9)	814 (17.9)	662 (14.6)	429 (9.5)	266 (5.9)	239 (5.3)	190 (4.2)	55 (1.2)	52 (1.1)	67 (1.5)	7 (0.2)	4,536
男	700 (22.1)	509 (16.1)	539 (17.1)	481 (15.2)	315 (10.0)	197 (6.2)	161 (5.1)	137 (4.3)	36 (1.1)	31 (1.0)	49 (1.6)	6 (0.2)	3,161
女	289 (21.0)	257 (18.7)	275 (20.0)	181 (13.2)	114 (8.3)	69 (5.0)	78 (5.7)	53 (3.9)	19 (1.4)	21 (1.5)	18 (1.3)	1 (0.1)	1,375
留学生	21 (11.2)	4 (2.1)	13 (6.9)	22 (11.7)	21 (11.2)	26 (13.8)	20 (10.6)	49 (26.1)	6 (3.2)	2 (1.1)	1 (0.5)	3 (1.6)	188
国内生	968 (22.3)	762 (17.5)	801 (18.4)	640 (14.7)	408 (9.4)	240 (5.5)	219 (5.0)	141 (3.2)	49 (1.1)	50 (1.1)	66 (1.5)	4 (0.1)	4,348
単身生活	146 (7.8)	124 (6.6)	283 (15.1)	340 (18.1)	293 (15.6)	201 (10.7)	199 (10.6)	159 (8.5)	43 (2.3)	42 (2.2)	43 (2.3)	5 (0.3)	1,878
家族・親族と同居	841 (32.3)	641 (24.6)	525 (20.2)	313 (12.0)	124 (4.8)	57 (2.2)	33 (1.3)	26 (1.0)	9 (0.3)	9 (0.3)	24 (0.9)	2 (0.1)	2,604
学部生	729 (22.7)	608 (18.9)	650 (20.2)	495 (15.4)	272 (8.5)	182 (5.7)	139 (4.3)	74 (2.3)	30 (0.9)	19 (0.6)	15 (0.5)	5 (0.2)	3,218
大学院生	260 (19.7)	158 (12.0)	164 (12.4)	167 (12.7)	157 (11.9)	84 (6.4)	100 (7.6)	116 (8.8)	25 (1.9)	33 (2.5)	52 (3.9)	2 (0.2)	1,318
農学部	248 (22.0)	213 (18.9)	225 (20.0)	186 (16.5)	95 (8.4)	52 (4.6)	46 (4.1)	29 (2.6)	13 (1.2)	11 (1.0)	4 (0.4)	4 (0.4)	1,126
工学部	481 (23.0)	395 (18.9)	425 (20.3)	309 (14.8)	177 (8.5)	130 (6.2)	93 (4.4)	45 (2.2)	17 (0.8)	8 (0.4)	11 (0.5)	1 (0.0)	2,092
農学府修士課程	64 (19.2)	53 (15.9)	43 (12.9)	49 (14.7)	36 (10.8)	20 (6.0)	21 (6.3)	38 (11.4)	6 (1.8)	2 (0.6)	1 (0.3)	0 (0.0)	333
工学府博士前期課程	125 (22.3)	78 (13.9)	79 (14.1)	80 (14.3)	75 (13.4)	31 (5.5)	45 (8.0)	31 (5.5)	5 (0.9)	6 (1.1)	6 (1.1)	0 (0.0)	561
工学府専門職学位課程	10 (19.2)	4 (7.7)	8 (15.4)	8 (15.4)	9 (17.3)	3 (5.8)	6 (11.5)	3 (5.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	52
工学府博士後期課程	19 (18.4)	1 (1.0)	6 (5.8)	9 (8.7)	9 (8.7)	11 (10.7)	8 (7.8)	9 (8.7)	2 (1.9)	12 (11.7)	16 (15.5)	1 (1.0)	103
連合農学研究科博士課程	6 (9.8)	2 (3.3)	5 (8.2)	4 (6.6)	5 (8.2)	6 (9.8)	7 (11.5)	7 (11.5)	3 (4.9)	6 (9.8)	10 (16.4)	0 (0.0)	61
BASE博士前期課程	32 (24.6)	16 (12.3)	19 (14.6)	14 (10.8)	18 (13.8)	10 (7.7)	10 (7.7)	7 (5.4)	2 (1.5)	2 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	130
BASE博士後期課程	3 (7.9)	2 (5.3)	3 (7.9)	1 (2.6)	4 (10.5)	2 (5.3)	2 (5.3)	5 (13.2)	4 (10.5)	3 (7.9)	9 (23.7)	0 (0.0)	38
BASE博士課程	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	8
BASE一貫制博士課程	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (87.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	8
連合獣医学研究科博士課程	1 (4.2)	1 (4.2)	1 (4.2)	2 (8.3)	1 (4.2)	1 (4.2)	1 (4.2)	5 (20.8)	3 (12.5)	1 (4.2)	6 (25.0)	1 (4.2)	24

() 割合(%)、※不明：無回答、重複回答を含む

8. 収入源

Q8. 収入源として該当するものを選んで下さい（複数選択可）

	家庭（家計支持者）から	奨学金（返還義務なし）口	奨学金（ローン・貸与）口	学外でのアルバイト	学内でのアルバイト（T・A・R・A・研究補助等）	その他	無回答	回答者数
全体	2,508 (55.3)	230 (5.1)	814 (17.9)	2,735 (60.3)	531 (11.7)	130 (2.9)	18 (0.4)	4,536
男	1,730 (54.7)	155 (4.9)	597 (18.9)	1,804 (57.1)	355 (11.2)	102 (3.2)	17 (0.5)	3,161
女	778 (56.6)	75 (5.5)	217 (15.8)	931 (67.7)	176 (12.8)	28 (2.0)	1 (0.1)	1,375
留学生	41 (21.8)	99 (52.7)	2 (1.1)	50 (26.6)	43 (22.9)	16 (8.5)	1 (0.5)	188
国内生	2,467 (56.7)	131 (3.0)	812 (18.7)	2,685 (61.8)	488 (11.2)	114 (2.6)	17 (0.4)	4,348
単身生活	1,265 (67.4)	141 (7.5)	496 (26.4)	974 (51.9)	217 (11.6)	57 (3.0)	6 (0.3)	1,878
家族・親族と同居	1,214 (46.6)	79 (3.0)	308 (11.8)	1,737 (66.7)	307 (11.8)	71 (2.7)	12 (0.5)	2,604
学部生	1,890 (58.7)	102 (3.2)	496 (15.4)	2,168 (67.4)	104 (3.2)	38 (1.2)	13 (0.4)	3,218
大学院生	618 (46.9)	128 (9.7)	318 (24.1)	567 (43.0)	427 (32.4)	92 (7.0)	5 (0.4)	1,318
農学部	662 (58.8)	27 (2.4)	150 (13.3)	819 (72.7)	46 (4.1)	14 (1.2)	3 (0.3)	1,126
工学部	1,228 (58.7)	75 (3.6)	346 (16.5)	1,349 (64.5)	58 (2.8)	24 (1.1)	10 (0.5)	2,092
農学府修士課程	165 (49.5)	35 (10.5)	82 (24.6)	178 (53.5)	92 (27.6)	9 (2.7)	1 (0.3)	333
工学府博士前期課程	300 (53.5)	24 (4.3)	150 (26.7)	269 (48.0)	203 (36.2)	11 (2.0)	1 (0.2)	561
工学府専門職学位課程	34 (65.4)	2 (3.8)	14 (26.9)	21 (40.4)	14 (26.9)	2 (3.8)	1 (1.9)	52
工学府博士後期課程	28 (27.2)	17 (16.5)	17 (16.5)	15 (14.6)	47 (45.6)	24 (23.3)	0 (0.0)	103
連合農学研究科博士課程	7 (11.5)	11 (18.0)	15 (24.6)	16 (26.2)	15 (24.6)	20 (32.8)	0 (0.0)	61
B A S E 博士前期課程	77 (59.2)	7 (5.4)	33 (25.4)	61 (46.9)	31 (23.8)	0 (0.0)	1 (0.8)	130
B A S E 博士後期課程	6 (15.8)	16 (42.1)	2 (5.3)	3 (7.9)	12 (31.6)	11 (28.9)	1 (2.6)	38
B A S E 博士課程	0 (0.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	2 (25.0)	5 (62.5)	0 (0.0)	8
B A S E 一貫制博士課程	0 (0.0)	5 (62.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	8
連合獣医学研究科博士課程	1 (4.2)	10 (41.7)	4 (16.7)	4 (16.7)	11 (45.8)	7 (29.2)	0 (0.0)	24

() 割合(%)

9. 支出

平均支出は 53.8 千円であった。収入の減少に伴い、支出も前回より大幅に減少している。支出が 20.0 千円以下の割合も高い。研究や勉学の書籍に支出している割合が 50%以下であり、課外活動費も 50%以下であることから、経済的にも大学の講義以外の活動を行うことが困難な学生が半分以上であることが明らかになった。

本年度は収入や支出は項目のみであったが、詳細なデータ解析のためには、各項目の金額を調べる必要がある。

平均支出の推移

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
平均支出 (千円)	92.3	83.5	122.9	73.5	94.8	78.3	76.4	53.8

Q9. あなたの1か月の平均支出額は、およそいくらですか

	0~2万円	2~4万円	4~6万円	6~8万円	8~10万円	10~12万円	12~14万円	14~16万円	16~18万円	18~20万円	20万円以上	不明(※)	合計
全体	1,051 (23.2)	1,068 (23.5)	691 (15.2)	661 (14.6)	403 (8.9)	247 (5.4)	212 (4.7)	94 (2.1)	36 (0.8)	11 (0.2)	29 (0.6)	33 (0.7)	4,536
男	716 (22.7)	712 (22.5)	469 (14.8)	484 (15.3)	294 (9.3)	178 (5.6)	158 (5.0)	63 (2.0)	31 (1.0)	7 (0.2)	24 (0.8)	25 (0.8)	3,161
女	335 (24.4)	356 (25.9)	222 (16.1)	177 (12.9)	109 (7.9)	69 (5.0)	54 (3.9)	31 (2.3)	5 (0.4)	4 (0.3)	5 (0.4)	8 (0.6)	1,375
留学生	3 (1.6)	9 (4.8)	8 (4.3)	37 (19.7)	31 (16.5)	45 (23.9)	29 (15.4)	19 (10.1)	3 (1.6)	0 (0.0)	3 (1.6)	1 (0.5)	188
国内生	1,048 (24.1)	1,059 (24.4)	683 (15.7)	624 (14.4)	372 (8.6)	202 (4.6)	183 (4.2)	75 (1.7)	33 (0.8)	11 (0.3)	26 (0.6)	32 (0.7)	4,348
単身生活	55 (2.9)	214 (11.4)	315 (16.8)	429 (22.8)	319 (17.0)	207 (11.0)	193 (10.3)	78 (4.2)	29 (1.5)	10 (0.5)	13 (0.7)	16 (0.9)	1,878
家族・親族 と同居	995 (38.2)	852 (32.7)	367 (14.1)	222 (8.5)	70 (2.7)	32 (1.2)	14 (0.5)	14 (0.5)	6 (0.2)	1 (0.0)	15 (0.6)	16 (0.6)	2,604
学部生	855 (26.6)	836 (26.0)	523 (16.3)	456 (14.2)	242 (7.5)	130 (4.0)	97 (3.0)	29 (0.9)	14 (0.4)	7 (0.2)	5 (0.2)	24 (0.7)	3,218
大学院生	196 (14.9)	232 (17.6)	168 (12.7)	205 (15.6)	161 (12.2)	117 (8.9)	115 (8.7)	65 (4.9)	22 (1.7)	4 (0.3)	24 (1.8)	9 (0.7)	1,318
農学部	278 (24.7)	302 (26.8)	185 (16.4)	175 (15.5)	88 (7.8)	39 (3.5)	32 (2.8)	13 (1.2)	3 (0.3)	3 (0.3)	1 (0.1)	7 (0.6)	1,126
工学部	577 (27.6)	534 (25.5)	338 (16.2)	281 (13.4)	154 (7.4)	91 (4.3)	65 (3.1)	16 (0.8)	11 (0.5)	4 (0.2)	4 (0.2)	17 (0.8)	2,092
農学府修士 課程	51 (15.3)	69 (20.7)	49 (14.7)	50 (15.0)	40 (12.0)	28 (8.4)	28 (8.4)	11 (3.3)	2 (0.6)	0 (0.0)	3 (0.9)	2 (0.6)	333
工学府博士 前期課程	103 (18.4)	112 (20.0)	81 (14.4)	91 (16.2)	68 (12.1)	36 (6.4)	39 (7.0)	17 (3.0)	6 (1.1)	1 (0.2)	2 (0.4)	5 (0.9)	561
工学府専門 職学位課程	7 (13.5)	7 (13.5)	8 (15.4)	12 (23.1)	6 (11.5)	2 (3.8)	7 (13.5)	0 (0.0)	1 (1.9)	1 (1.9)	1 (1.9)	0 (0.0)	52
工学府博士 後期課程	15 (14.6)	4 (3.9)	10 (9.7)	19 (18.4)	7 (6.8)	15 (14.6)	10 (9.7)	13 (12.6)	5 (4.9)	0 (0.0)	5 (4.9)	0 (0.0)	103
連合農学研究 科博士課程	1 (1.6)	3 (4.9)	1 (1.6)	10 (16.4)	11 (18.0)	11 (18.0)	6 (9.8)	9 (14.8)	2 (3.3)	0 (0.0)	6 (9.8)	1 (1.6)	61
B A S E博 士前期課程	19 (14.6)	32 (24.6)	17 (13.1)	17 (13.1)	22 (16.9)	11 (8.5)	9 (6.9)	0 (0.0)	1 (0.8)	1 (0.8)	0 (0.0)	1 (0.8)	130
B A S E博 士後期課程	0 (0.0)	5 (13.2)	0 (0.0)	3 (7.9)	4 (10.5)	6 (15.8)	4 (10.5)	8 (21.1)	3 (7.9)	1 (2.6)	4 (10.5)	0 (0.0)	38
B A S E博 士課程	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	2 (25.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8
B A S E一貫 制博士課程	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	2 (25.0)	4 (50.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8
連合獣医学研 究科博士課程	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (8.3)	1 (4.2)	1 (4.2)	6 (25.0)	5 (20.8)	6 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (12.5)	0 (0.0)	24

※不明：無回答、重複回答を含む。() 割合(%)

10. 支出項目

Q10. 支出項目として該当するものを選んで下さい（複数選択可）

	住居費 (駐車場代を含む。)	食費(自宅通学者は外食費)	光熱水費(通信費を含む。)	通信費(携帯電話代、電話代、ネット回線料など)	研究・勉強費・書籍費(新聞購読料を含む。)	課外活動費(サークル活動にかかる費用など)	交通費・通学費(定期券代、駐車場代、ガソリン代)	その他	無回答	回答者数
全体	1,333 (29.4)	3,967 (87.5)	1,491 (32.9)	1,619 (35.7)	2,131 (47.0)	2,173 (47.9)	2,203 (48.6)	1,481 (32.6)	2 (0.0)	4,536
男	975 (30.8)	2,753 (87.1)	1,089 (34.5)	1,239 (39.2)	1,455 (46.0)	1,445 (45.7)	1,439 (45.5)	981 (31.0)	2 (0.1)	3,161
女	358 (26.0)	1,214 (88.3)	402 (29.2)	380 (27.6)	676 (49.2)	728 (52.9)	764 (55.6)	500 (36.4)	0 (0.0)	1,375
留学生	171 (91.0)	176 (93.6)	161 (85.6)	159 (84.6)	115 (61.2)	74 (39.4)	126 (67.0)	90 (47.9)	0 (0.0)	188
国内生	1,162 (26.7)	3,791 (87.2)	1,330 (30.6)	1,460 (33.6)	2,016 (46.4)	2,099 (48.3)	2,077 (47.8)	1,391 (32.0)	2 (0.0)	4,348
単身生活	1,147 (61.1)	1,799 (95.8)	1,321 (70.3)	1,060 (56.4)	1,071 (57.0)	886 (47.2)	939 (50.0)	586 (31.2)	2 (0.1)	1,878
家族・親族と同居	143 (5.5)	2,119 (81.4)	129 (5.0)	520 (20.0)	1,027 (39.4)	1,264 (48.5)	1,232 (47.3)	874 (33.6)	0 (0.0)	2,604
学部生	771 (24.0)	2,767 (86.0)	891 (27.7)	920 (28.6)	1,422 (44.2)	1,789 (55.6)	1,508 (46.9)	1,015 (31.5)	2 (0.1)	3,218
大学院生	562 (42.6)	1,200 (91.0)	600 (45.5)	699 (53.0)	709 (53.8)	384 (29.1)	695 (52.7)	466 (35.4)	0 (0.0)	1,318
農学部	268 (23.8)	973 (86.4)	304 (27.0)	284 (25.2)	513 (45.6)	663 (58.9)	571 (50.7)	334 (29.7)	1 (0.1)	1,126
工学部	503 (24.0)	1,794 (85.8)	587 (28.1)	636 (30.4)	909 (43.5)	1,126 (53.8)	937 (44.8)	681 (32.6)	1 (0.0)	2,092
農学府修士課程	123 (36.9)	308 (92.5)	130 (39.0)	150 (45.0)	203 (61.0)	109 (32.7)	194 (58.3)	117 (35.1)	0 (0.0)	333
工学府博士前期課程	200 (35.7)	510 (90.9)	221 (39.4)	261 (46.5)	245 (43.7)	154 (27.5)	254 (45.3)	183 (32.6)	0 (0.0)	561
工学府専門職学位課程	24 (46.2)	49 (94.2)	29 (55.8)	34 (65.4)	28 (53.8)	13 (25.0)	25 (48.1)	18 (34.6)	0 (0.0)	52
工学府博士後期課程	55 (53.4)	86 (83.5)	57 (55.3)	71 (68.9)	59 (57.3)	36 (35.0)	58 (56.3)	48 (46.6)	0 (0.0)	103
連合農学研究科博士課程	42 (68.9)	56 (91.8)	43 (70.5)	50 (82.0)	48 (78.7)	18 (29.5)	41 (67.2)	23 (37.7)	0 (0.0)	61
B A S E 博士前期課程	56 (43.1)	115 (88.5)	55 (42.3)	64 (49.2)	66 (50.8)	34 (26.2)	66 (50.8)	35 (26.9)	0 (0.0)	130
B A S E 博士後期課程	30 (78.9)	38 (100.0)	33 (86.8)	32 (84.2)	31 (81.6)	13 (34.2)	28 (73.7)	21 (55.3)	0 (0.0)	38
B A S E 博士課程	5 (62.5)	7 (87.5)	5 (62.5)	8 (100.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	4 (50.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	8
B A S E 一貫制博士課程	7 (87.5)	7 (87.5)	7 (87.5)	8 (100.0)	8 (100.0)	2 (25.0)	6 (75.0)	6 (75.0)	0 (0.0)	8
連合獣医学研究科博士課程	20 (83.3)	24 (100.0)	20 (83.3)	21 (87.5)	18 (75.0)	5 (20.8)	19 (79.2)	14 (58.3)	0 (0.0)	24

() 割合(%)

11. 授業料の主たる支払者

授業料を父母や家族が負担しているものが多く、85%近くに達する。博士学生では、10%程度減少しているが、これは授業料免除の割合の増加によるものである。博士学生では、本人が負担しているケースが全体の1/3を超えているが、30%程度が家族に依存している。留学生では60%程度が授業料免除に依存している。

Q11. 授業料の主たる支払い者

	父	母	配偶者	本人	兄弟姉妹	祖父母	知人 (親類を含む)	授業料免除、奨学金の適用	不明 (※)	合計
全体	3,392 (74.8)	325 (7.2)	12 (0.3)	247 (5.4)	6 (0.1)	54 (1.2)	8 (0.2)	452 (10.0)	40 (0.9%)	4,536
男	2,367 (74.9)	206 (6.5)	9 (0.3)	182 (5.8)	5 (0.2)	33 (1.0)	8 (0.3)	320 (10.1)	31 (1.0)	3,161
女	1,025 (74.5)	119 (8.7)	3 (0.2)	65 (4.7)	1 (0.1)	21 (1.5)	0 (0.0)	132 (9.6)	9 (0.7)	1,375
留学生	27 (14.4)	12 (6.4)	2 (1.1)	30 (16.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	2 (1.1)	107 (56.9)	7 (3.7)	188
国内生	3,365 (77.4)	313 (7.2)	10 (0.2)	217 (5.0)	6 (0.1)	53 (1.2)	6 (0.1)	345 (7.9)	33 (0.8)	4,348
単身生活	1,388 (73.9)	139 (7.4)	3 (0.2)	98 (5.2)	3 (0.2)	26 (1.4)	2 (0.1)	198 (10.5)	21 (1.1)	1,878
家族・親族と同居	1,978 (76.0)	183 (7.0)	8 (0.3)	140 (5.4)	2 (0.1)	28 (1.1)	6 (0.2)	244 (9.4)	15 (0.6)	2,604
学部生	2,574 (80.0)	251 (7.8)	9 (0.3)	79 (2.5)	4 (0.1)	37 (1.1)	5 (0.2)	236 (7.3)	23 (0.7)	3,218
大学院生	818 (62.1)	74 (5.6)	3 (0.2)	168 (12.7)	2 (0.2)	17 (1.3)	3 (0.2)	216 (16.4)	17 (1.3)	1,318
農学部	906 (80.5)	98 (8.7)	4 (0.4)	28 (2.5)	1 (0.1)	15 (1.3)	3 (0.3)	67 (6.0)	4 (0.4)	1,126
工学部	1,668 (79.7)	153 (7.3)	5 (0.2)	51 (2.4)	3 (0.1)	22 (1.1)	2 (0.1)	169 (8.1)	19 (0.9)	2,092
農学府修士課程	207 (62.2)	18 (5.4)	0 (0.0)	41 (12.3)	0 (0.0)	4 (1.2)	0 (0.0)	60 (18.0)	3 (0.9)	333
工学府博士前期課程	410 (73.1)	36 (6.4)	0 (0.0)	31 (5.5)	1 (0.2)	9 (1.6)	3 (0.5)	62 (11.1)	9 (1.6)	561
工学府専門職学位課程	44 (84.6)	2 (3.8)	0 (0.0)	2 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (7.7)	0 (0.0)	52
工学府博士後期課程	39 (37.9)	8 (7.8)	0 (0.0)	30 (29.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (23.3)	2 (1.9)	103
連合農学研究科博士課程	12 (19.7)	1 (1.6)	0 (0.0)	29 (47.5)	0 (0.0)	1 (1.6)	0 (0.0)	18 (29.5)	0 (0.0)	61
B A S E 博士前期課程	93 (71.5)	8 (6.2)	0 (0.0)	9 (6.9)	0 (0.0)	2 (1.5)	0 (0.0)	17 (13.1)	1 (0.8)	130
B A S E 博士後期課程	8 (21.1)	1 (2.6)	2 (5.3)	11 (28.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (36.8)	2 (5.3)	38
B A S E 博士課程	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (50.0)	0 (0.0)	8
B A S E 一貫制博士課程	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	8
連合獣医学研究科博士課程	2 (8.3)	0 (0.0)	1 (4.2)	9 (37.5)	0 (0.0)	1 (4.2)	0 (0.0)	11 (45.8)	0 (0.0)	24

※不明：無回答、重複回答を含む。() 割合(%)

12～13. アルバイト

学外でアルバイトを行っている学生は全体の 61.1%であった。前回まで減少傾向だったが、今回 5%以上増加した。男女比では女性の方が多い。留学生は 31.9%であり比較的少ない。これは、大学院生が多いことと、国費留学生が含まれているためである。また、単身生活の学生の方が同居学生よりも 10%程度少ないことも特徴的である。学部と大学院では、学部の方が高い。大学院では、TA/RA などの学内でのアルバイトが多くなることを反映していると考えられる。農学部と工学部を比較すると農学部の方が多い。

アルバイトの時間は 15 時間以内がほとんどであるが、20 時間以上行っている学生も 6.3%いる。博士学生で長時間行っている学生の割合が多くなっている。博士学生の一部はアルバイトで生活していると考えられる。

Q12. 現在、学外でアルバイトをしていますか

	している	していない	不明(※)	合計
全体	2,773(61.1)	1,755(61.1)	8(0.2)	4,536
男	1,816(57.5)	1,338(42.3)	7(0.2)	3,161
女	957(69.6)	417(30.3)	1(0.1)	1,375
留学生	60(31.9)	127(67.6)	1(0.5)	188
国内生	2,713(62.4)	1,628(37.4)	7(0.2)	4,348
単身生活	1,035(55.1)	841(44.8)	2(0.1)	1,878
家族・親族と同居	1,710(65.7)	888(34.1)	6(0.2)	2,604
学部生	2,172(67.5)	1,042(32.4)	4(0.1)	3,218
大学院生	601(45.6)	713(54.1)	4(0.3)	1,318
農学部	826(73.4)	299(26.6)	1(0.1)	1,126
工学部	1,346(64.3)	743(35.5)	3(0.1)	2,092
農学府修士課程	188(56.5)	144(43.2)	1(0.3)	333
工学府博士前期課程	278(49.6)	283(50.4)	0(0.0)	561
工学府専門職学位課程	22(42.3)	30(57.7)	0(0.0)	52
工学府博士後期課程	19(18.4)	83(80.6)	1(1.0)	103
連合農学研究科博士課程	19(31.1)	41(67.2)	1(1.6)	61
B A S E 博士前期課程	63(48.5)	67(51.5)	0(0.0)	130
B A S E 博士後期課程	5(13.2)	33(86.8)	0(0.0)	38
B A S E 博士課程	0(0.0)	7(87.5)	1(12.5)	8
B A S E 一貫制博士課程	0(0.0)	8(100.0)	0(0.0)	8
連合獣医学研究科博士課程	7(29.2)	17(70.8)	0(0.0)	24

※不明：無回答、重複回答を含む。

() 割合(%)

Q13. 12で「している」と答えた方のアルバイトの時間

	5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間以上	不明(※)	合計
全体	633 (22.8)	816 (29.4)	769 (27.7)	374 (13.5)	176 (6.3)	5 (0.2)	2,773
男	423 (23.3)	514 (28.3)	495 (27.3)	261 (14.4)	120 (6.6)	3 (0.2)	1,816
女	210 (21.9)	302 (31.6)	274 (28.6)	113 (11.8)	56 (5.9)	2 (0.2)	957
留学生	15 (25.0)	8 (13.3)	10 (16.7)	16 (26.7)	11 (18.3)	0 (0.0)	60
国内生	618 (22.8)	808 (29.8)	759 (28.0)	358 (13.2)	165 (6.1)	5 (0.2)	2,713
単身生活	201 (19.4)	270 (26.1)	304 (29.4)	161 (15.6)	96 (9.3)	3 (0.3)	1,035
家族・親族と同居	427 (25.0)	539 (31.5)	460 (26.9)	207 (12.1)	75 (4.4)	2 (0.1)	1,710
学部生	466 (21.5)	626 (28.8)	627 (28.9)	309 (14.2)	139 (6.4)	5 (0.2)	2,172
大学院生	167 (27.8)	190 (31.6)	142 (23.6)	65 (10.8)	37 (6.2)	0 (0.0)	601
農学部	173 (20.9)	227 (27.5)	252 (30.5)	122 (14.8)	51 (6.2)	1 (0.1)	826
工学部	293 (21.8)	399 (29.6)	375 (27.9)	187 (13.9)	88 (6.5)	4 (0.3)	1,346
農学府修士課程	44 (23.4)	69 (36.7)	43 (22.9)	22 (11.7)	10 (5.3)	0 (0.0)	188
工学府博士前期課程	83 (29.9)	84 (30.2)	72 (25.9)	25 (9.0)	14 (5.0)	0 (0.0)	278
工学府専門職学位課程	6 (27.3)	7 (31.8)	7 (31.8)	1 (4.5)	1 (4.5)	0 (0.0)	22
工学府博士後期課程	6 (31.6)	6 (31.6)	1 (5.3)	2 (10.5)	4 (21.1)	0 (0.0)	19
連合農学研究科博士課程	5 (26.3)	2 (10.5)	4 (21.1)	5 (26.3)	3 (15.8)	0 (0.0)	19
B A S E 博士前期課程	18 (28.6)	20 (31.7)	14 (22.2)	7 (11.1)	4 (6.3)	0 (0.0)	63
B A S E 博士後期課程	0 (0.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5
B A S E 博士課程	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0
B A S E 一貫制博士課程	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0
連合獣医学研究科博士課程	5 (71.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	1 (14.3)	0 (0.0)	7

※不明：無回答、重複回答を含む。() 割合(%)

14～15. 経済的困難学生とその解決策

経済的に困難な学生は全体の16.1%である。学部学生では13.2%であるが、修士学生19.9%、博士学生37.6%と学年が上がるに従って比率が上がっている。留学生では半分を超える54.3%が経済的困難を訴えている。

経済的困難の解決策としては奨学金が最も多く54.9%が奨学金を受給している。次いで授業料免除とアルバイトが多い。前回とは集計方法が異なるために比較が困難であるが、授業料免除の割合は40%近くに達している。特に博士学生と留学生では60%前後である。また、大学院学生では、TAやRAなどの学内でのアルバイトも20%以上と多くなっている。これらの支援制度がある程度充実したことが反映していると考えて良いだろう。

Q14. 経済的理由による学業継続困難の有無

	ある	ない	不明(※)	合計
全体	729(16.1)	3,783(83.4)	24(0.5)	4,536
男	498(15.8)	2,644(83.6)	19(0.6)	3,161
女	231(16.8)	1,139(82.8)	5(0.4)	1,375
留学生	102(54.3)	85(45.2)	1(0.5)	188
国内生	627(14.4)	3,698(85.1)	23(0.5)	4,348
単身生活	358(19.1)	1,512(80.5)	8(0.4)	1,878
家族・親族と同居	356(13.7)	2,232(85.7)	16(0.6)	2,604
学部生	425(13.2)	2,776(86.3)	17(0.5)	3,218
大学院生	304(23.1)	1,007(76.4)	7(0.5)	1,318
農学部	144(12.8)	977(86.8)	5(0.4)	1,126
工学部	281(13.4)	1,799(86.0)	12(0.6)	2,092
農学府修士課程	68(20.4)	264(79.3)	1(0.3)	333
工学府博士前期課程	100(17.8)	458(81.6)	3(0.5)	561
工学府専門職学位課程	8(15.4)	44(84.6)	0(0.0)	52
工学府博士後期課程	27(26.2)	74(71.8)	2(1.9)	103
連合農学研究科博士課程	33(54.1)	27(44.3)	1(1.6)	61
B A S E 博士前期課程	34(26.2)	96(73.8)	0(0.0)	130
B A S E 博士後期課程	15(39.5)	23(60.5)	0(0.0)	38
B A S E 博士課程	3(37.5)	5(62.5)	0(0.0)	8
B A S E 一貫制博士課程	6(75.0)	2(25.0)	0(0.0)	8
連合獣医学研究科博士課程	10(41.7)	14(58.3)	0(0.0)	24

※不明：無回答、重複回答を含む。() 割合(%)

Q15. 14で「1. ある」と答えた方の経済的困難の解決策（複数回答可）

	授業料 免除	入学科 免除	学内に おける アルバイト	学外に おける アルバイト	奨学金	家庭な どから の援助	ローン	節約	無回答	回答者 数
全体	283 (38.8)	78 (10.7)	78 (10.7)	281 (38.5)	400 (54.9)	131 (18.0)	22 (3.0)	208 (28.5)	5 (0.7)	729
男	189 (38.0)	58 (11.6)	47 (9.4)	179 (35.9)	277 (55.6)	94 (18.9)	21 (4.2)	144 (28.9)	5 (1.0)	498
女	94 (40.7)	20 (8.7)	31 (13.4)	102 (44.2)	123 (53.2)	37 (16.0)	1 (0.4)	64 (27.7)	0 (0.0)	231
留学生	63 (61.8)	22 (21.6)	19 (18.6)	36 (35.3)	37 (36.3)	22 (21.6)	7 (6.9)	35 (34.3)	0 (0.0)	102
国内生	220 (35.1)	56 (8.9)	59 (9.4)	245 (39.1)	363 (57.9)	109 (17.4)	15 (2.4)	173 (27.6)	5 (0.8)	627
単身生活	149 (41.6)	41 (11.5)	40 (11.2)	146 (40.8)	199 (55.6)	73 (20.4)	11 (3.1)	102 (28.5)	3 (0.8)	358
家族・親族と 同居	127 (35.7)	35 (9.8)	34 (9.6)	131 (36.8)	194 (54.5)	56 (15.7)	10 (2.8)	103 (28.9)	2 (0.6)	356
学部生	141 (33.2)	21 (4.9)	17 (4.0)	184 (43.3)	224 (52.7)	69 (16.2)	10 (2.4)	103 (24.2)	5 (1.2)	425
大学院生	142 (46.7)	57 (18.8)	61 (20.1)	97 (31.9)	176 (57.9)	62 (20.4)	12 (3.9)	105 (34.5)	0 (0.0)	304
農学部	51 (35.4)	9 (6.3)	7 (4.9)	70 (48.6)	70 (48.6)	25 (17.4)	0 (0.0)	37 (25.7)	0 (0.0)	144
工学部	90 (32.0)	12 (4.3)	10 (3.6)	114 (40.6)	154 (54.8)	44 (15.7)	10 (3.6)	23.5 (23.5)	5 (1.8)	281
農学府修士課 程	30 (44.1)	9 (13.2)	10 (14.7)	31 (45.6)	36 (52.9)	19 (27.9)	2 (2.9)	22 (32.4)	0 (0.0)	68
工学府博士前 期課程	40 (40.0)	20 (20.0)	24 (24.0)	33 (33.0)	69 (69.0)	15 (15.0)	2 (2.0)	25 (25.0)	0 (0.0)	100
工学府専門職 学位課程	3 (37.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	2 (25.0)	5 (62.5)	2 (25.0)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	8
工学府博士後 期課程	15 (55.6)	3 (11.1)	5 (18.5)	3 (11.1)	15 (55.6)	6 (22.2)	0 (0.0)	10 (37.0)	0 (0.0)	27
連合農学研究 科博士課程	15 (45.5)	4 (12.1)	9 (27.3)	9 (27.3)	16 (48.5)	5 (15.2)	2 (6.1)	17 (51.5)	0 (0.0)	33
B A S E 博士 前期課程	17 (50.0)	6 (17.6)	5 (14.7)	13 (38.2)	18 (52.9)	7 (20.6)	1 (2.9)	13 (38.2)	0 (0.0)	34
B A S E 博士 後期課程	11 (73.3)	8 (53.3)	4 (26.7)	1 (6.7)	9 (60.0)	4 (26.7)	1 (6.7)	7 (46.7)	0 (0.0)	15
B A S E 博士 課程	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	3
B A S E 一貫 制博士課程	2 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (50.0)	2 (33.3)	0 (0.0)	2 (33.3)	0 (0.0)	6
連合獣医学研 究科博士課程	6 (60.0)	6 (60.0)	4 (40.0)	5 (50.0)	3 (30.0)	2 (20.0)	2 (20.0)	7 (70.0)	0 (0.0)	10

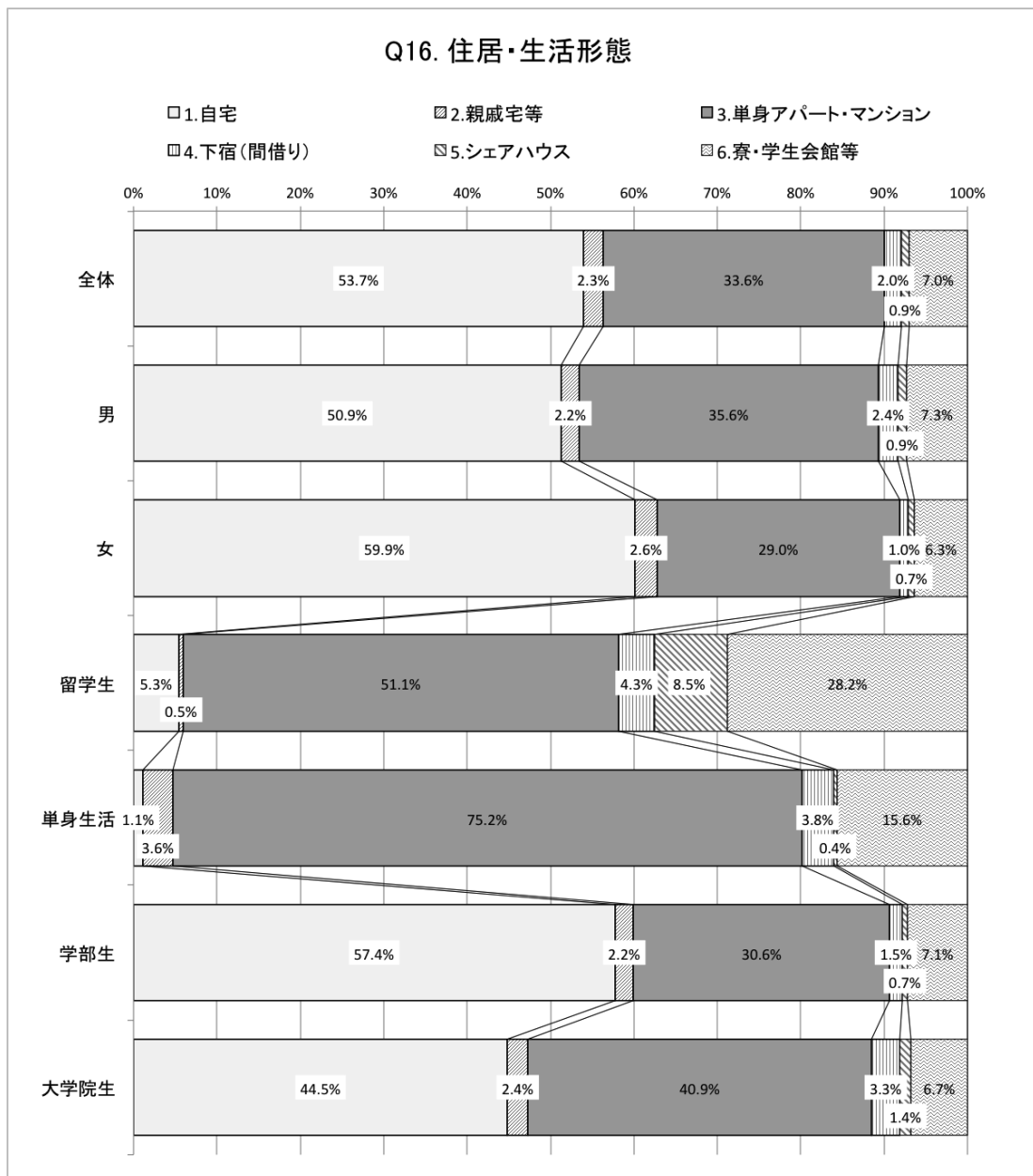
() 割合(%)

第三章 住居

16. 現在の住居・生活形態

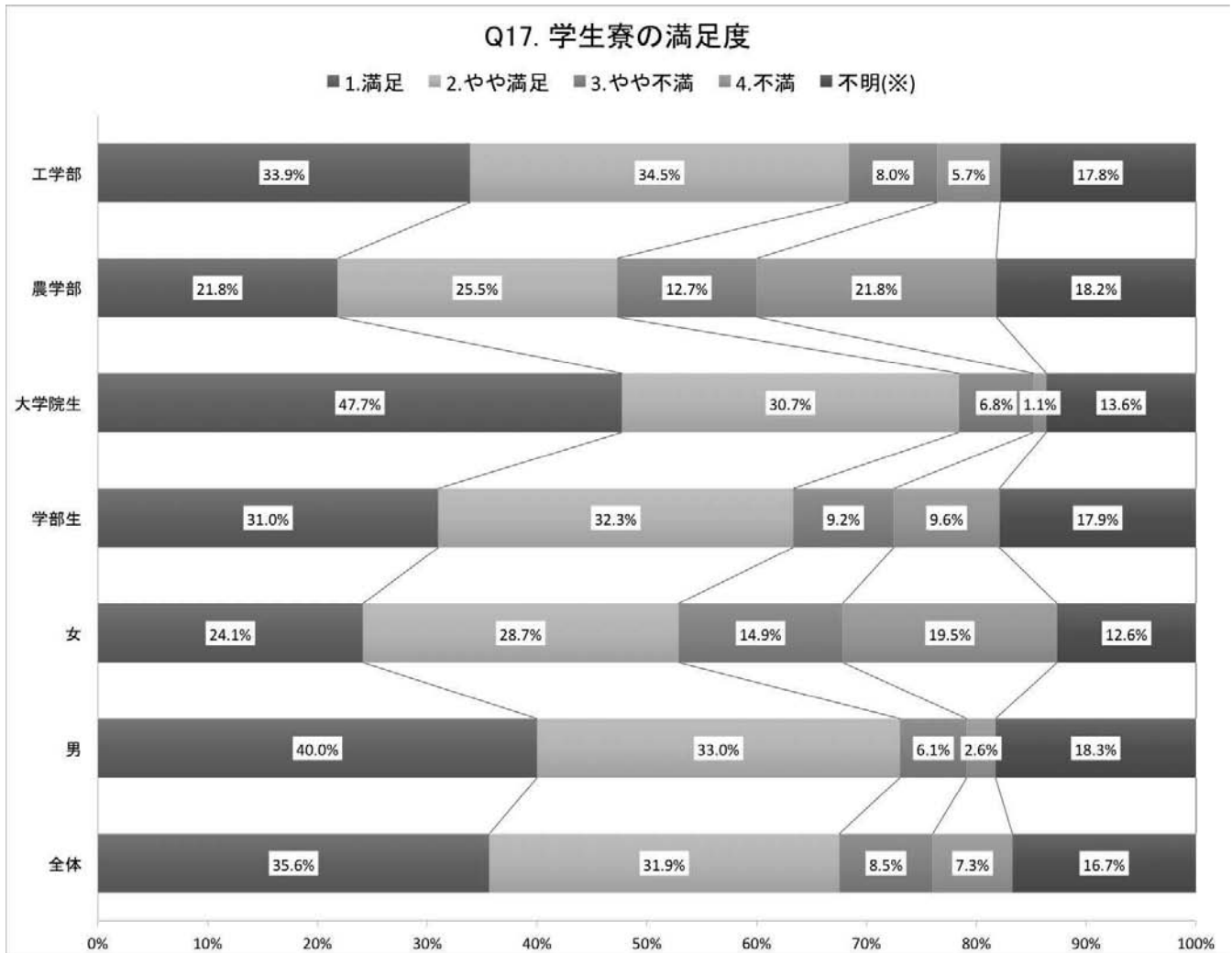
回答者全体 4,536 名中 1,878 名 (41.4%) が単身で生活している。これまでの調査と比較して、男子学生の単身生活者は、48.6% (第 5 回) → 47.2% (第 6 回) → 46.1% (第 7 回) → 44.3% (今回)、女子学生の単身生活者は、37.9% → 39.2% → 35.4% → 34.7% と変遷しており、わずかではあるが減少傾向が認められる。学年が上がるにつれて単身生活者の比率は増加(学部生 38.5%、大学院生 48.4%)するが、その数値は前回調査時より低く(それぞれ 40.8% と 49.2%)、こちらも減少傾向がうかがえる。経済状況が単身生活者の割合減少に影響していると推察される。住居・生活形態は上記を反映しており、回答者全体で 56.0% が自宅生(親戚宅等含む)、35.6% が単身アパート・下宿、残り 8.4% が寮・学生会館等に居住している。

また、留学生の単身生活者の比率は 62.8% で、前回調査時 (57.3%) より微増した。その一方で、留学生の 37.2% は共同生活をしており、特に友人等との共同生活者の比率 (9.6%) が、国内生 (0.8%) と比べて高い。留学生は、55.4% が単身アパート・下宿、28.2% が寮・学生会館等、8.5% がシェアハウスに居住している。



17. 学生寮の満足度

「満足」「やや満足」を合わせると全体で68.5%となり、前回調査時（76.0%）と比べて低い結果となったが、おおむね満足されていることがわかる。特に「工学部」、「男子」で満足度が高く、男子寮（平成22年3月に完成）の改修効果（個室化）が持続しているものと考えられる。



※不明：無回答、重複回答を含む

18. 学生寮への入寮希望

本学学生寮に入寮していない者のうち、入寮希望者は486名（11.5%）と前回の25%から大幅に減少し、前々回の12.7%程度に回帰した。前回調査時は学生寮が改善された直後であったことや、本年度の入学者から入寮期間が2年間に限定されたことなどが複合的に影響している可能性が考えられる。一方、留学生は入寮が限られているものの、72名（53.3%）が入寮を希望するなど需要が高いことが示唆される。

Q18. <本学学生寮に入寮していない方>に伺います。入寮を希望しますか（回答数）

	希望する	希望しない	不明(※)	合計
全体	486	3400	333	4219
男	340	2360	231	2931
女	146	1040	102	1288
留学生	72	49	14	135
国内生	414	3351	319	4084
単身生活	170	1314	101	1585

19. 学生寮への入居を希望しない理由

学生寮への入寮を希望しない理由として、単身生活者の大多数が現状の住居に満足しているからと回答している。集団生活が苦手であるという理由は女子学生で比較的多く見られたが、これは男子寮が個室であることによるものと考えられる。留学生は「その他」の比率が際立って高く、選択肢以外の理由を精査する必要がある。

Q19. <Q18で希望しないと答えた方>に伺います。その理由は何ですか（回答数）

	希望する	希望しない	不明(※)	合計
全体	486	3400	333	4219
男	340	2360	231	2931
女	146	1040	102	1288
留学生	72	49	14	135
国内生	414	3351	319	4084
単身生活	170	1314	101	1585

※不明：無回答、重複回答を含む

20. 国際交流会館への入居希望<外国人留学生対象>

外国人留学生の約70%（188名中131名）が国際交流会館への入居を希望しており、需要が高いことが分かる。

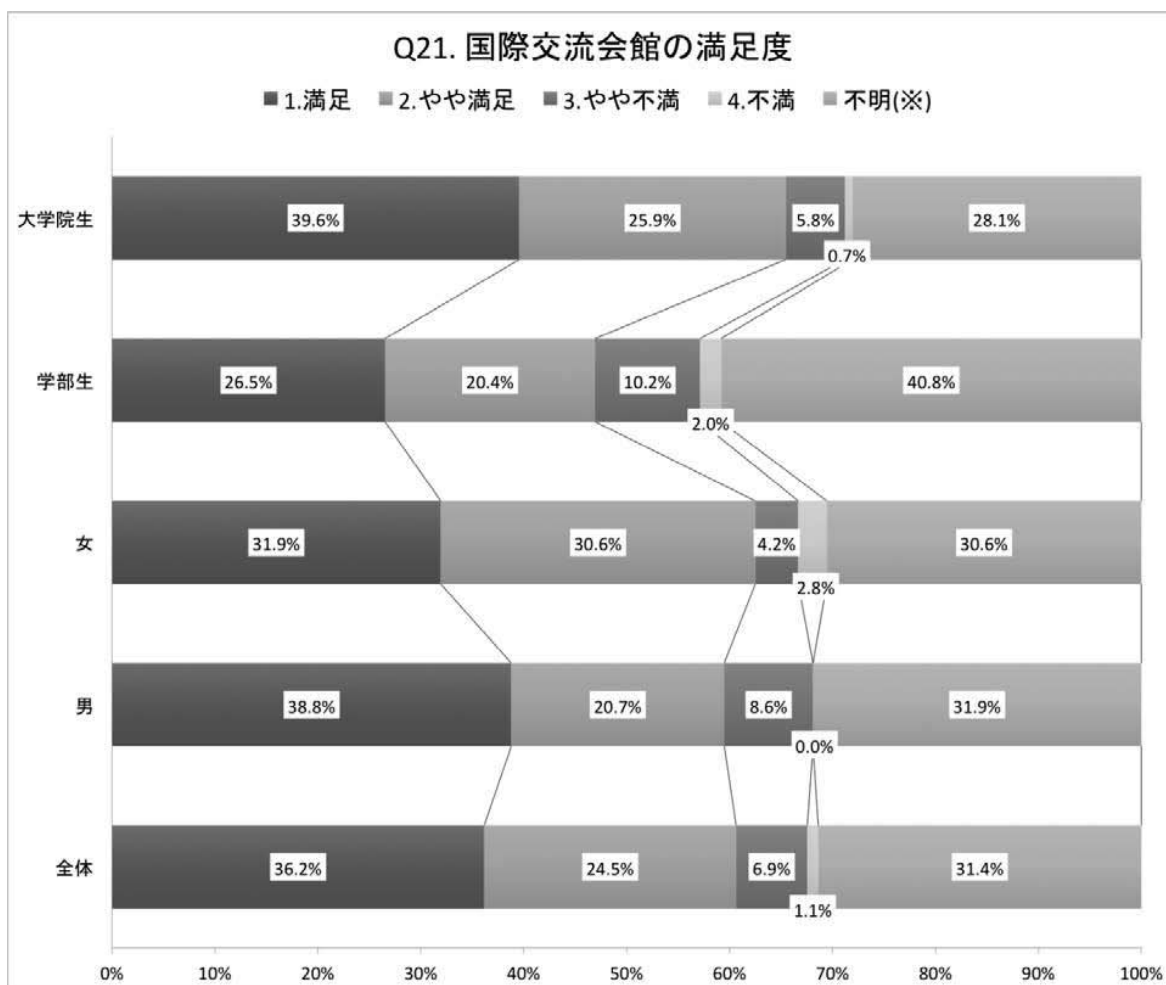
Q20. <外国人留学生の方>に伺います。国際交流会館への入居を希望しますか（回答数）

	希望する	希望しない	不明(※)	合計
全体	131	47	10	188
男	79	30	7	116
女	52	17	3	72

※不明：無回答、重複回答を含む

2 1. 国際交流会館の満足度

国際交流会館に入居している又は入居したことがある外国人留学生（188名）を対象に調査した結果、「満足」「やや満足」を合わせて60.7%となり、前回調査時（85.0%）と比べて低い結果となった。ただし「無回答」を含む「不明」を除けば、「満足」と「やや満足」で全体の88.5%となり前回と同程度になる。



※不明：無回答、重複回答を含む

2 2. 国際交流会館への入居を希望しない理由

国際交流会館への入居を希望しない外国人留学生（47名）が挙げた理由としては、回答が多い順に、部屋が狭い、設備が充実していない、清潔でない、が挙げられた。

Q22. 国際交流会館への入居を希望しない理由は何ですか（回答数）

	入居費が高い	設備が充実していない	清潔でない	部屋が狭い	共有部分が少ない	規則が厳しい	無回答	回答者数
全体	4	17	12	18	2	7	6	47

第IV章 通学

23. 主な通学手段・方法

学生の主な通学手段・方法は全体で、公共交通機関（50.0%）、自転車（34.4%）、徒歩（12.2%）の順に多く、その割合は前回調査時とほとんど変化はない。一方、オートバイは、4.1%（第5回）→2.1%（第6回）→1.4%（第7回）→1.1%（今回）と回を追うごとに下がっており、バイク離れの傾向は顕著である。小金井キャンパス（工学部・工学府）では府中キャンパス（農学部・農学府）より徒歩の割合が高く、自転車の割合はその逆の傾向になっている。

Q23. 主な通学手段・方法（回答割合）

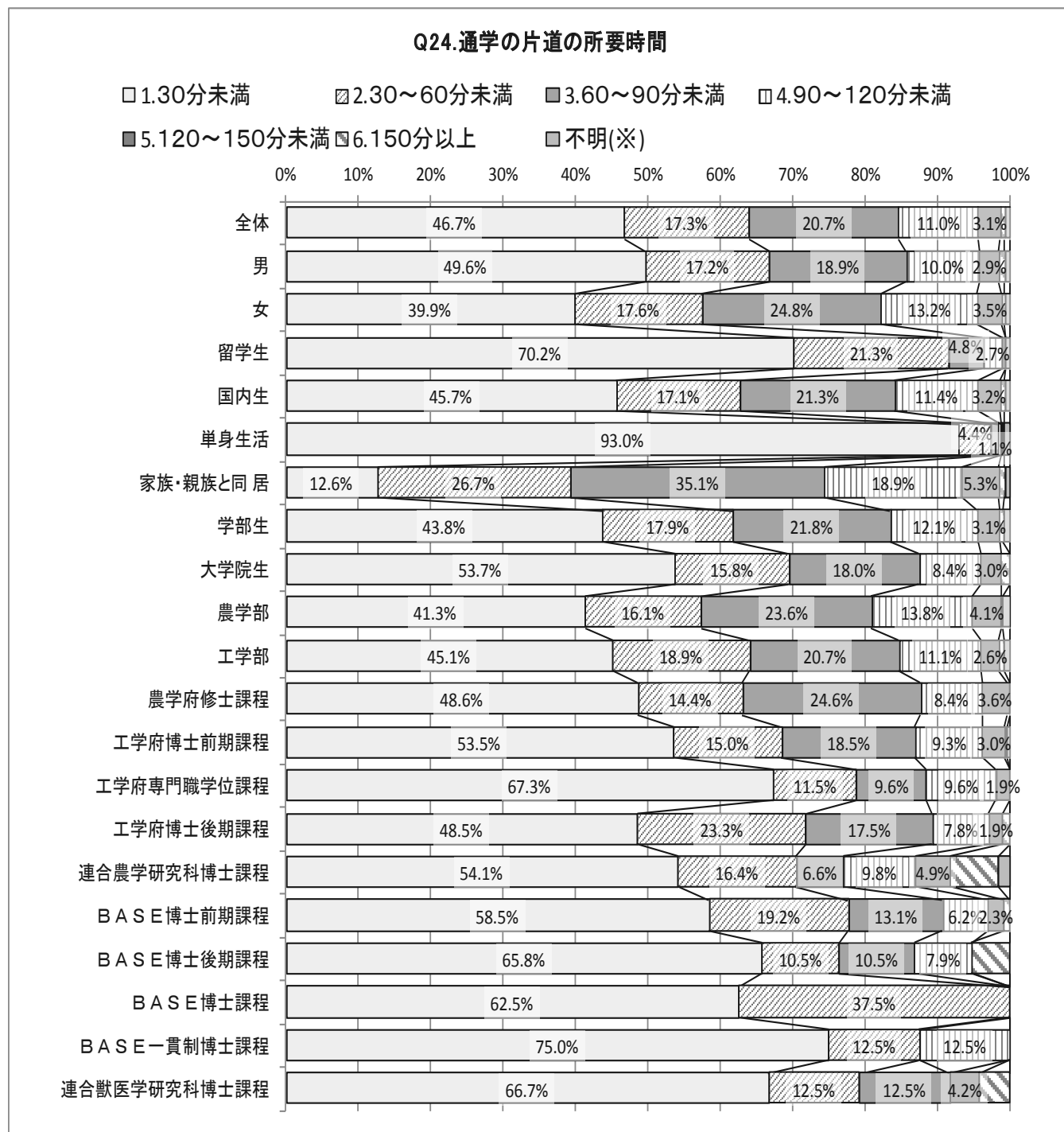
	徒歩	自転車	オートバイ	自動車	公共交通機関（電車、バスなど。自転車併用含む。）	不明(※)	合計
全体	12.2	34.4	1.1	1.8	50.0	0.5	100.0
男	13.8	36.3	1.4	2.2	45.8	0.5	100.0
女	8.7	30.1	0.4	0.9	59.5	0.4	100.0
留学生	17.0	44.7	1.1	0.5	34.0	2.7	100.0
国内生	12.0	34.0	1.1	1.9	50.7	0.4	100.0
単身生活	27.7	61.4	1.1	2.4	6.9	0.4	100.0
家族・親族と同居	0.9	14.6	1.0	1.3	81.6	0.5	100.0
学部生	11.6	32.9	0.8	1.4	52.8	0.5	100.0
大学院生	13.8	38.1	1.8	2.7	43.1	0.5	100.0
農学部	4.8	37.9	0.6	1.5	54.5	0.6	100.0
工学部	15.2	30.3	0.9	1.4	51.9	0.4	100.0
農学府修士課程	6.0	44.1	0.9	1.2	46.8	0.9	100.0
工学府博士前期課程	15.7	36.4	2.1	2.9	43.0	0.0	100.0
工学府専門職学位課程	28.8	30.8	9.6	1.9	28.8	0.0	100.0
工学府博士後期課程	17.5	28.2	1.0	3.9	46.6	2.9	100.0
連合農学研究科博士課程	4.9	41.0	0.0	6.6	47.5	0.0	100.0
B A S E 博士前期課程	18.5	38.5	0.8	2.3	40.0	0.0	100.0
B A S E 博士後期課程	21.1	31.6	0.0	5.3	42.1	0.0	100.0
B A S E 博士課程	37.5	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0	100.0
B A S E 一貫制博士課程	12.5	62.5	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0
連合獣医学研究科博士課程	8.3	54.2	8.3	4.2	25.0	0.0	100.0

※不明：無回答、重複回答を含む

2.4. 通学所要時間

通学の片道所要時間は「30分未満」が全体の49.9%（第6回）→47.5%（第7回）→46.7%（今回）と減少傾向にあり、それにともない1時間未満で通学している学生の比率も67.2%→65.9%→64.0%と低下する傾向にあるが、全体の3分の2の学生が1時間以内で通学している状況に変わりはない。学年が進むにつれて通学所要時間が短くなる傾向にあるが、これは自宅外生の比率が増えるためと考えられる（質問事項16）。

自宅生比率が高い女子学生は、男子学生と比較して通学所要時間が長くなる傾向にあるが、片道2時間を超える学生の比率については、男女間に違いは見られない（女子3.8%、男子3.6%）。



第V章 学業、学習環境

25. 大学憲章、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）の周知状況

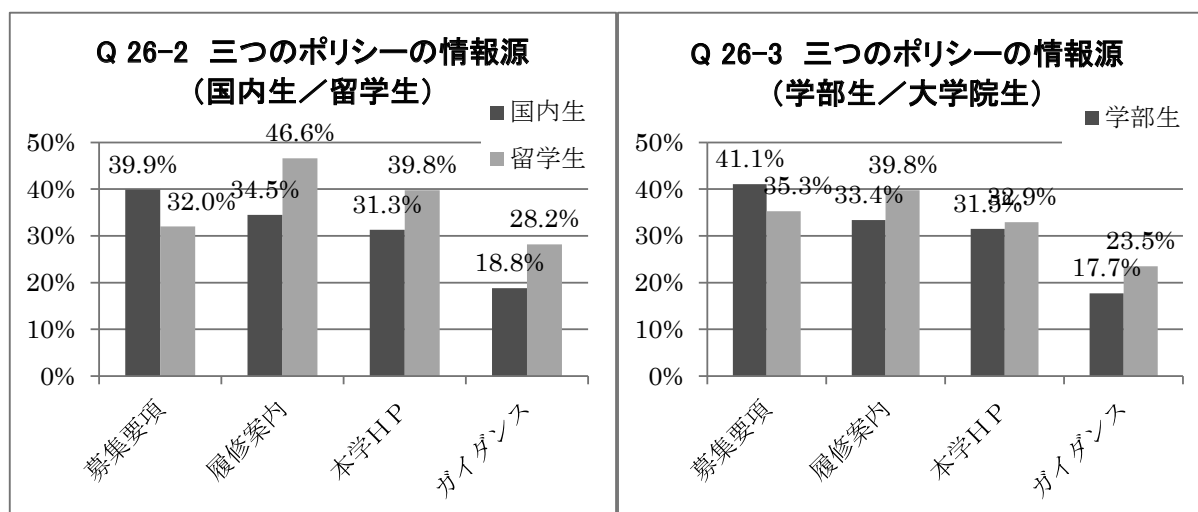
大学憲章や三つのポリシーのうち、いずれかを知っていると回答した学生は、全体で31.7%であり、まだ十分に周知されているとは言えない。学部1年生、女子学生、留学生、博士学生において、周知度が高い。部局別にみると、農学部・農学府が工学部・工学府に比べて周知度が高い傾向にある。

Q25. 三つのポリシーの周知度

	周知度		周知度		周知度
全体	31.7%	農学部	35.3%	学部1年	38.8%
男	29.2%	工学部	28.5%	学部2年	29.2%
女	37.5%	農学府	34.7%	学部3年	31.4%
留学生	66.0%	工前期	24.6%	学部4年	30.1%
国内生	30.4%	工後期	40.2%	修士	30.6%
学部学生	30.9%	連農	62.3%	博士	60.7%
大学院生	33.8%	BASE 前期	33.1%		
		BASE 後期	69.4%		

26. 大学憲章や三つのポリシーの情報入手方法（複数回答可）

募集要項を通じて、大学憲章や三つのポリシーについて情報を得ている場合が多く（約40%）、履修案内（約35%）、本学HP（約33%）がこれに続く。なお、留学生、大学院生は、それぞれ、国内生、学部学生よりも、履修案内やHP、ガイダンスをより活用している。



27. 本学への満足度

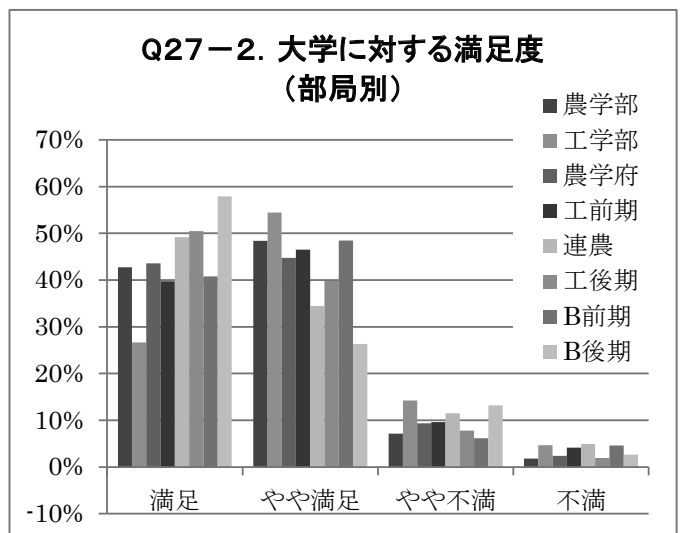
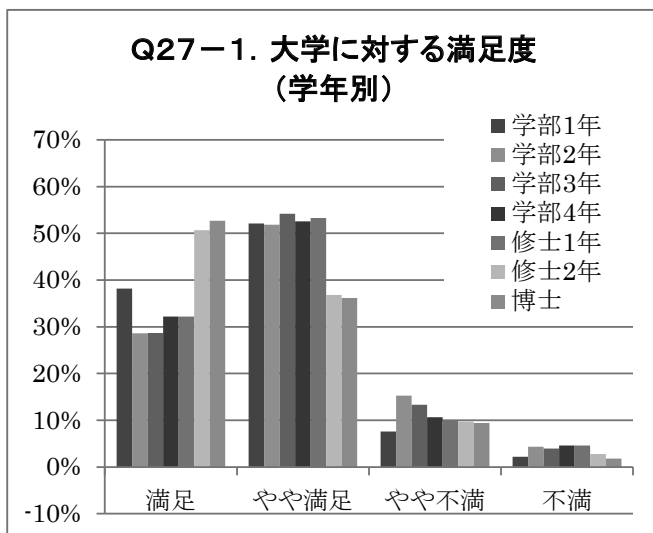
本学に対する満足度は、「満足」と「ほぼ満足」で85.0%である。前回の89.7%より若干低くなったが、満足度が非常に高いことが特徴であり、特に、留学生の満足度は94.1%である。男女別では女子の満足度が高い。大学院生、農学部の満足度が高いこともこれまでと同様な傾向である。

大学に対する満足度の推移

調査	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H12	H15	H17	H21	H24	H27
全体	78.6%	79.9%	79.1%	87.6%	89.7%	85.0%
男	75.8%	77.9%	76.2%	86.2%	88.7%	83.3%
女	82.3%	84.1%	87.5%	91.4%	91.8%	88.9%
学部		76.7%	76.8%	85.7%	88.6%	84.2%
大学院	81.7%	87.4%	85.2%	92.2%	92.4%	86.9%
農学部	81.4%	83.6%	84.3%	88.6%	89.6%	90.8%
工学部	68.4%	72.1%	73.9%	84.5%	88.0%	80.7%
学業困難者				81.9%	85.6%	
留学生				92.8%	96.8%	94.1%

※大学院生は、農学府・工学府・BASE・連農の合計。空欄は調査項目なし。

学年別に見ると、初年次と学部4年次以降で「満足」の割合が高く、学部2～3年次で低い。これには、初年次ほどカリキュラムが密でなく、卒業研究も始まっていないという2～3年次の特性が反映していると考えられる。大学院生を含む学部4年次以降の「満足」度の高さは、研究指導体制の充実度を示している。また、部局別に見ると、工学部、連農、BASE後期において、「やや不満」が10%を超えている。



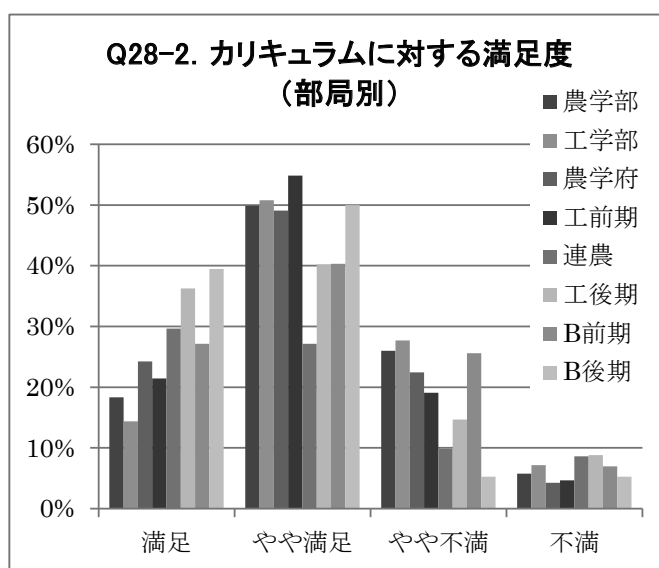
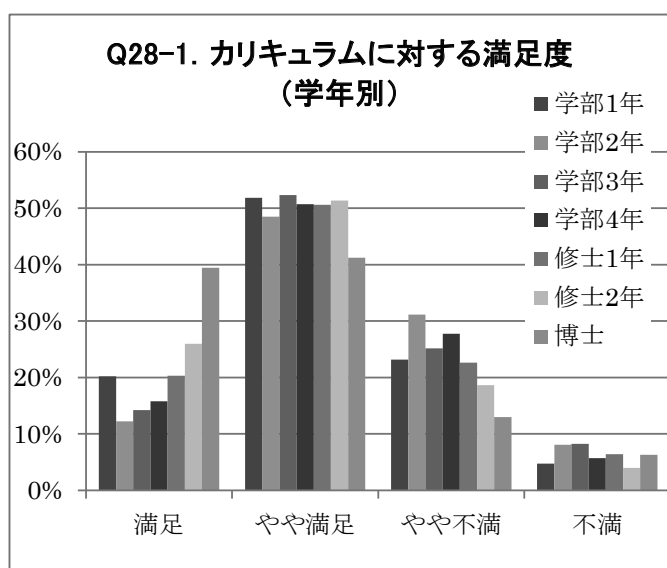
28. カリキュラムへの満足度

全体では、「満足」＋「やや満足」が68.6%で、前回の83.4%よりも下降した。過去の調査でも変動が激しく、調査対象の特性も含め、原因の究明が求められる。大学院生の満足度が学部学生よりも高いことは、前回と同様である。男女別では、女子学生の方が高い。留学生の満足度は高い。部局別にみると、工学部・工学府・BASEが農学部・農学府より高い傾向にあることは、前回と同様である。大学への満足度とカリキュラムへの満足度は、逆転している。

Q28-1. カリキュラムに対する満足度

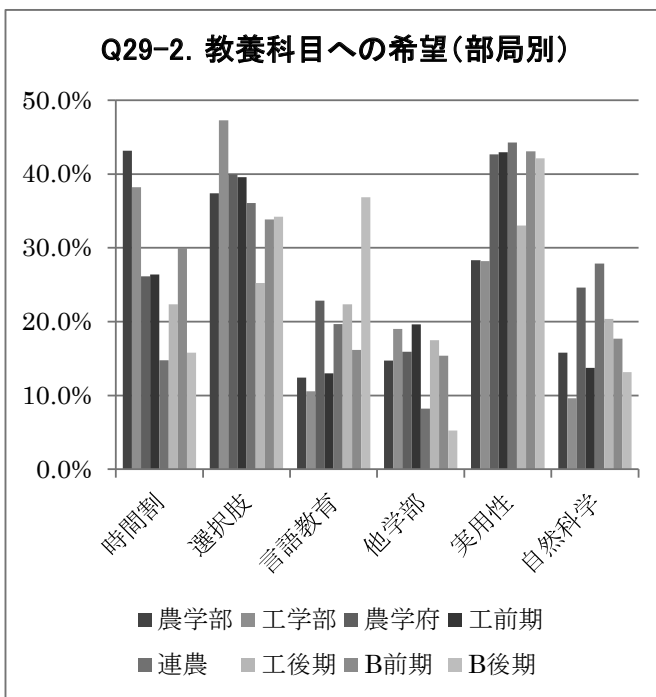
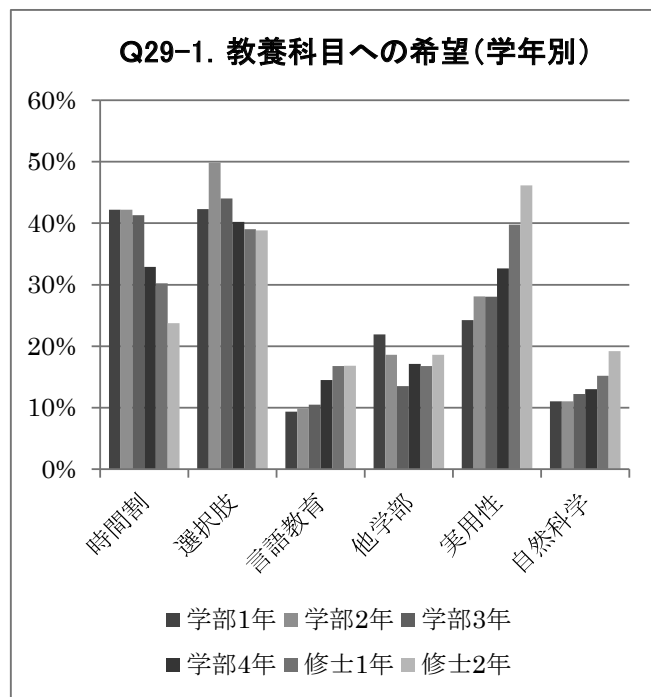
調査	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H12	H15	H17	H21	H24	H27
全体	41.5%	52.8%	55.4%	79.0%	83.4%	68.6%
男		50.5%	53.3%	78.3%	83.7%	67.4%
女		57.7%	61.6%	81.3%	82.9%	71.5%
学部		50.4%	53.6%	77.9%	77.0%	66.0%
農学部	39.2%	52.4%	48.6%	71.6%	77.0%	68.0%
工学部	41.2%	49.2%	55.5%	80.7%	84.9%	64.9%
大学院	47.9%	58.6%	60.1%	82.0%	87.2%	75.0%
農学府				79.6%	80.9%	72.7%
工学府				82.5%	89.8%	76.3%
連農				80.0%	89.8%	75.4%
BASE				85.1%	84.6%	72.5%
留学生				95.7%	90.9%	92.0%

大学への満足度の高さと比べて、カリキュラムへの満足度は低い傾向にあり、学部学生の2割以上が、「やや不満」と回答している。学部よりも大学院で満足度が高くなり、博士課程で最も満足度が高い。大学全体への満足度が高いことを考えれば、カリキュラム改訂において、学生の意見を取り入れるなどの工夫が求められる。



29. 教養科目（共通科目）への希望（複数回答可）

本設問は、本年度より追加された設問である。全般的に、共通科目の「時間割」と「選択肢の増加」に対する希望が強い。興味深いことは、学年が進むにつれて、「実用的な科目」に対する希望が高くなることであり、「コミュニケーション科目」や「自然科学基礎科目」、「他学部との交流」への関心はあまり高くない。工学部学生が、選択肢を増やすよう希望しており、BASE 後期で「コミュニケーション教育」、農学府・連農において、「自然科学基礎教育」に対する希望が高い。



30. 一週間の平均授業外学習時間

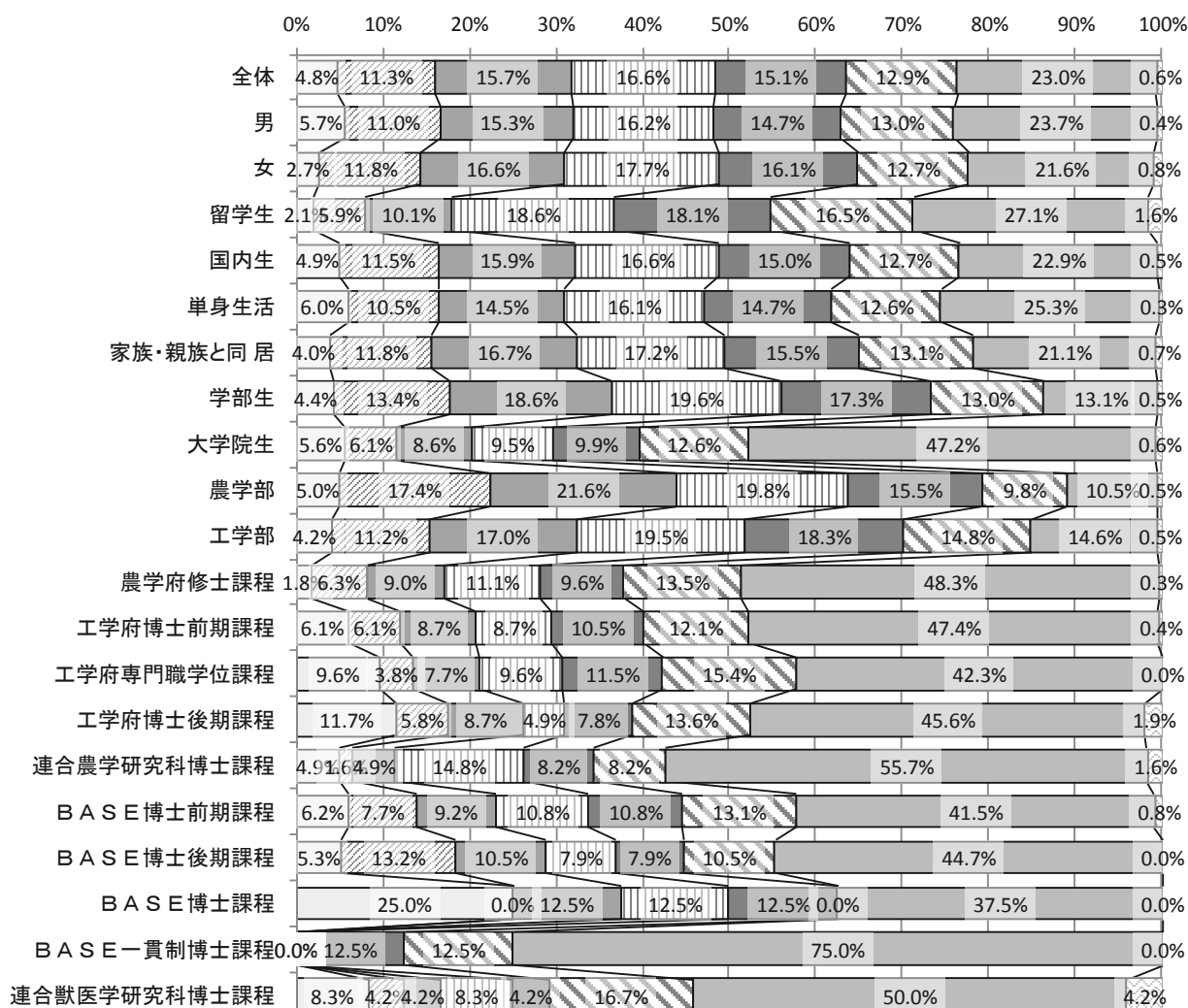
授業外学習に割く時間は、週 6 時間未満が 48.6%であり、第 5 回～第 7 回より改善している。これは、授業外学習の強調とシラバスの充実が功を奏したと思われる。男女差があまり見られないこと、農学府と工学府で差が見られないこと、週 6 時間未満の割合が農学部で高いこと、「全く学習しない」大学院生と、「週 20 時間以上学習する」大学院生との二極化の進行など、前回からの特徴が継続している。

Q30. 授業外学習時間（一週間）

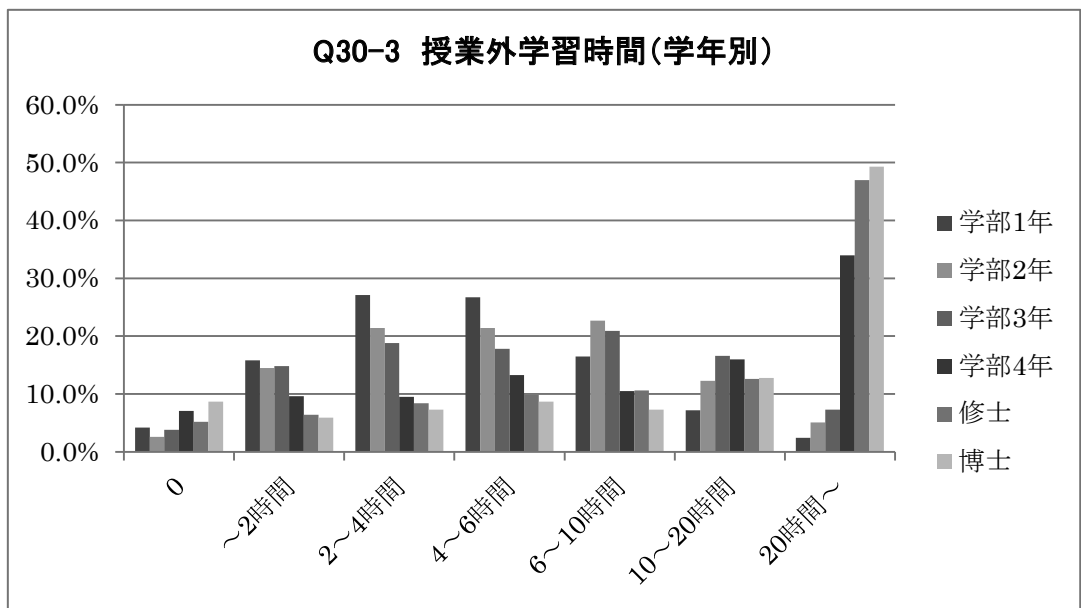
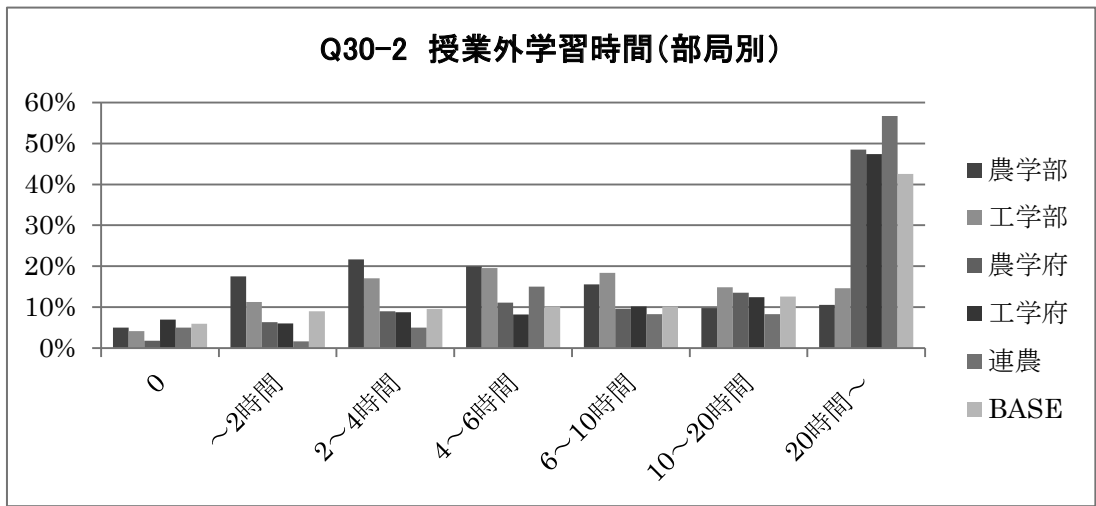
	0 時間	0-2 時間	2-6 時間	6-10 時間	10-20 時間	20 時間以上
第 5 回(H17)	8.2%	16.3%	32.0%	22.2%	11.5%	9.9%
第 6 回(H21)	8.6%	22.2%	34.3%	19.9%	8.7%	6.3%
第 7 回(H24)	6.1%	16.0%	31.2%	20.0%	13.4%	13.3%
第 8 回(H27)	4.8%	11.3%	32.5%	15.2%	13.0%	23.2%

Q30-1 授業外学習時間(一週間)

- 1.全くやっていない
- ▨ 2.週2時間未満
- 3.週2時間から4時間未満
- ▨ 4.週4時間から6時間未満
- 5.週6時間から10時間未満
- ▨ 6.週10時間から20時間未満
- 7.週20時間以上
- 不明(※)

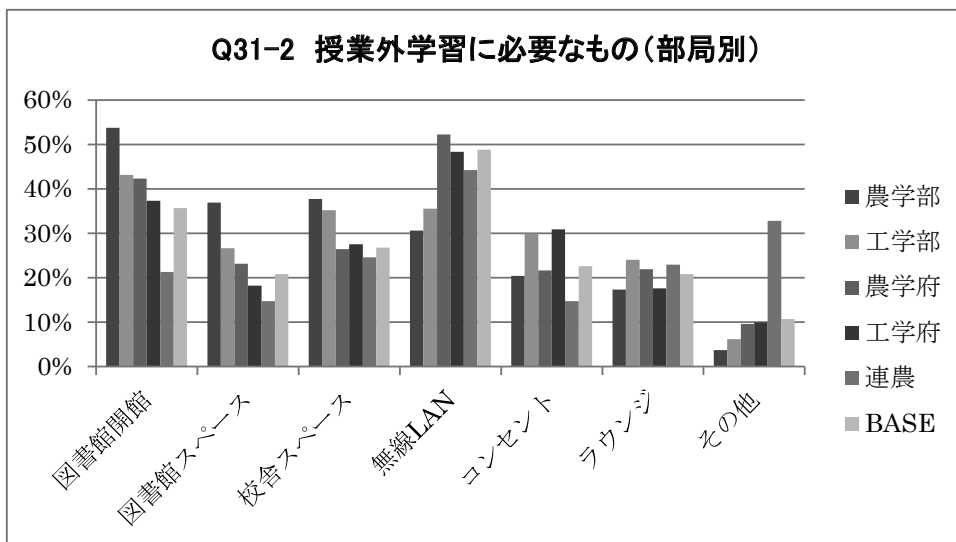
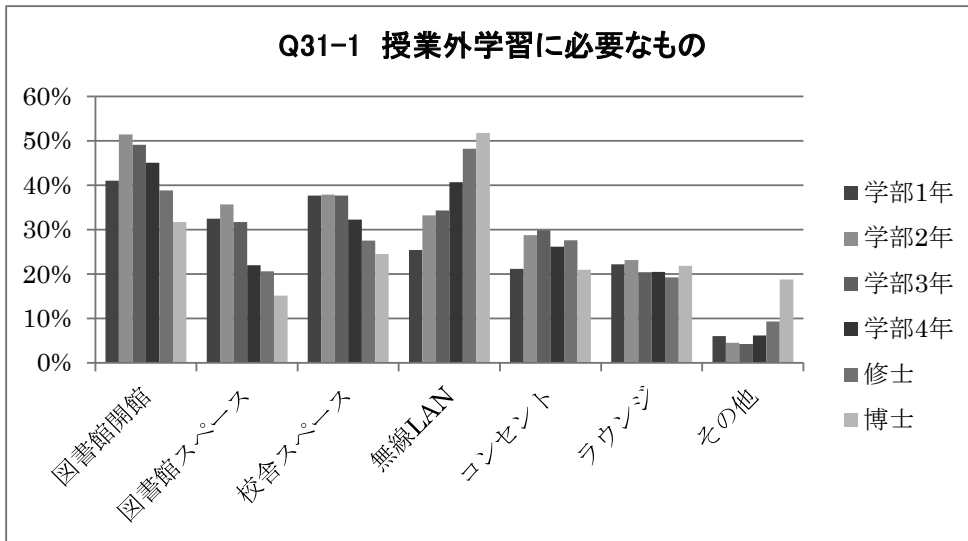


授業外学習時間は、学年が上がるにつれて長くなる。1週間で2～6時間が多いが、これは、1日に換算すると30～90分間であり、十分とは言えない。大学院生では、全く学習しない学生が5%以上存在する一方、半数の学生は20時間以上学習している。6時間以内に農学部の学生が多く、6～20時間に工学部の学生が多い。大学院生は授業外学習時間が長い、これは、研究時間を含められていると考えられる。特に、連農の55%以上の学生が20時間以上学習している。



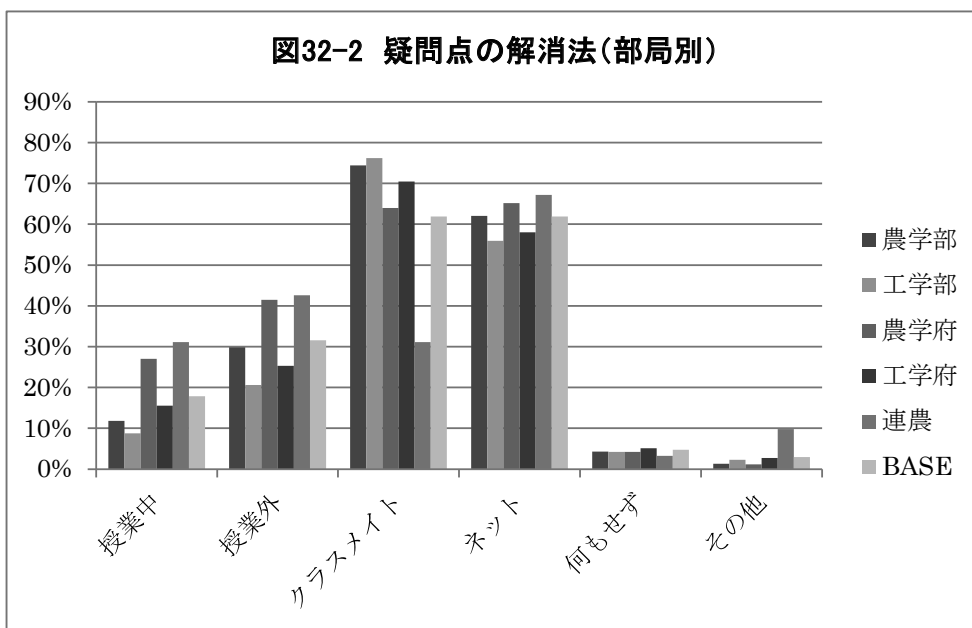
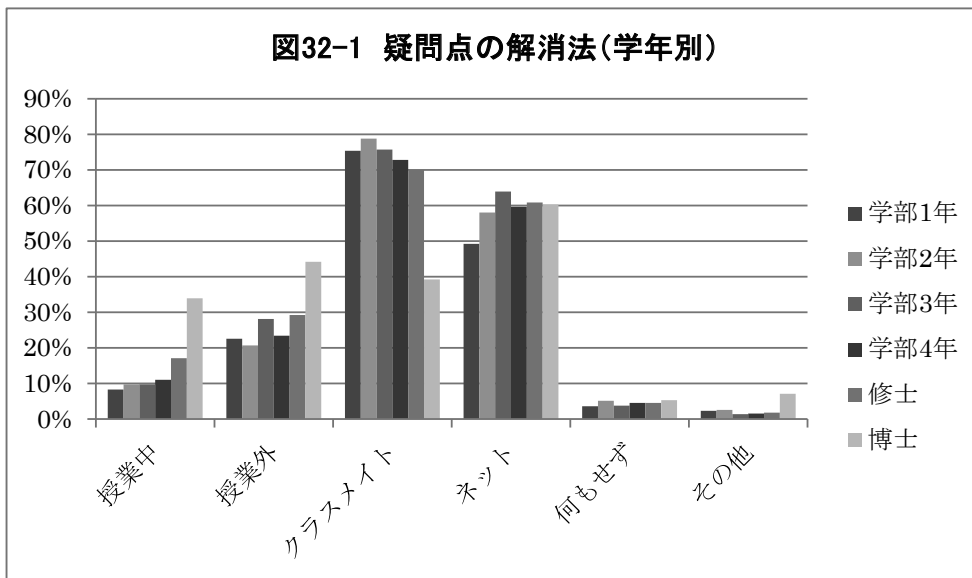
3 1. 授業時間外学習を行うのに必要な施設・設備や対策

本設問は、今回から追加されたものである。学生に希望が強いのは、図書館の開館時間と無線 LAN であり、校舎内の学習スペースがこれに続く。無線 LAN に関しては、メディア・センターが全学的な整備に着手しており、今後の拡充が見込まれる。研究室に所属し、机等を確保している大学院生が、学習スペースを希望していないことは、前回の調査でも示されていた。農学部では、図書館の開館時間、図書館の学習スペース、校舎内の学習スペースに関する要望が強い。これは、現在、進行中の耐震改修工事にも関連していると思われる。連農の学生は、その他の希望が多く、別途、調査の必要がある。



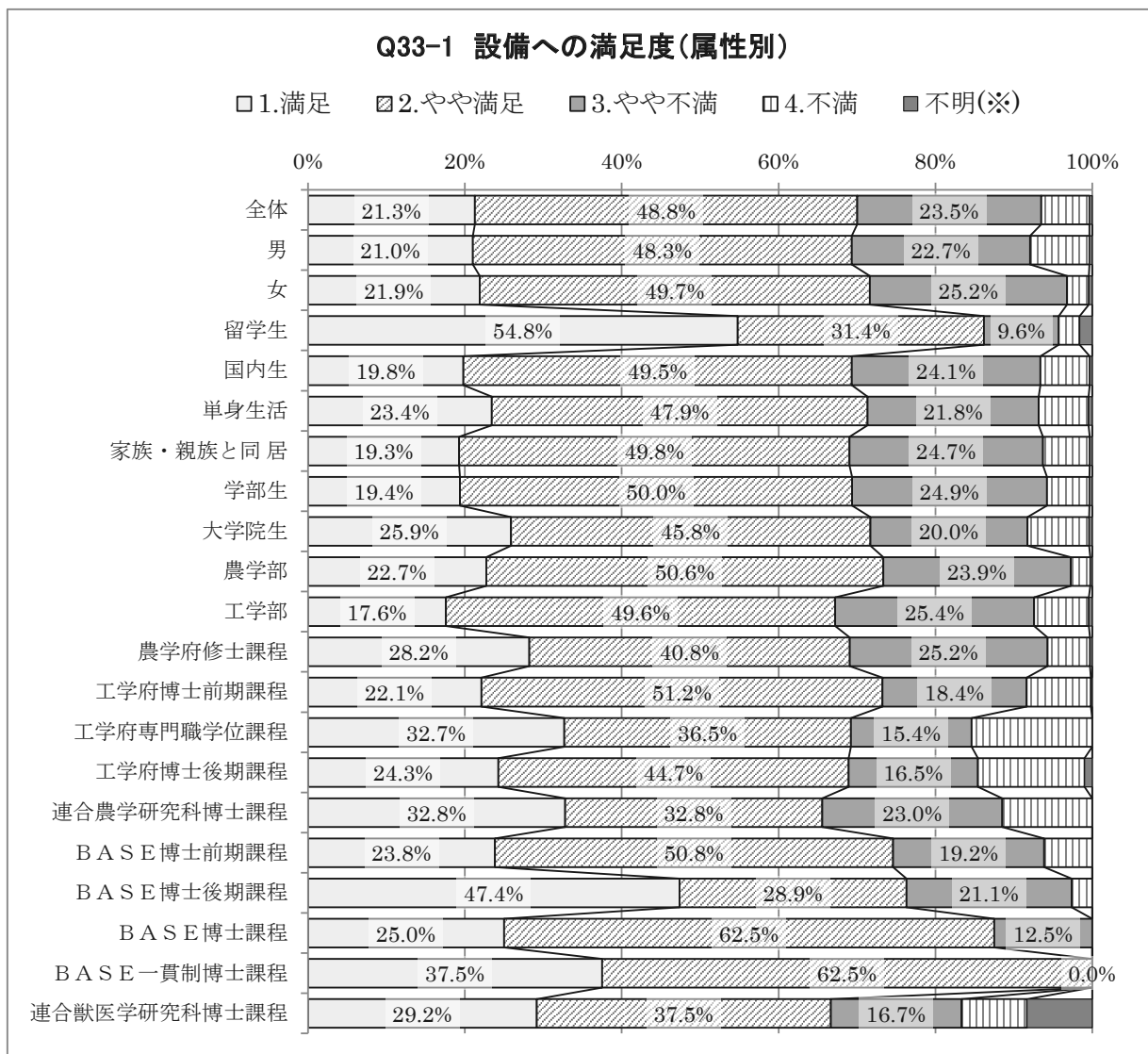
3 2. 授業における疑問についての対処方法

「クラスメイトに聞く」または「ネットで調べる」学生が多い。授業内外で、「担当教員に質問する」学生の割合は、学年が進むにつれて、徐々に高まる。一方、「学生同士で相談する」割合が、博士課程では減少する。博士課程の学生は、授業外に「担当教員に質問する」割合が4割を超える。農学部・農学府・連農の学生は、授業内外で担当教員に質問する割合が高く、連農の学生は、学生同士で相談する割合が低い。



3.3. 講義室、実験室への満足度

前回の調査では、全体で「満足」+「やや満足」と答えた学生が24.8%+50.9%=75.7%であった。今回は、全体では、21.3%+48.8%=70.1%と4.6%下がり、3回連続で満足度が低下した。この傾向は、すべての部局に共通である。近年、耐震工事に伴い、校舎自体は刷新されており、講義室・実験室等室内への満足度が低いことについては、今後の課題である。



設備への満足度の推移

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
良い (%)	44.2							
満足している (%)		38.9	41.4	63.7	69.6			
満足+やや満足 (%)						80.6	75.7	70.1

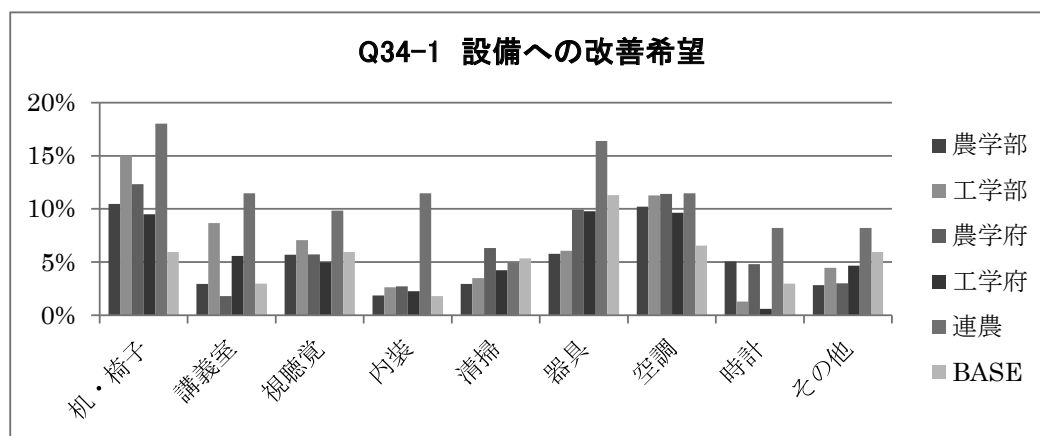
※選択肢は第1回は「良い」「良くない」「早急に改善を要する」の3択、第2～5回は「満足している」「満足していない」の2択、第6～8回は「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」の4択。

設備への満足度の推移（部局別）

満足+やや満足(%)	第6回	第7回	第8回
	H21	H24	H27
農学部	70.9%	73.7%	73.3%
工学部	82.6%	75.7%	67.2%
農学府	73.8%	69.7%	69.0%
工学府	87.7%	78.0%	72.8%
BASE	90.3%	86.1%	75.0%

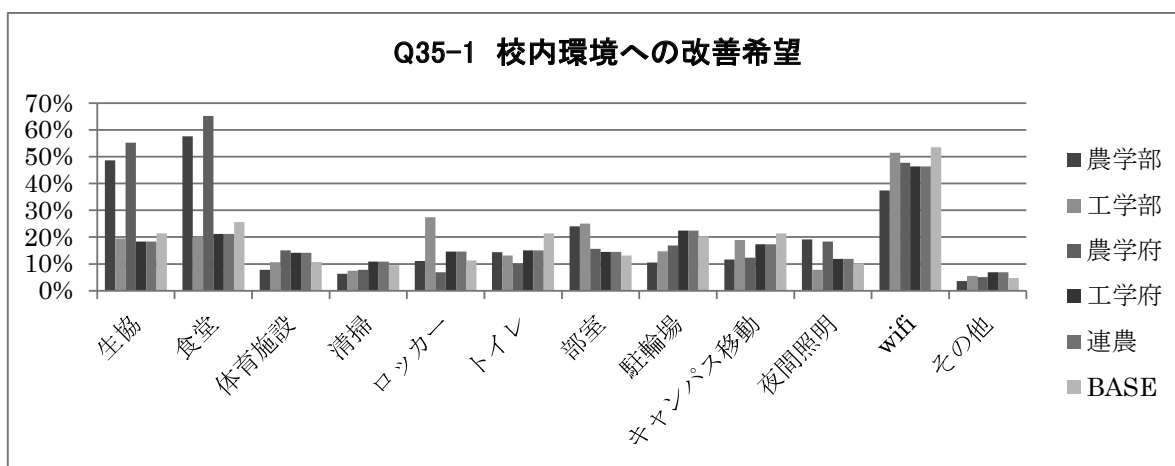
34. 講義室、実験室への改善希望

講義室、実験室に対して、多い要望は、机・椅子、実験器具、空調設備である。この問いに対しては、工学部学生と連農大学院学生からの改善希望が多い。



35. 校内環境への改善希望

全学的に無線 LAN 環境の整備に対する希望が強いことと、特に、府中キャンパスにおいて、生協・食堂に対する改善希望が強いことである。小金井におけるキャンパス整備が進んでいるのに比較して、府中は遅れている。その他、工学部のロッカーに対する希望、BASE のトイレに関する希望なども高くなっている。

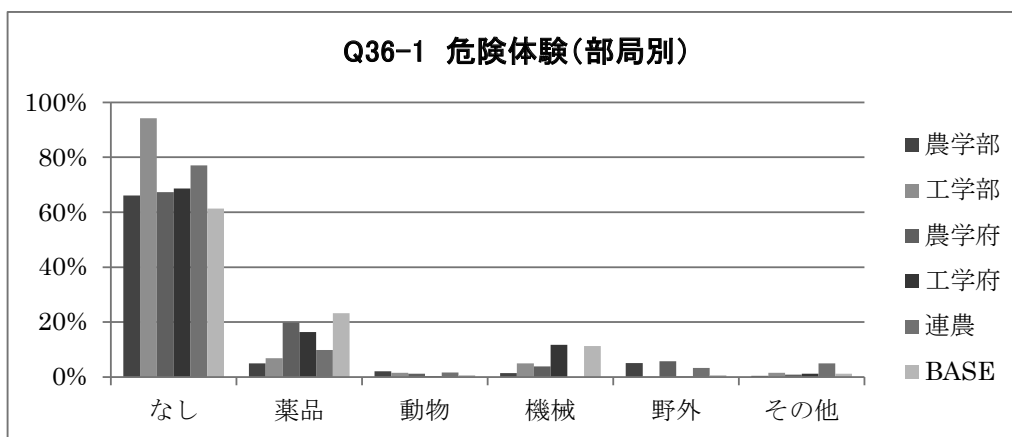


36. 実験・実習における危険体験

今回の調査では、以前の調査よりも、具体的な内容に関する選択肢を増やしたため、危険な体験が「あった」とする回答が2割になっている。大学院生の2割が薬品での危険体験を、工学府・BASEの学生の1割が機械での危険体験をしている。

Q36. 危険体験の有無の推移

調査	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H12	H15	H17	H21	H24	H27
あった (%)	20.9	11.6	12.5	9.0	7.3	19.6
なかった (%)	79.1	88.4	87.5	91.0	92.7	80.4



37. 図書館の利用頻度

図書館利用頻度は、3回連続で下がり、利用しない学生が24%にも達している。大学院生は以前から、研究室で十分という傾向が見られたが、H28.1に、図書館からPCを撤去すると更に利用率が下がると考えられ、図書館の活用に関する議論が必要にあらう。

Q37. 図書館の利用頻度の推移

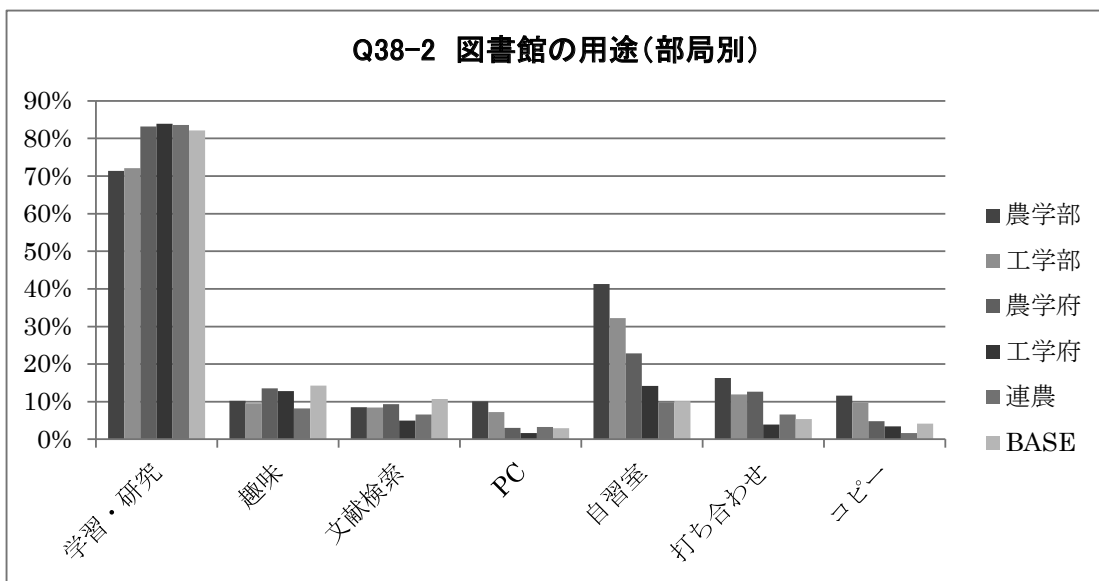
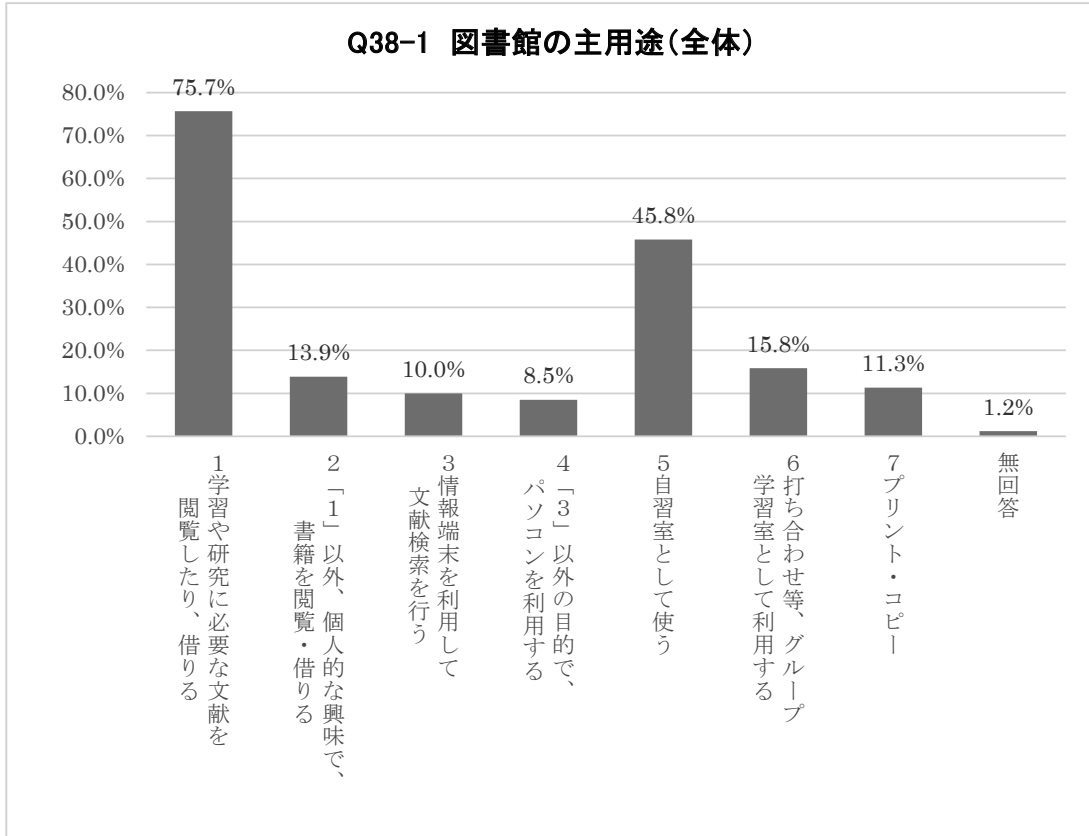
第6回(H21) (%)	よく利用する		ときどき利用する			全く利用しない
	34.5		61.4			4.1
第7回(H24) (%)	毎日	週に2~3回	週に1回	2週間に1回	1月に1回	ほとんど利用しない
	6.5	29.6	17.7	13.1	19.1	13.9
第8回(H27) (%)	毎日	週に2~3回	週に1回	2週間に1回	1月に1回	ほとんど利用しない
	4.0	22.8	18.3	13.2	17.4	24.1

Q37-1 図書館の利用頻度(属性別)

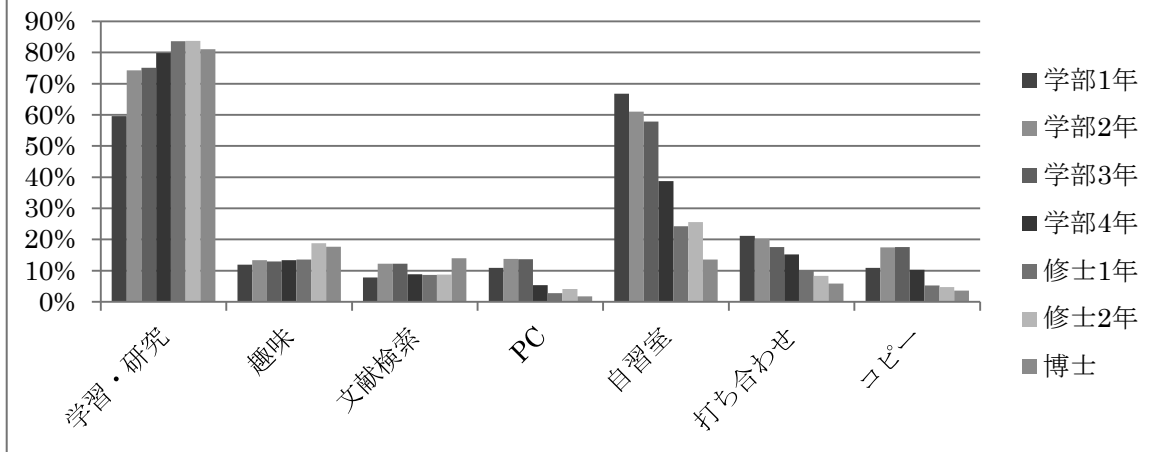


38. 図書館の主な用途

図書館の主な用途は、75.0%が「学習や研究に必要な文献を閲覧・借りる」と回答している。これは、前々回83.1%、前回82.2%と比較して、低下し、図書館自体の利用率の低下を反映している。図書館の用途に関しては、学年や部局による差はほとんどないが、学部学生が自習室として活用している率が高く、学年が上がるにつれて、その割合は下がる。



Q38-3 図書館の用途(学年別)

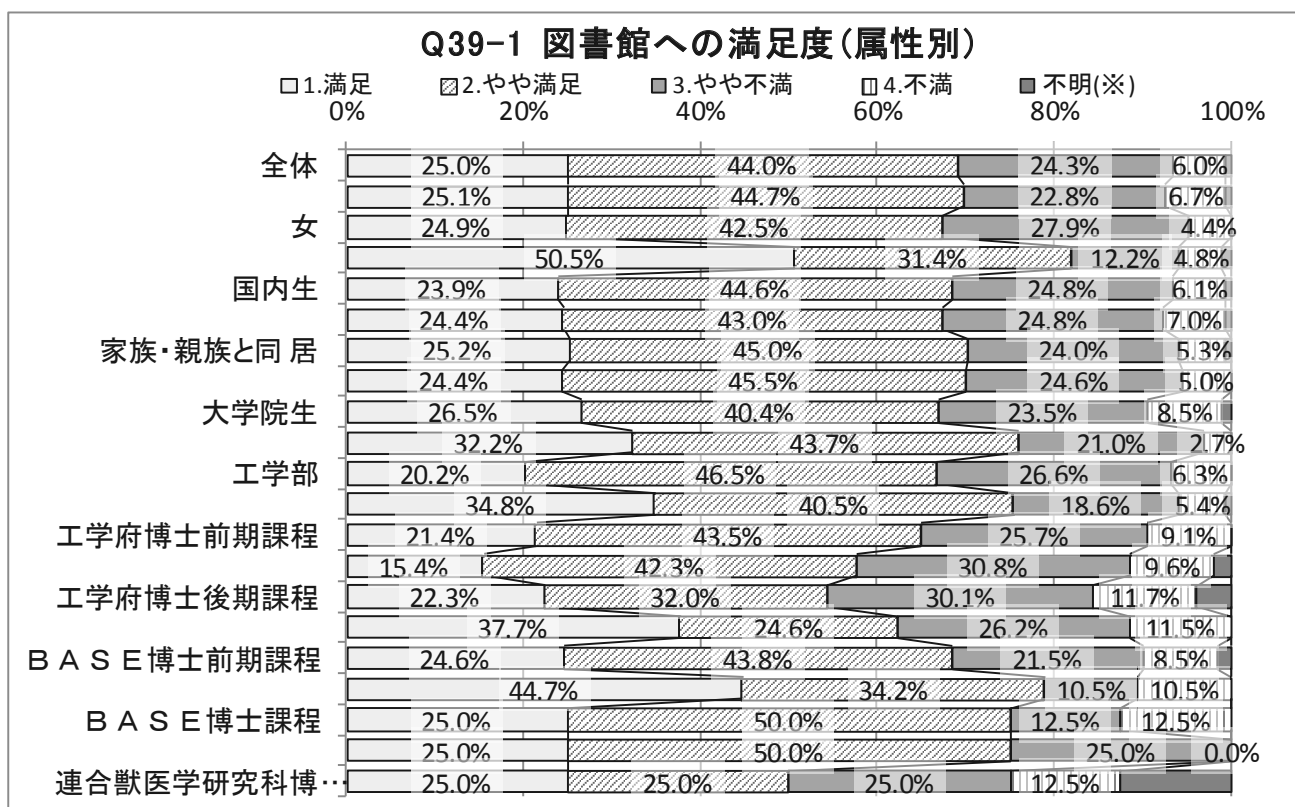


39. 図書館への満足度

「満足」＋「やや満足」は、前々回が 21.2＋52.9＝74.1％で、前回は 24.3＋47.5＝71.8％、今回は 25.0＋44.0＝69.0％と微減となった。満足度が低い工学部学生は、前々回 21.0＋56.2＝77.2％、前回 21.4＋48.2＝69.6％、今回 20.2＋46.5％＝66.7％と推移している。

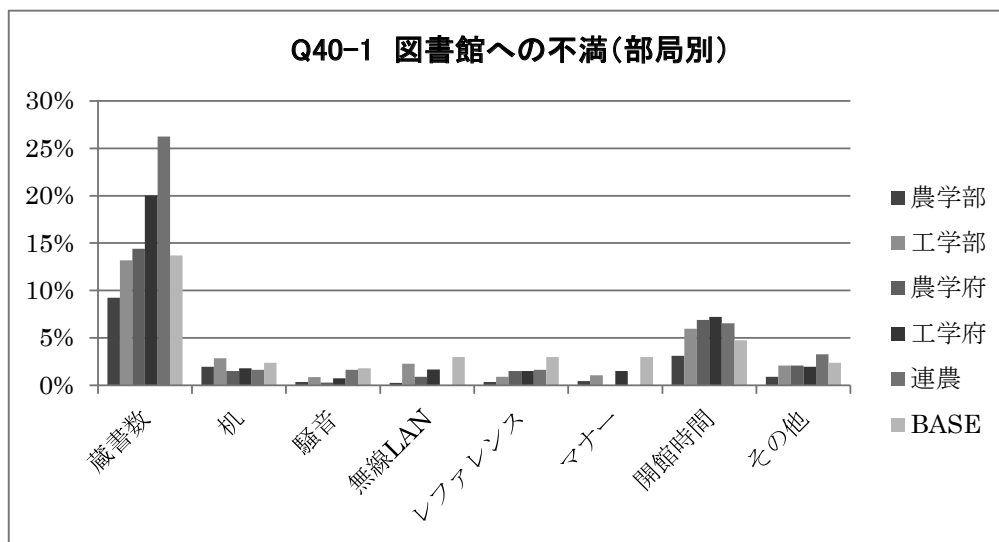
図書館への満足度の推移

全体 (%)	満足	やや満足	やや不満	不満
第6回 (H21) (%)	21.2	52.9	19.3	6.6
第7回 (H24) (%)	24.3	47.5	20.3	7.8
第8回 (H27) (%)	25.0	44.0	24.3	6.0



40. 図書館への不満

工学府と連農において、蔵書数に対する不満が若干高いことを除いて、特に、部局による大きな違いは見られない。大学院では、電子ジャーナルの活用度が高いと思われるが、蔵書に対する需要もまだ高いようである。

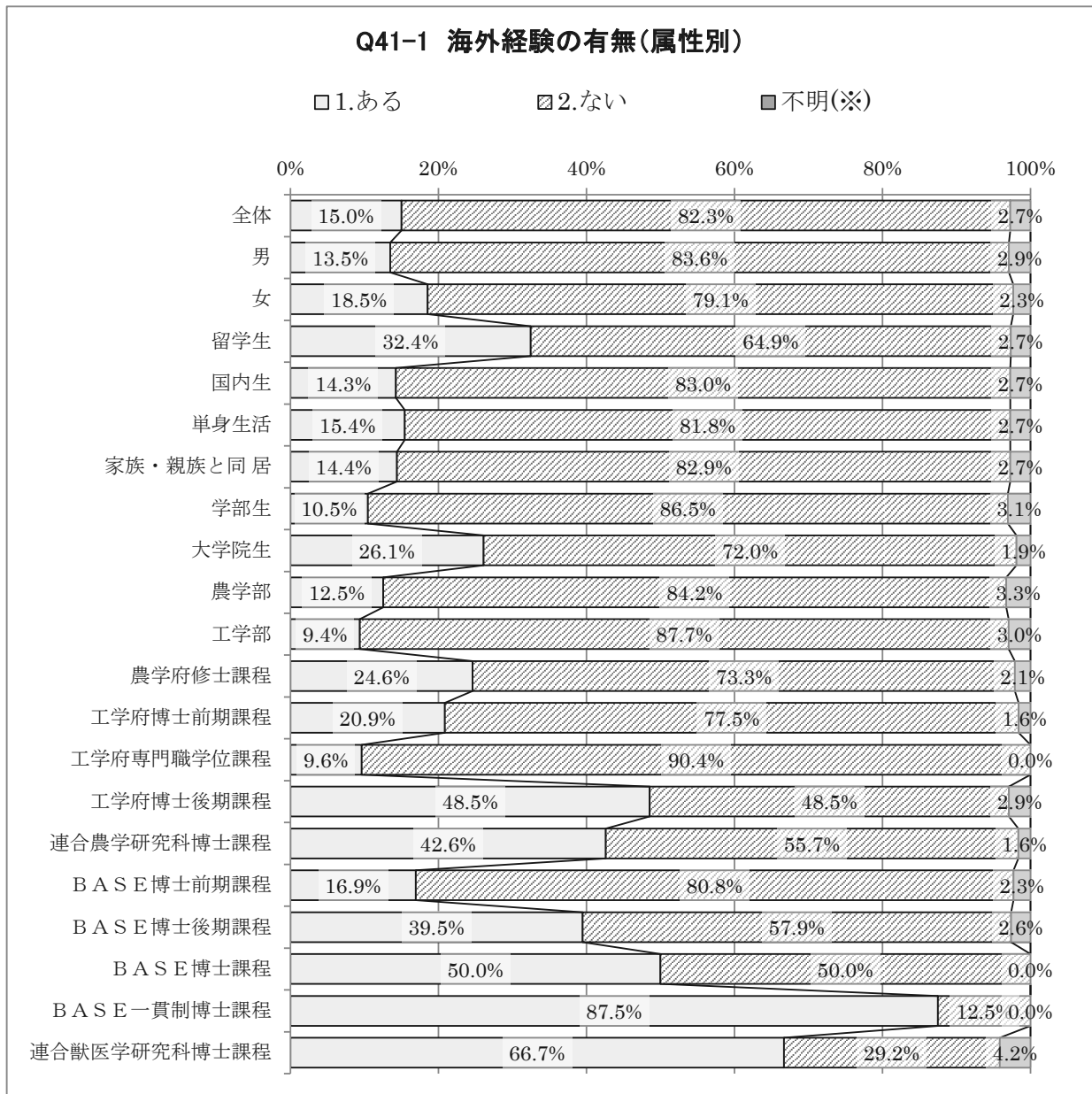


4 1. 在学中の海外活動経験

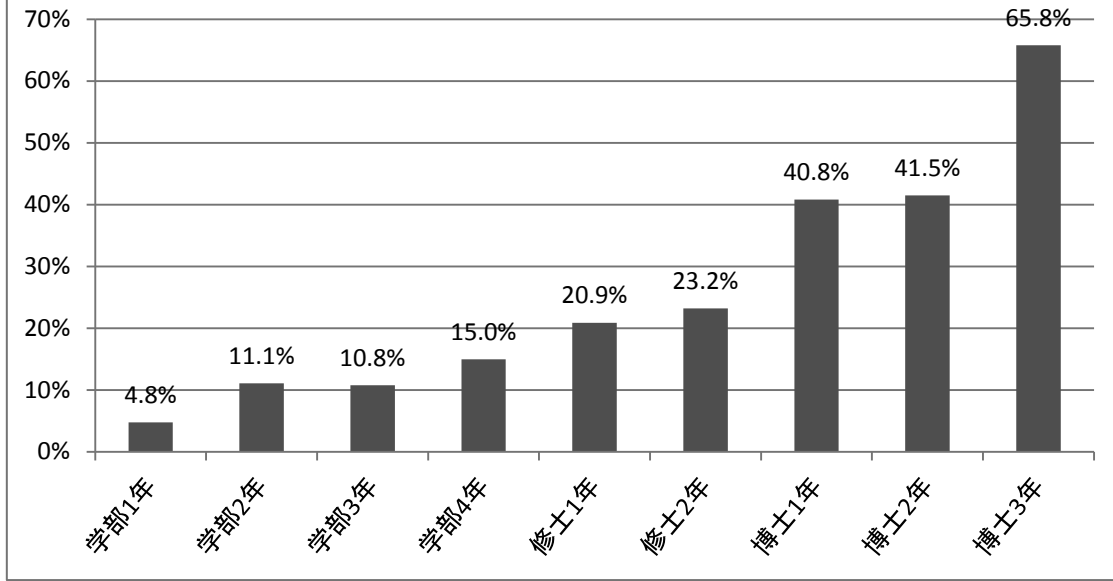
海外活動経験がある学生の割合は、前々回 8.2%、前回 9.7%、今回 15.0%と順調に増加している。前回と比較すると、学部学生で 4.8%、大学院生で 5.6%増加している。部局別にみると、工学府後期課程、連農で、4 割を超え、国際会議での発表が増えていると考えられる。また、学年が進むにつれて、海外活動経験者が、一貫して増加している様子がわかる。

海外経験の有無の推移

全体 (%)	ある	ない
第 6 回 (H21) (%)	8.2	91.8
第 7 回 (H24) (%)	9.7	90.3
第 8 回 (H27) (%)	15.0	82.3

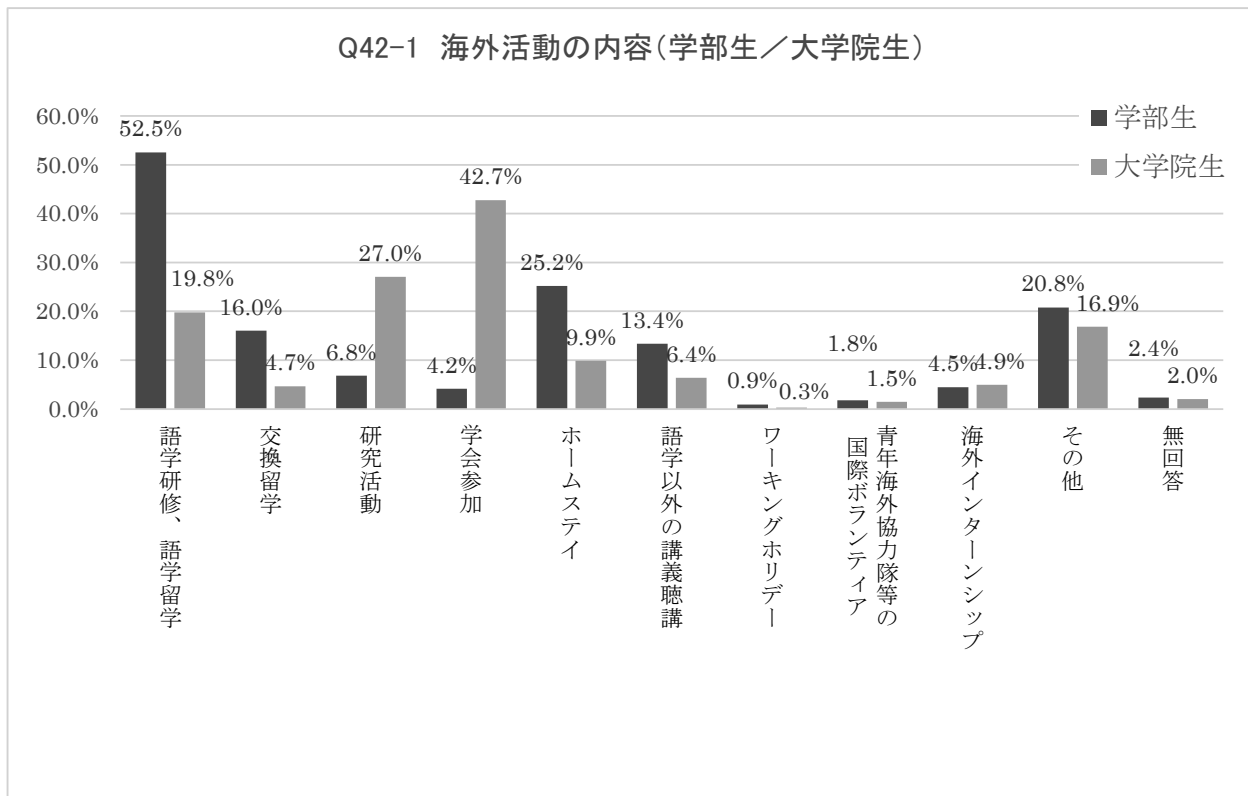


Q41-2 海外経験の有無(経験あり:学年別)



4.2. 海外活動の内容

海外活動の内訳は、学部学生が語学研修やホームステイであるのに対し、大学院生が研究活動・学会参加となっている。これを部局別にみると、学部段階では、両学部には差がなく、大学院段階では、農学府・連農・工学府後期課程・BASE 後期課程で、海外研究活動経験の割合が高い。



Q42-1 海外活動の内容(属性別)

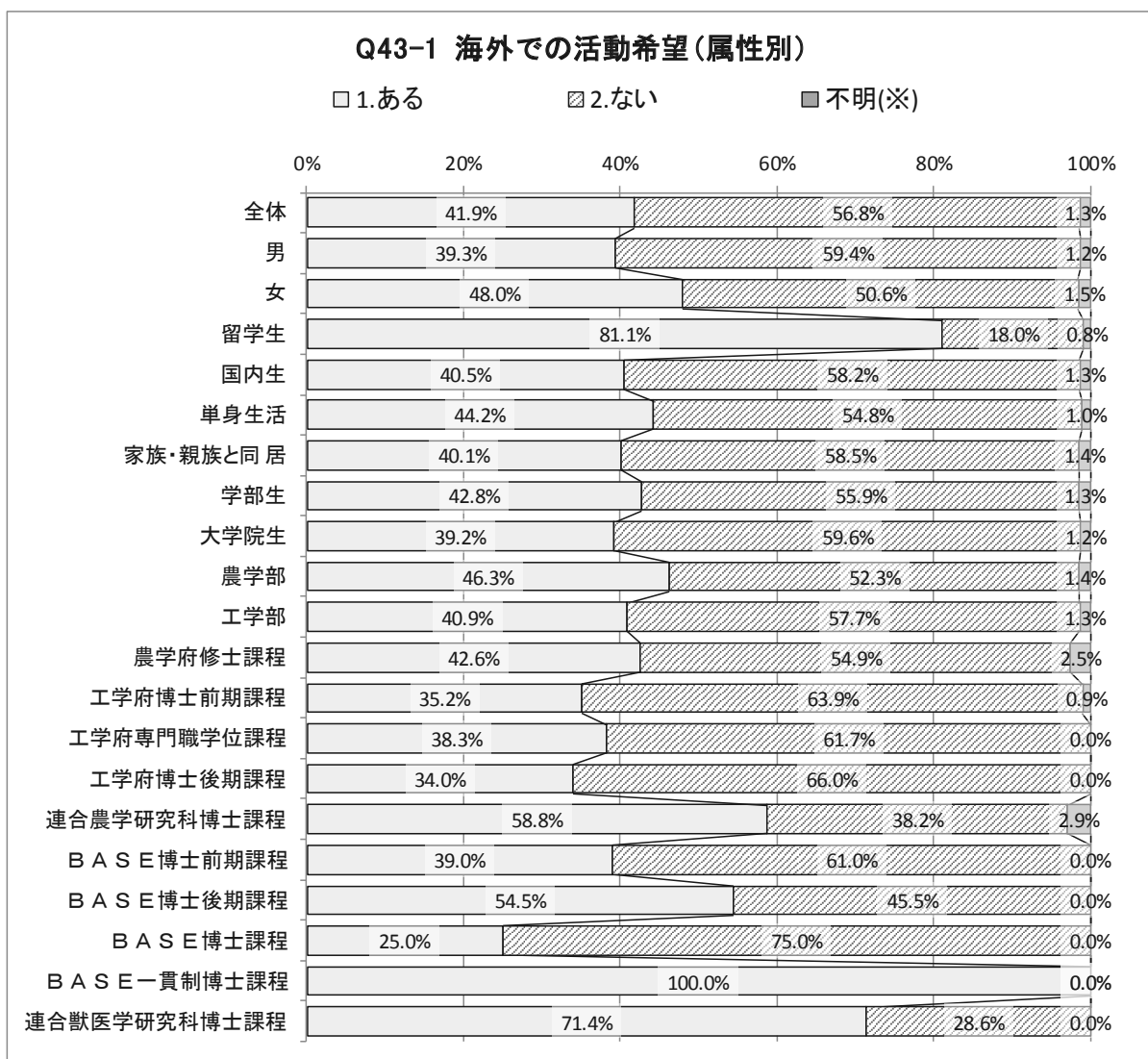
	1. 語学 研修、 語学 留学	2. 交換 留学	3. 研究 活動	4. 学会 参加	5. ホーム ステイ	6. 語学 以外の 講義 聴講	7. ワー キング ホリデ ー	8. 青年海 外協力 隊等の 国際 ボラン ティア	9. 海外 イン ター ン シ ッ プ	10. その 他	無回答
全体	36.0%	10.3%	17.0%	23.6%	17.5%	9.8%	0.6%	1.6%	4.7%	18.8%	2.2%
男	28.4%	9.6%	19.5%	27.9%	11.7%	8.2%	0.9%	1.6%	4.2%	20.7%	2.3%
女	48.6%	11.4%	12.9%	16.5%	27.1%	12.5%	0.0%	1.6%	5.5%	15.7%	2.0%
留学生	9.8%	4.9%	19.7%	37.7%	3.3%	6.6%	1.6%	1.6%	3.3%	23.0%	4.9%
国内生	38.5%	10.8%	16.8%	22.3%	18.9%	10.2%	0.5%	1.6%	4.8%	18.4%	1.9%
単身生活	29.0%	10.3%	21.7%	27.6%	12.4%	9.0%	0.7%	2.4%	5.2%	21.0%	1.7%
家族・親族と同居	42.7%	10.7%	13.9%	20.5%	21.9%	9.9%	0.5%	1.1%	4.5%	15.7%	2.7%
学部生	52.5%	16.0%	6.8%	4.2%	25.2%	13.4%	0.9%	1.8%	4.5%	20.8%	2.4%
大学院生	19.8%	4.7%	27.0%	42.7%	9.9%	6.4%	0.3%	1.5%	4.9%	16.9%	2.0%
農学部	53.2%	18.4%	7.8%	1.4%	28.4%	11.3%	0.0%	1.4%	4.3%	22.7%	2.8%
工学部	52.0%	14.3%	6.1%	6.1%	23.0%	14.8%	1.5%	2.0%	4.6%	19.4%	2.0%
農学府修士課程	26.8%	4.9%	28.0%	22.0%	14.6%	9.8%	0.0%	1.2%	4.9%	19.5%	4.9%
工学府博士前期課程	23.9%	6.0%	15.4%	44.4%	12.0%	6.0%	0.0%	2.6%	3.4%	17.9%	0.9%
工学府専門職学位課程	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
工学府博士後期課程	6.0%	0.0%	34.0%	64.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	2.0%	12.0%	4.0%
連合農学研究科博士課程	11.5%	7.7%	50.0%	46.2%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%	19.2%	3.8%	0.0%
B A S E 博士前期課程	27.3%	0.0%	9.1%	40.9%	18.2%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	18.2%	0.0%
B A S E 博士後期課程	6.7%	13.3%	46.7%	60.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	26.7%	0.0%
B A S E 博士課程	0.0%	0.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
B A S E 一貫制博士課程	28.6%	0.0%	71.4%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%
連合獣医学研究科博士課程	0.0%	6.3%	25.0%	75.0%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%

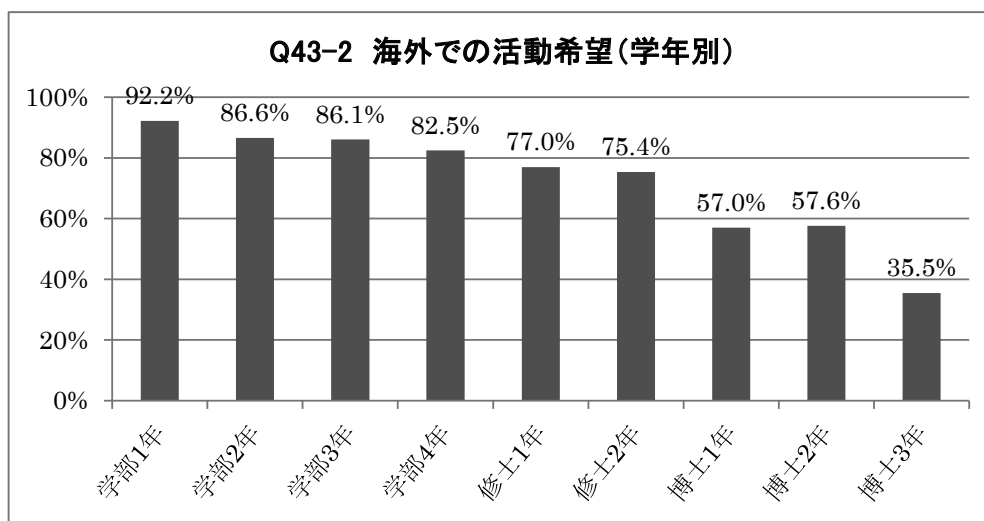
4 3. 海外での活動希望の有無

これまでに海外活動の経験がなく、これから希望する者の割合は、前回の 42.7%とほぼ同様に 41.9%であった。学年別では、学部1年次が一番高く、その後、低下していく。これは、学年が進むほど海外経験が増えるのと対照的である。海外経験のない学生に、いかに関心を維持させるかが大学の課題である。

海外での活動希望の推移

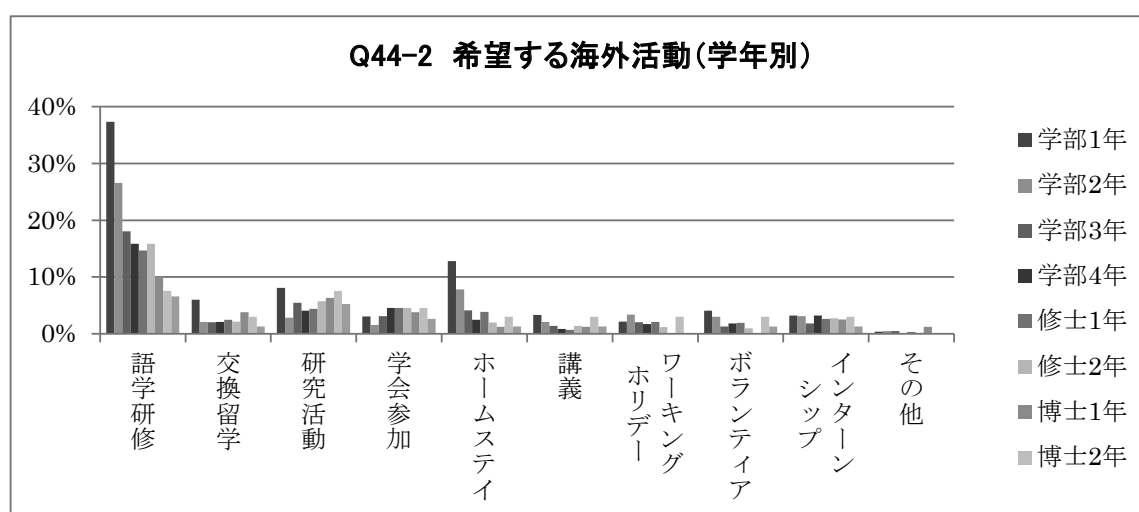
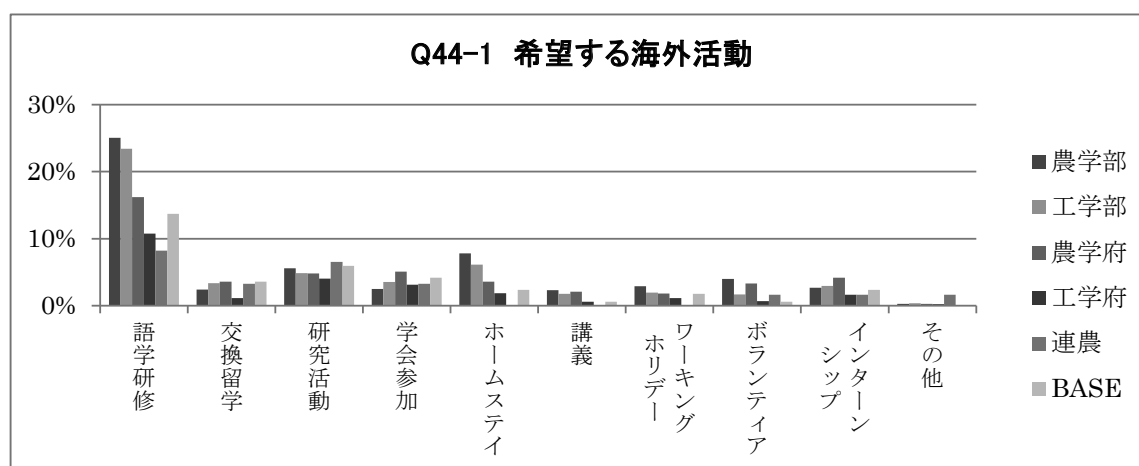
全体 (%)	ある	ない
第6回 (H21) (%)	33.9	66.1
第7回 (H24) (%)	42.7	57.3
第8回 (H27) (%)	41.9	56.8





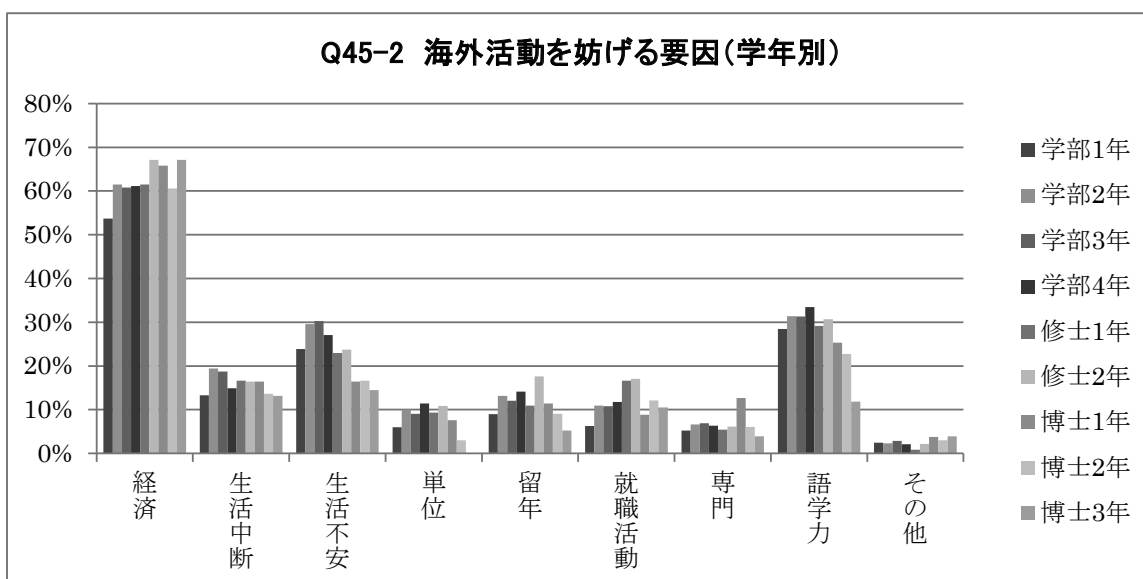
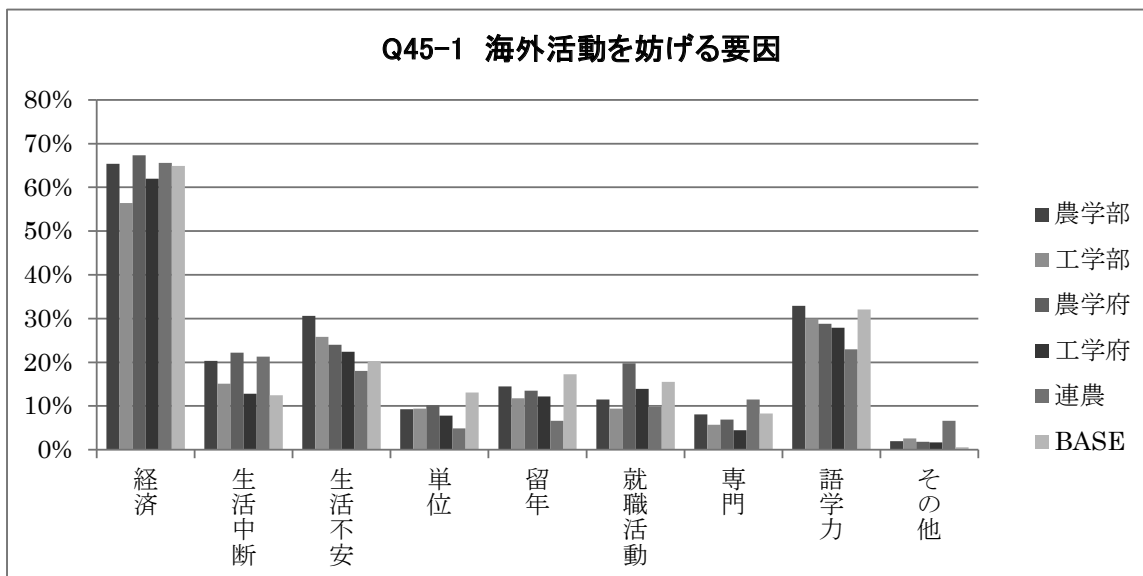
4.4. 希望する海外活動の内容

学部学生の多くが希望しているのは、「語学研修」であることが分かる。しかし、語学研修・ホームステイを希望しているのは、主に低学年時である。高学年時における「交換留学」や「研究活動」への希望も微増である



4 5. 海外活動を妨げる要因

海外活動を妨げる圧倒的要因は「経済的理由」である。これは部局に依存せず、今後とも、海外活動に対しては経済的支援が必要であると考えられる。続いて、海外での生活に対する不安や語学力があげられており、一般に考えられているほど、就職に影響すると学生は思っていない。また、学年による違いもあまりみられない。生活や語学に対する不安が、若干、高学年ほど下がっているのは、海外に対する知識の増加や人間的成長によると思われる。



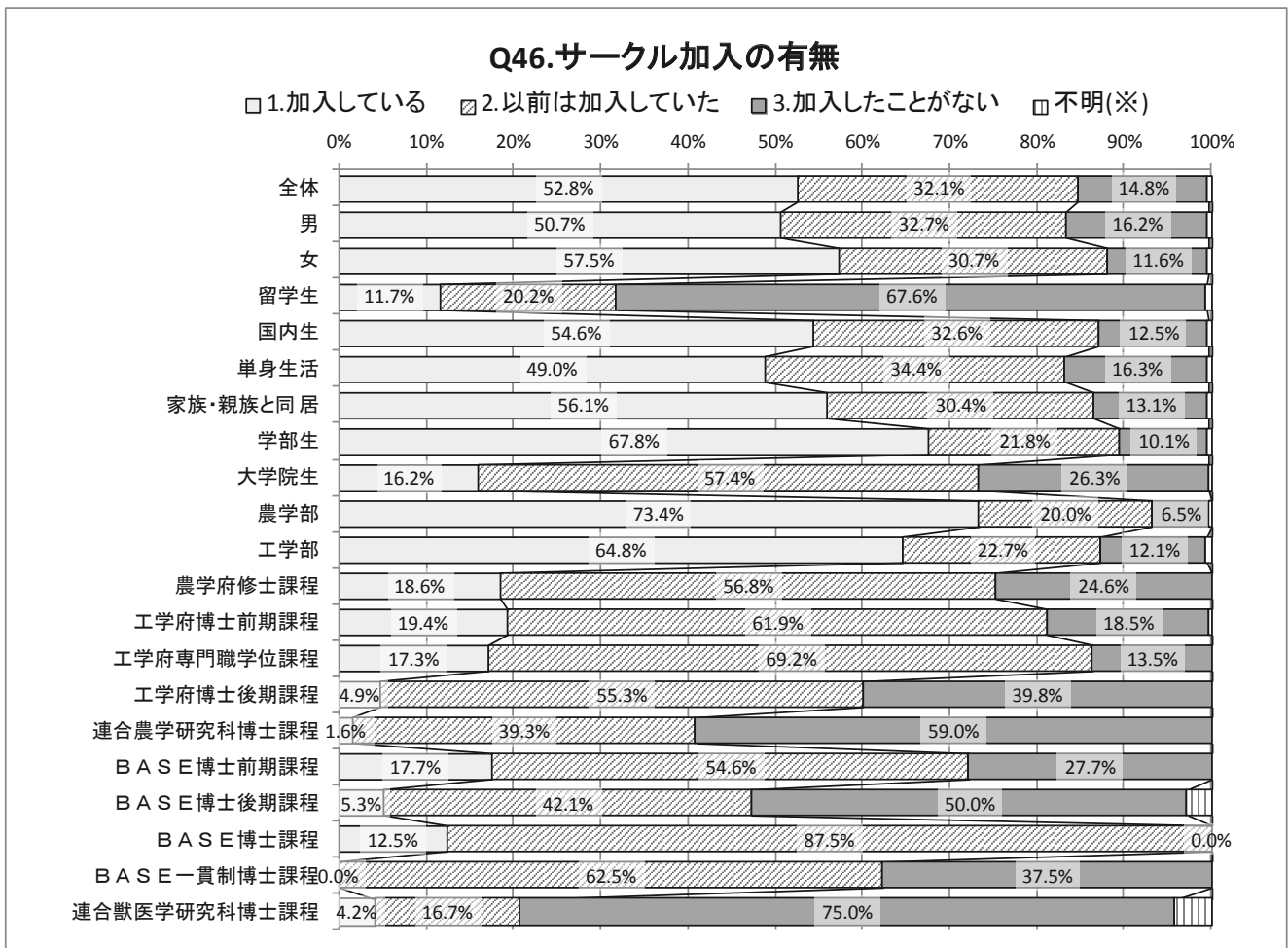
第VI章 課外活動

46. サークル加入の有無

サークルへの加入状況は、全体では、52.8%が「加入している」、32.1%が「以前加入していた」、14.8%が「加入したことがない」と答えている。学部別にみると、「加入している」と答えた割合は農学部が73.4%と工学部の64.8%より高く、逆に「加入したことがない」と答えた割合は工学部が12.1%で農学部の6.5%より高い。また男女別で見ると、女子学生の方が「加入している」と答えた割合の57.5%が男子学生の50.7%より高く、課外活動への意欲がうかがえる。なお、本学におけるデータには、大学院生の回答も含まれる。

これまでの調査を振り返ると、「加入している」と「以前加入していた」を合わせた数値が、第1回から第5回まではあまり変化が無く71~73%程度であったが、第6回には約80.0%、第7回には83.4%まで伸びた。

第8回は84.9%となっており、年々、学生が課外活動に対して積極的になってきていることがうかがえる。

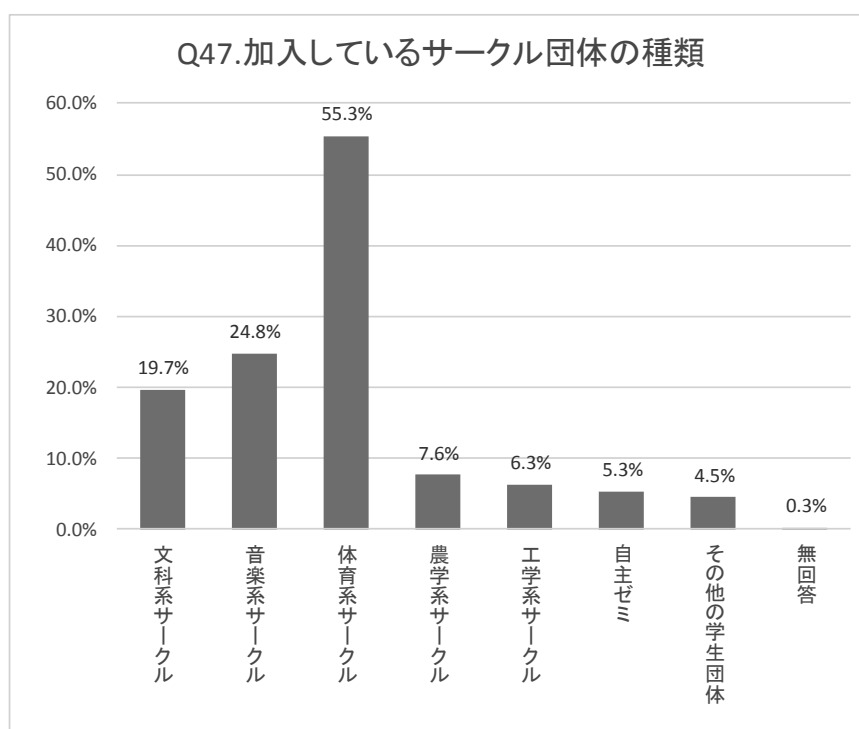


サークル加入の推移

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
加入している	49.0	50.4	48.3	43.1	44.7	51.0	55.9	52.8
加入していた	23.5	22.2	27.9	28.4	28.6	28.3	27.5	32.1
加入していない	27.4	27.4	23.8	28.5	26.7	20.7	16.6	14.8

47. 加入しているサークル団体の種類

加入しているサークル団体は、全体では、体育系サークル(55.3%)が約半数を占め、以下、音楽系サークル(24.8%)、文科系サークル(19.7%)の順である。なお、昨年度までは音楽系サークルよりも文科系サークルの方が多かった。従って、第8回から音楽系サークルと文科系サークルの順位が入れ替わったことになる。さらに男子学生と女子学生を比較すると、男子学生は体育系が多く(57.91%)、女子学生も体育系が多いものの(50.1%)、音楽系(32.5%)や文科系(20.9%)の割合が高い。こちらについても同様に音楽系と文科系とで順位が入れ替わった。また、今回より、文科系、音楽系、体育系、農学系、工学系、自主ゼミ、その他の学生団体の区分で調査を実施し、新しい区分である農学系、工学系、自主ゼミ、その他のサークルに加入している学生の割合は10.0%以下である。



加入しているサークル団体の推移

調査	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H6	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
文科系サークル	18.8	22.5	24.3	20.0	23.6	25.1	24.9	19.7
音楽系サークル	13.4	14.0	14.3	15.1	17.5	19.1	19.0	24.8
体育系サークル	62.7	53.9	51.3	52.8	54.8	51.6	50.7	55.3
2つ以上	5.1	9.6	10.1	12.1	---	---	---	---
その他	---	---	---	---	4.1	4.2	5.4	---
農学系	---	---	---	---	---	---	---	7.6
工学系	---	---	---	---	---	---	---	6.3
自主ゼミ	---	---	---	---	---	---	---	5.3
その他の学生団体	---	---	---	---	---	---	---	4.5

第1回～第4回は、文科系、音楽系、体育系、2つ以上の区分で調査を実施。

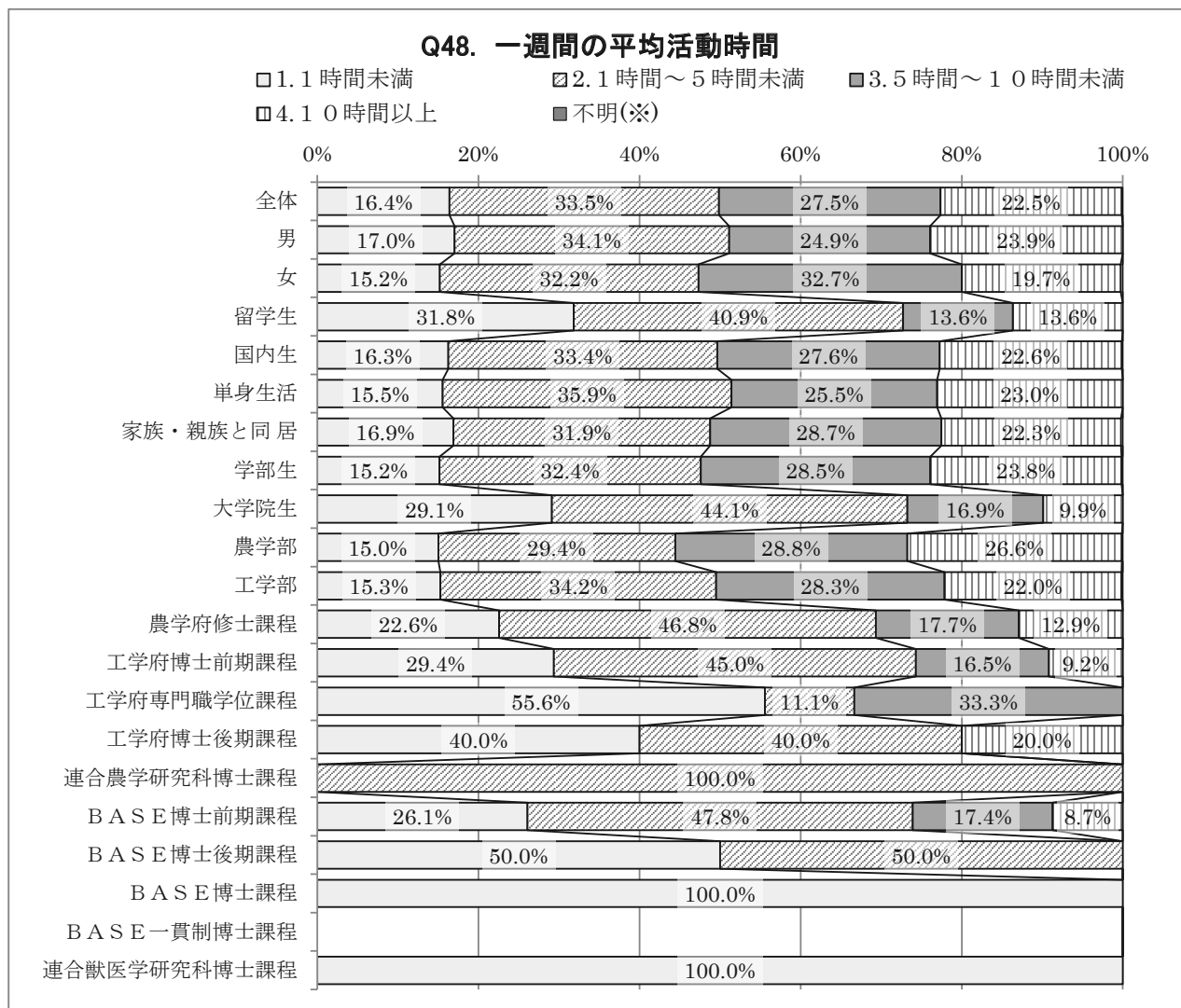
第5回以降は、文科系、音楽系、体育系、その他の区分で調査を実施。

第8回より、文科系、音楽系、体育系、農学系、工学系、自主ゼミ、その他の学生団体の区分で調査を実施。

4 8. 一週間の平均活動時間

全体では、「1時間～5時間未満」(33.5%)が最も多く、ついで「5時間～10時間未満」(27.5%)であり、「10時間以上」(22.5%)の者もかなり存在する。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生は「1時間～5時間未満」(34.1%)と最も多く、女子学生は「5時間～10時間未満」(32.7%)が僅差ながら多く、前回と比べて、女子学生の活動時間が長くなっていることがうかがえる。

なお、学部生では、「1時間～5時間未満」(32.4%)、「5時間～10時間未満」(28.5%)という順番になっているが、大学院生では、「1時間～5時間未満」(44.1%)、「1時間未満」(29.1%)となっており、課外活動は学生を中心に活動している可能性がうかがえる。



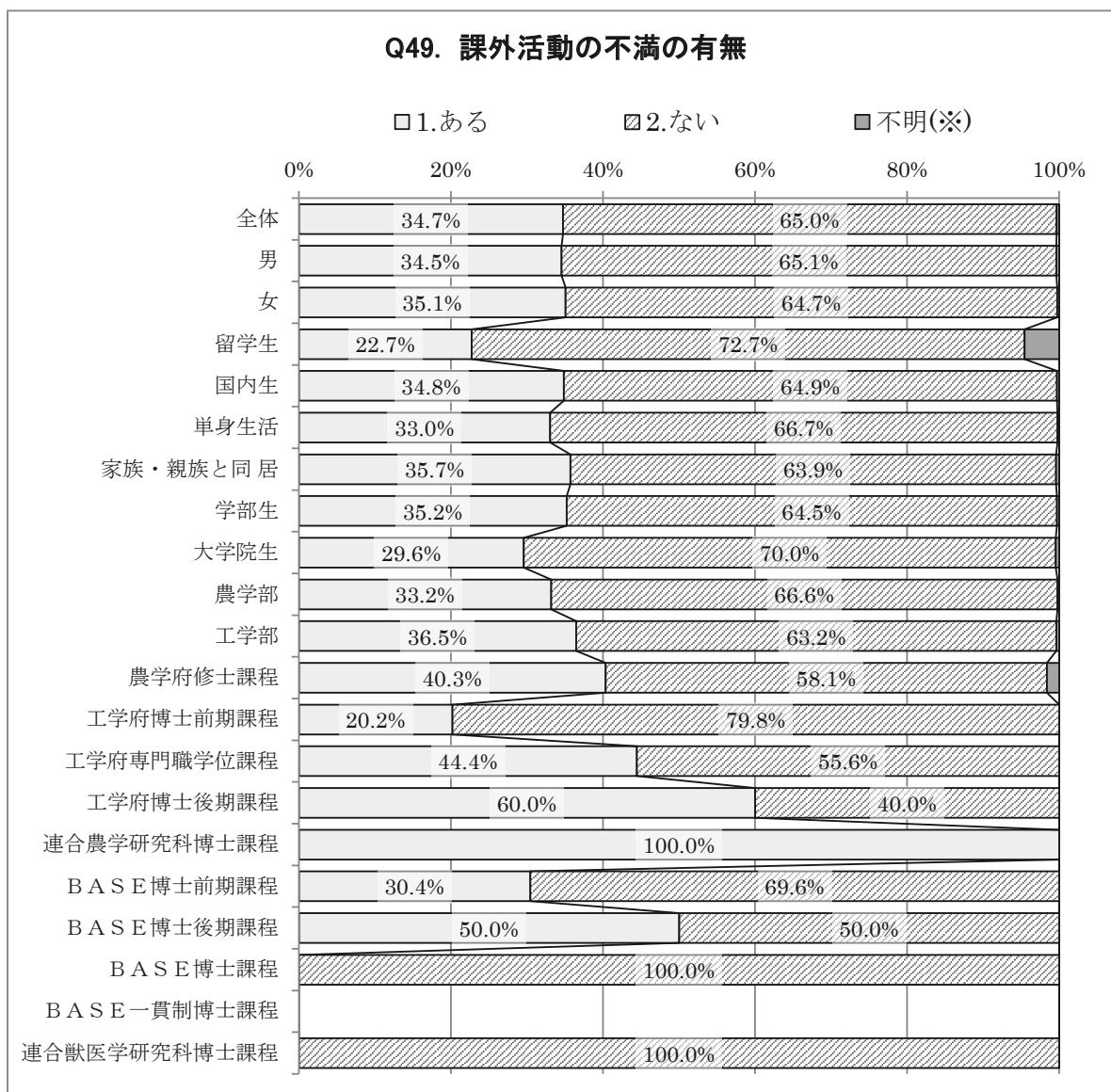
一週間の平均活動時間の推移

調査	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H12	H15	H17	H21	H24	H27
1時間未満	27.2	21.6	16.8	17.5	20.7	16.4
1時間～5時間未満	35.8	33.9	37.0	36.1	35.0	33.5
5時間～10時間未満	20.1	24.9	26.5	26.0	27.6	27.5
10時間以上	16.9	19.7	19.7	20.4	18.5	22.5

第1回、第2回については、設問の形式が第3回目以降とは異なっていたため、データ比較を行えなかった。

49. 課外活動の不満の有無

課外活動に関して不満があると回答したのは、全体で 34.7%であった。前回調査と比較すると、不満があると回答した学生が 9%程度増えている。



課外活動の不満の有無の推移

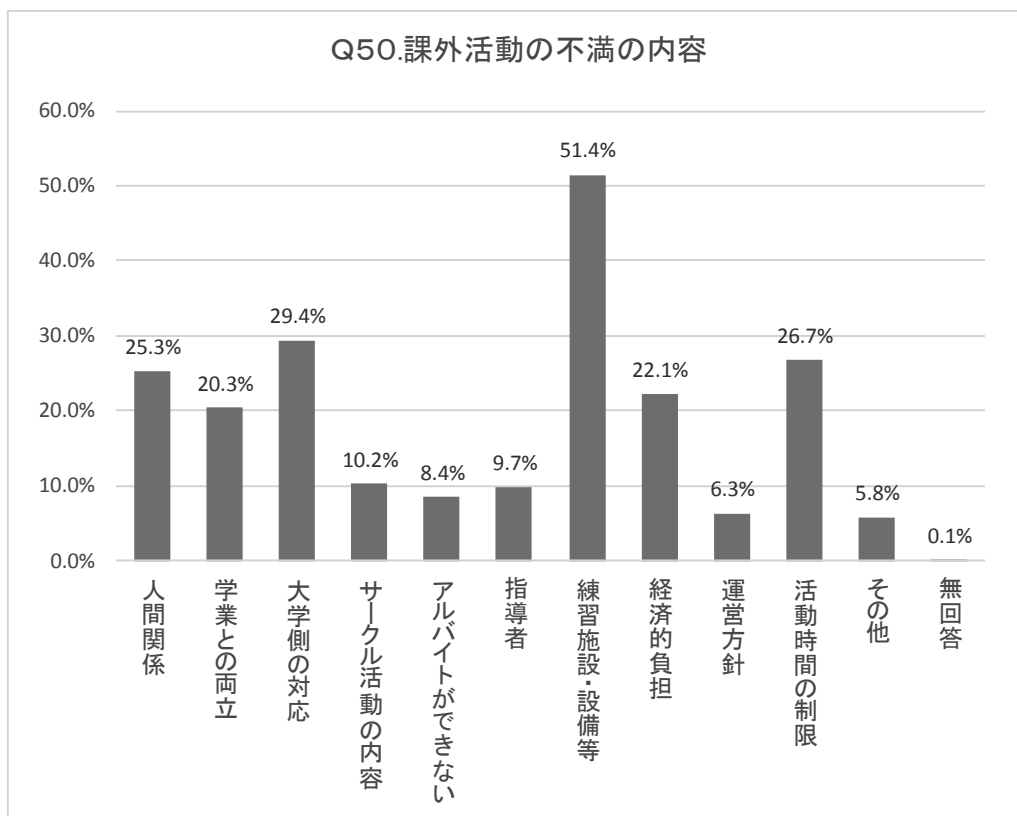
調査	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回
年度	H6	H9	H12	H15	H17
満足している	87.3	53.3	54.0	---	---
満足していない	11.0	46.7	46.0	---	---

調査	第 6 回	第 7 回	第 8 回
年度	H21	H24	H27
不満がある	30.3	25.7	34.7
不満がない	69.7	74.3	65.0

50. 課外活動の不満の内容

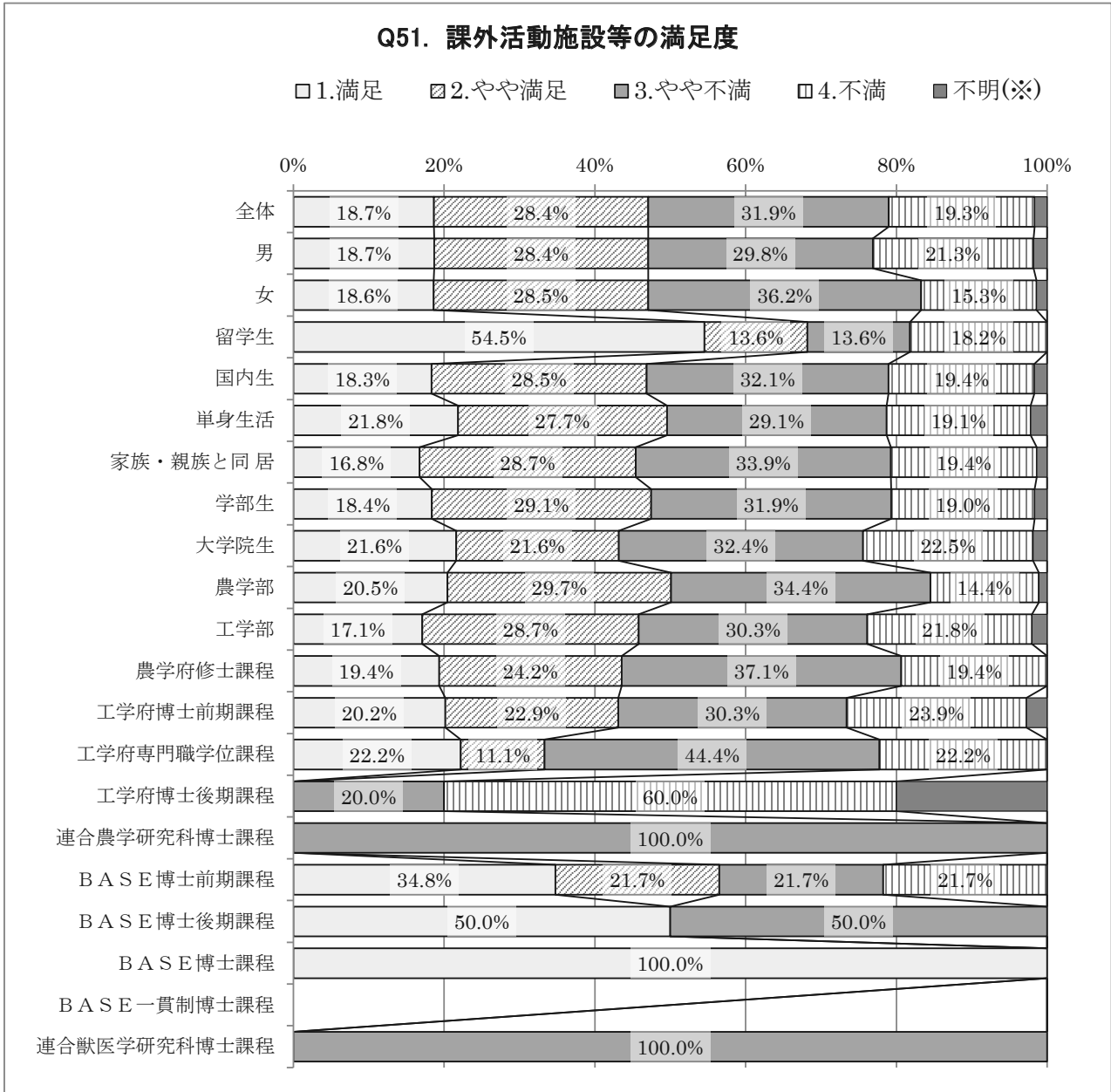
課外活動に関する不満の内容については、「練習施設・設備等」に関するものが最も多く、51.4%を占めていた。なお、前回調査では34.5%であったため、ここ数年でさらに練習施設・設備等への不満が増大したことがうかがえる。さらに今回から追加した「大学側の対応」(29.4%)、「活動時間の制限」(26.7%)という項目への回答割合が多いことから、課外活動を取り巻く大学側の状況への不満はかなり大きいことがうかがえる。

ついで、「人間関係」(25.3%)と続いているが、前回調査に比べ10.9%も増えたことから、課外活動における人間関係の難しさを感じている学生が増えていることがうかがえる。



5 1. 課外活動施設等の満足度

課外活動施設等の満足度については、全体として、「満足」が18.7%、「やや満足」が28.4%であった。前回調査時は「満足」「やや満足」を併せて67.2%であったことを踏まえれば、今回の調査では20.1%も減少しており、「やや不満」「不満」が増加したことがうかがえる。



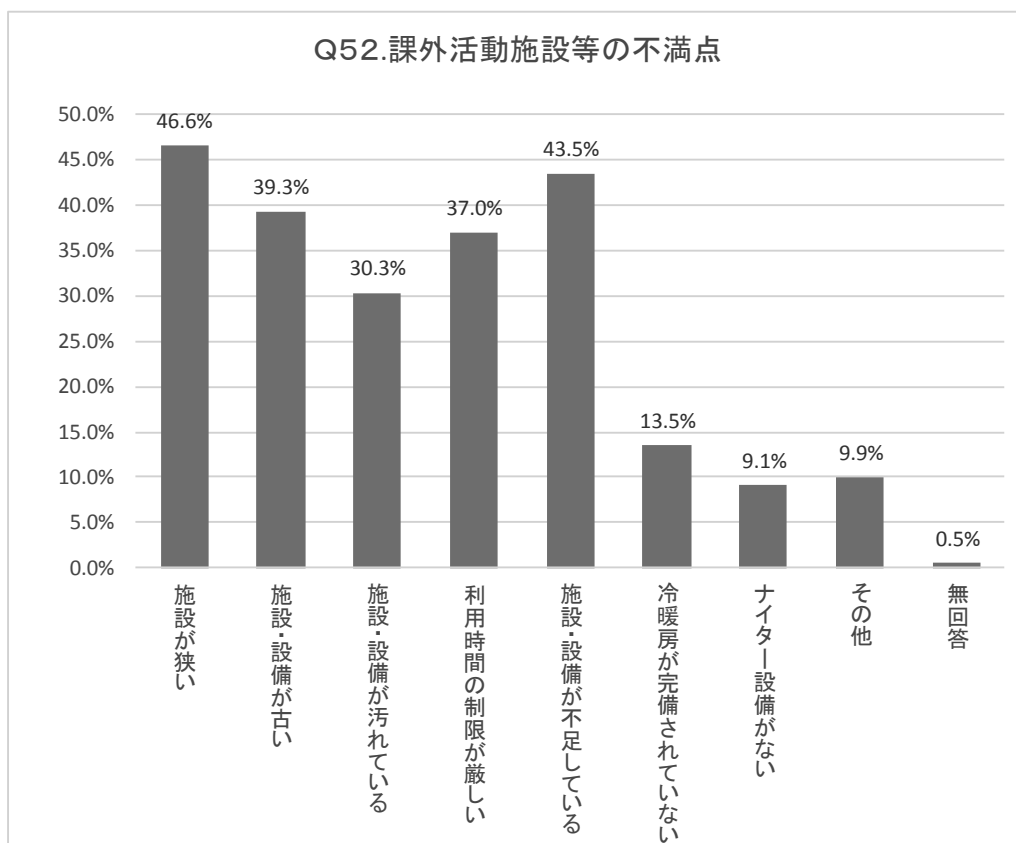
課外活動施設等の満足度の推移

調査	第6回	第7回	第8回
年度	H21	H24	H27
満足	21.7	23.8	18.7
やや満足	43.0	43.4	28.4
やや不満	21.8	18.0	31.9
不満	13.5	15.0	19.3

5.2. 課外活動施設等の不満点

今回の調査より、課外活動施設等に関し、特にどのような点に不満があるかを調査した。その結果、「施設が狭い」(46.6%)、「施設・設備が不足している」(43.5%)、「施設・設備が古い」(39.3%)、「利用時間の制限が厳しい」(37.0%)となっており、施設の使い勝手についての不満が大きいことがうかがえる。なお、自由記述でもサークル棟や部室棟の建て替えについての要望は強く、施設の使い勝手の悪さ、老朽化等が進んでいることがうかがえる。

また、さらに自由記述を精査すると、農学部には設置されているナイター設備が工学部にはないことに対する不満意見が目立つ。その他、ロッカーの設置に対する要望など、課外活動施設等に対する不満は前回調査に比べてさらに強まっていることがうかがえる。

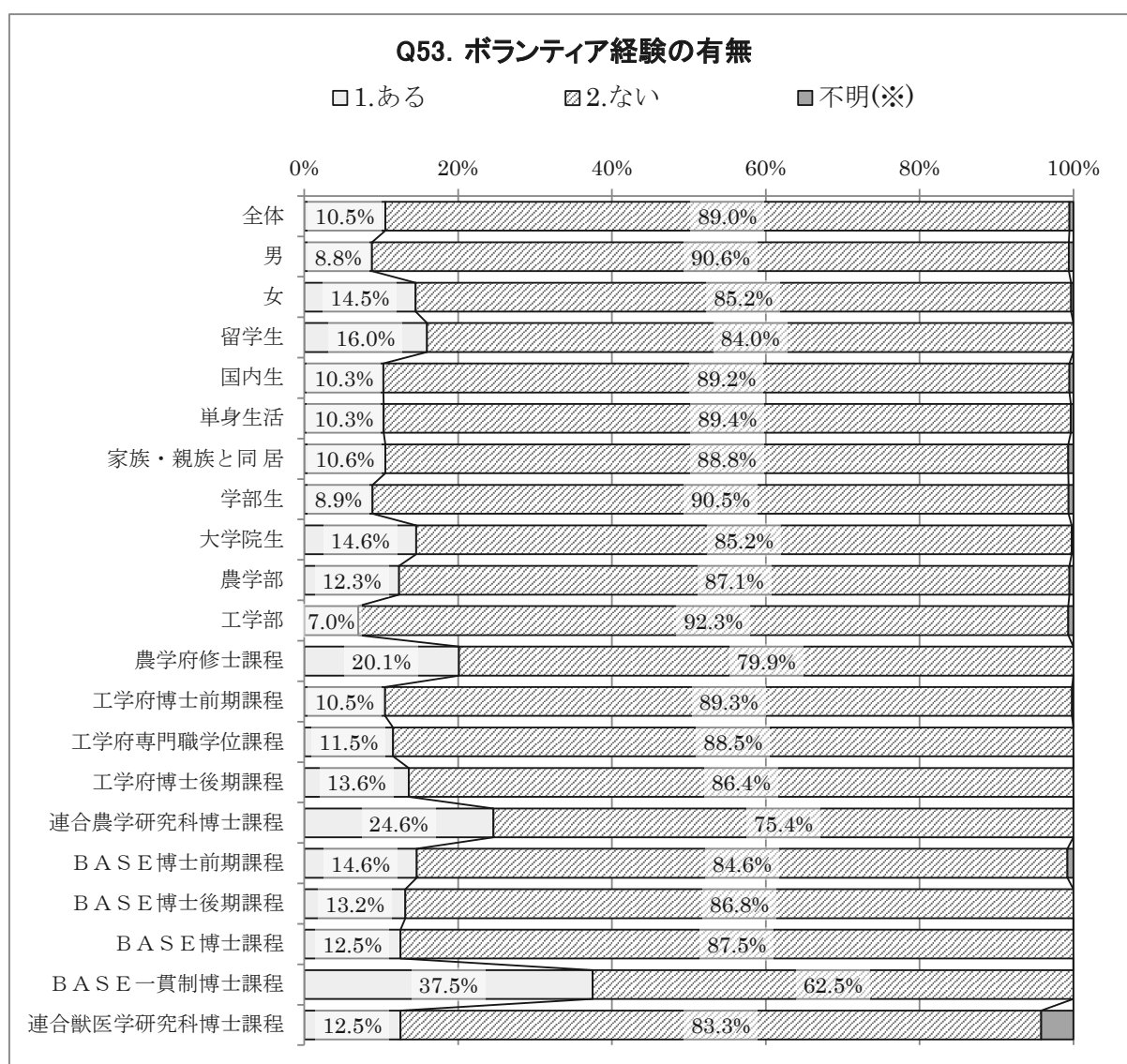


第Ⅶ章 ボランティア活動

5.3. ボランティア経験の有無

全体では、「ある」と回答したのは10.5%であり、残りの89.0%は入学後のボランティア活動の経験はない。男子学生と女子学生を比較すると、女子学生(14.5%)の方が、男子学生(8.8%)より割合が高い。さらに、大学院生(14.6%)の方が、学部生(8.9%)よりボランティア活動の経験をした割合が高い。両学部生を比較すると、農学部生(12.3%)の方が、工学部生(7.0%)よりも割合が高い。

これまでの調査を振り返ると、H12年度まで「ある」と回答した割合は約28%であったが、平成15年度には16.0%まで低下し、以後13~14%で推移していたものの、今回の調査では10.5%まで低下した。



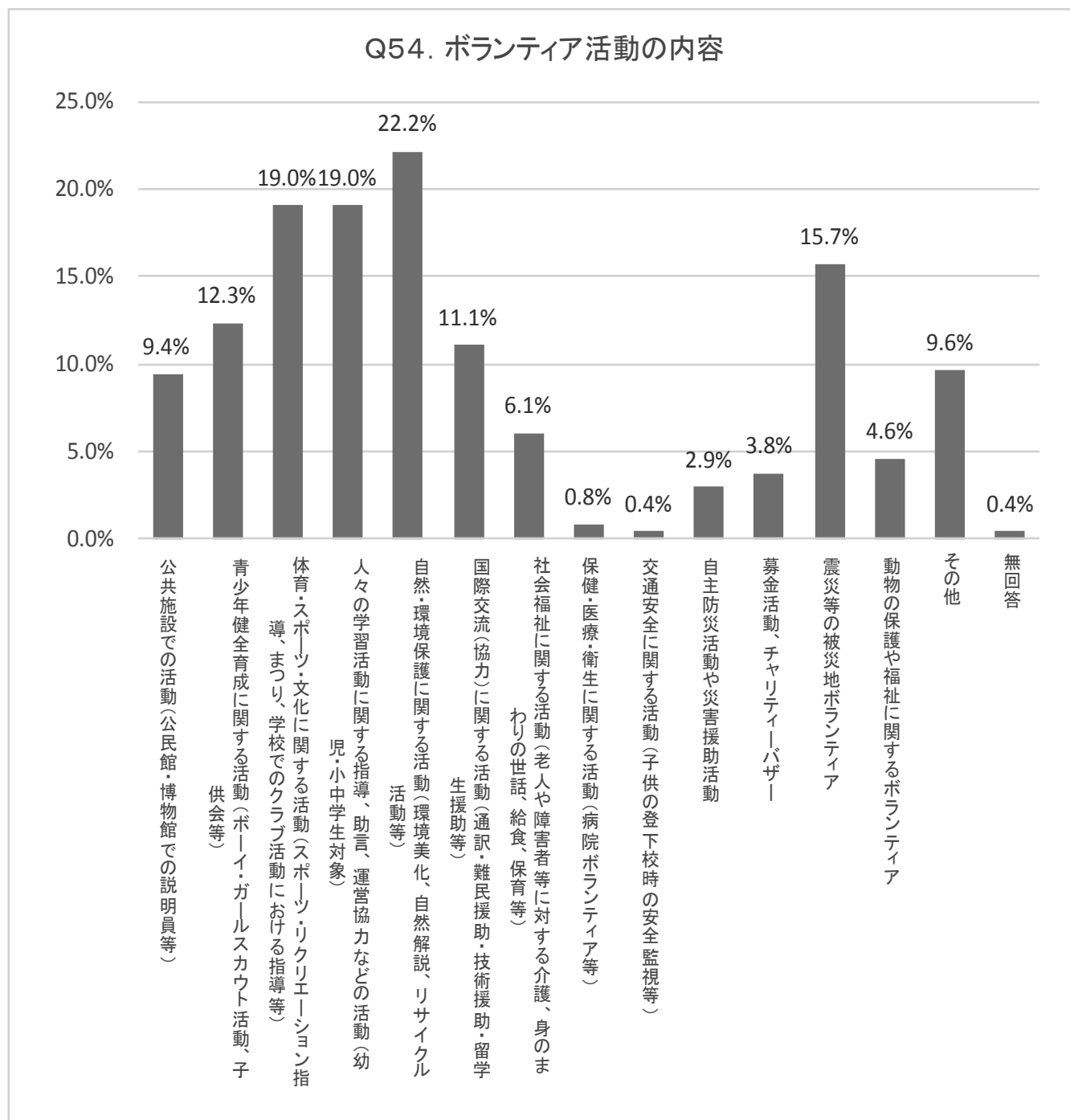
ボランティア経験の有無の推移

調査	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
ある	27.6	27.9	16.0	13.6	13.4	13.9	10.5
ない	72.4	72.1	84.0	86.4	86.6	86.1	89.0

5.4. ボランティア活動の内容

全体では、「自然・環境保護に関する活動（環境美化、自然解説、リサイクル活動等）」(22.2%)が最も多く、「体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・リクリエーション指導、まつり、学校でのクラブ活動における指導等）」(19.0%)、「人々の学習活動に関する指導、助言、運営」(19.0%)と続いた。

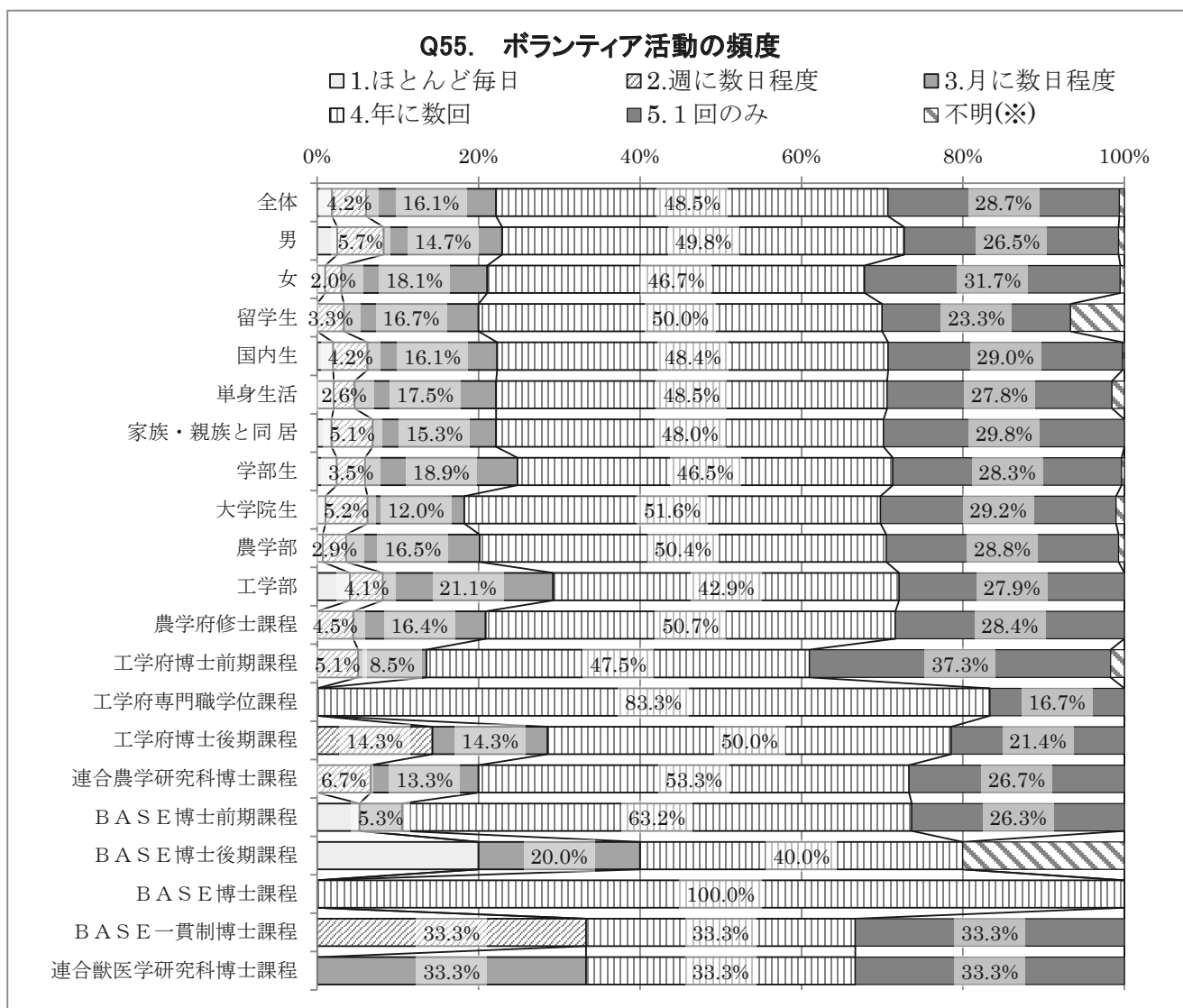
また、男子学生、女子学生を比較すると、男子学生は「自然・環境保護に関する活動（環境美化、自然解説、リサイクル活動等）」(21.1%)が最も多いのに対し、女子学生は「人々の学習活動に関する指導、助言、運営」(24.1%)が最も多く、関心の違いが露呈した。



5.5. ボランティア活動の頻度

ボランティア活動の頻度については、「年に数回」が最も多く、全体では48.5%を占めていた。全般的傾向として、農学部、工学部間に差はなく、男女の比較についても同様であった。

今回の結果を前回の調査と比較すると、前回までは「1回のみ」という選択肢がなかったため、昨年度「年に数回」(68.2%) というものが、今回の調査では「年に数回」(48.5%) と「1回のみ」(28.7%) に分かれたことがうかがえる。

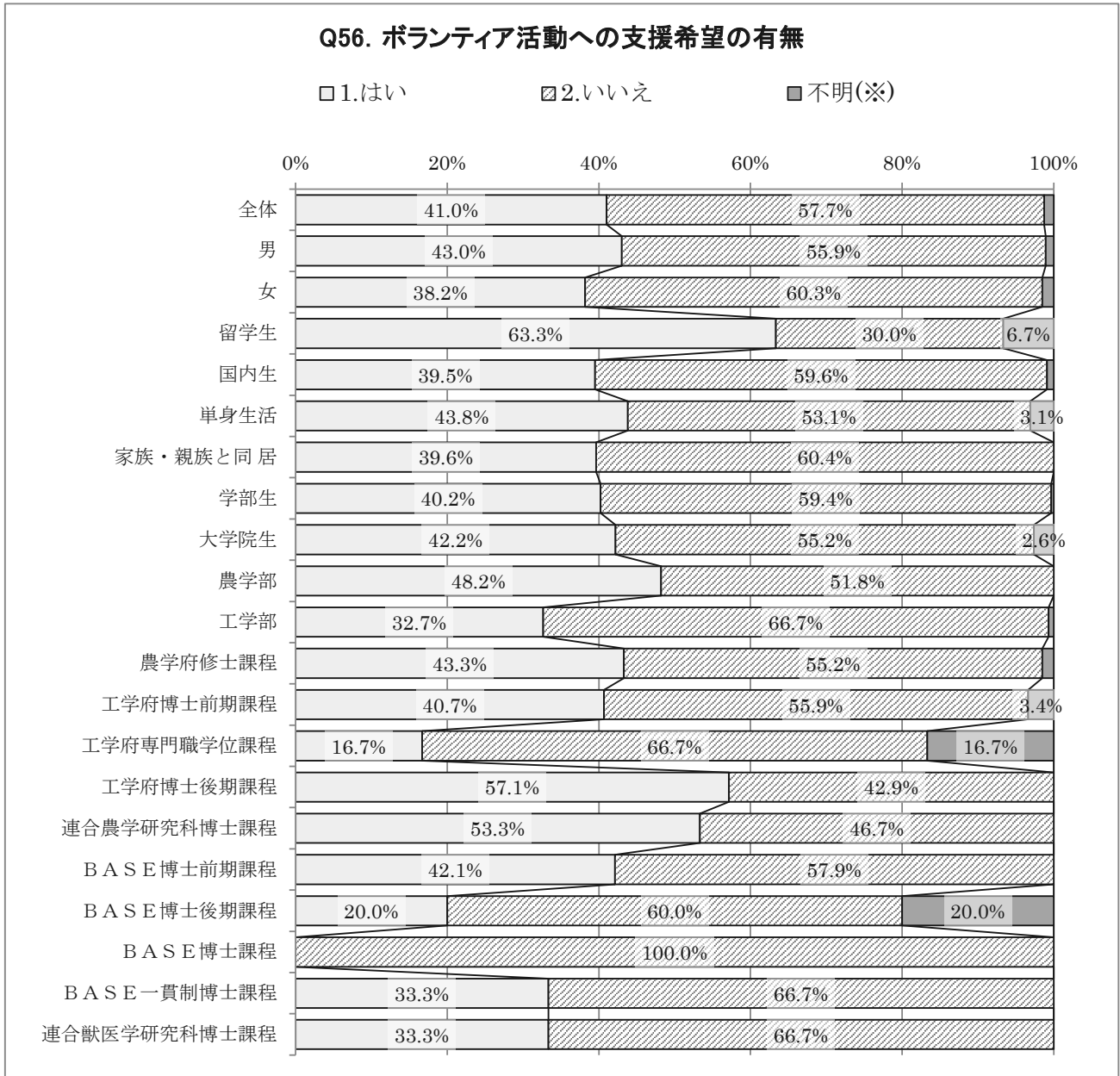


ボランティア活動の頻度の推移

調査	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H12	H15	H17	H21	H24	H27
ほとんど毎日	0.4	1.6	2.6	1.8	3.2	1.9
週に数日程度	5.0	6.1	8.9	5.9	4.0	4.2
月に数日程度	14.2	15.0	15.4	16.9	13.8	16.1
年に数回	48.1	65.2	61.6	69.2	68.2	48.5
その他	32.3	12.1	11.4	6.2	10.8	—
1回のみ	—	—	—	—	—	28.7

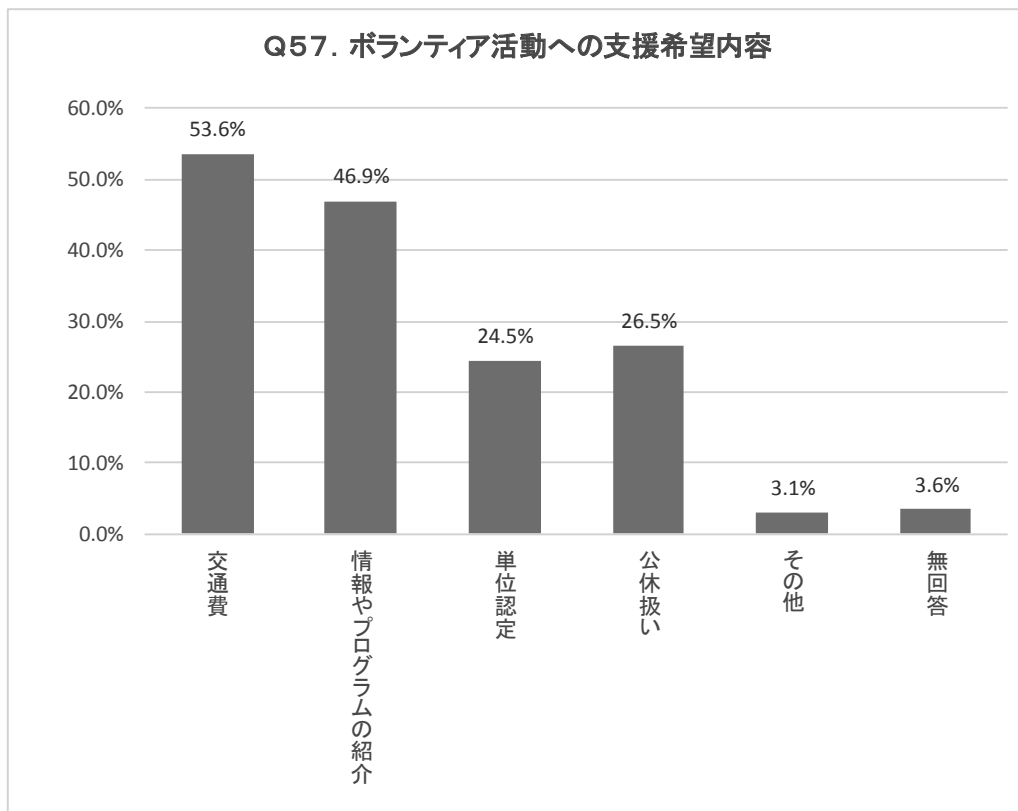
56. ボランティア活動への支援希望の有無

ボランティア活動への支援希望については、「いいえ」が多く、全体として57.7%を占めていたものの、前回調査の結果と比較すると、支援希望「はい」が前回23.6%から今回41.0%と17.4%増加しており、ボランティア活動に対する大学への期待がうかがえる。



57. ボランティア活動への支援希望内容

ボランティア活動に対し、具体的に大学にどのような支援を希望するかという問いについて、「交通費」(53.6%)、「情報やプログラムの紹介」(46.9%)、「公休扱い」(26.5%)、「単位認定」(24.5%)となった。男子学生は「交通費」(57.5%)が最も多く、女子学生は「情報やプログラムの紹介」(57.9%)が多かった。



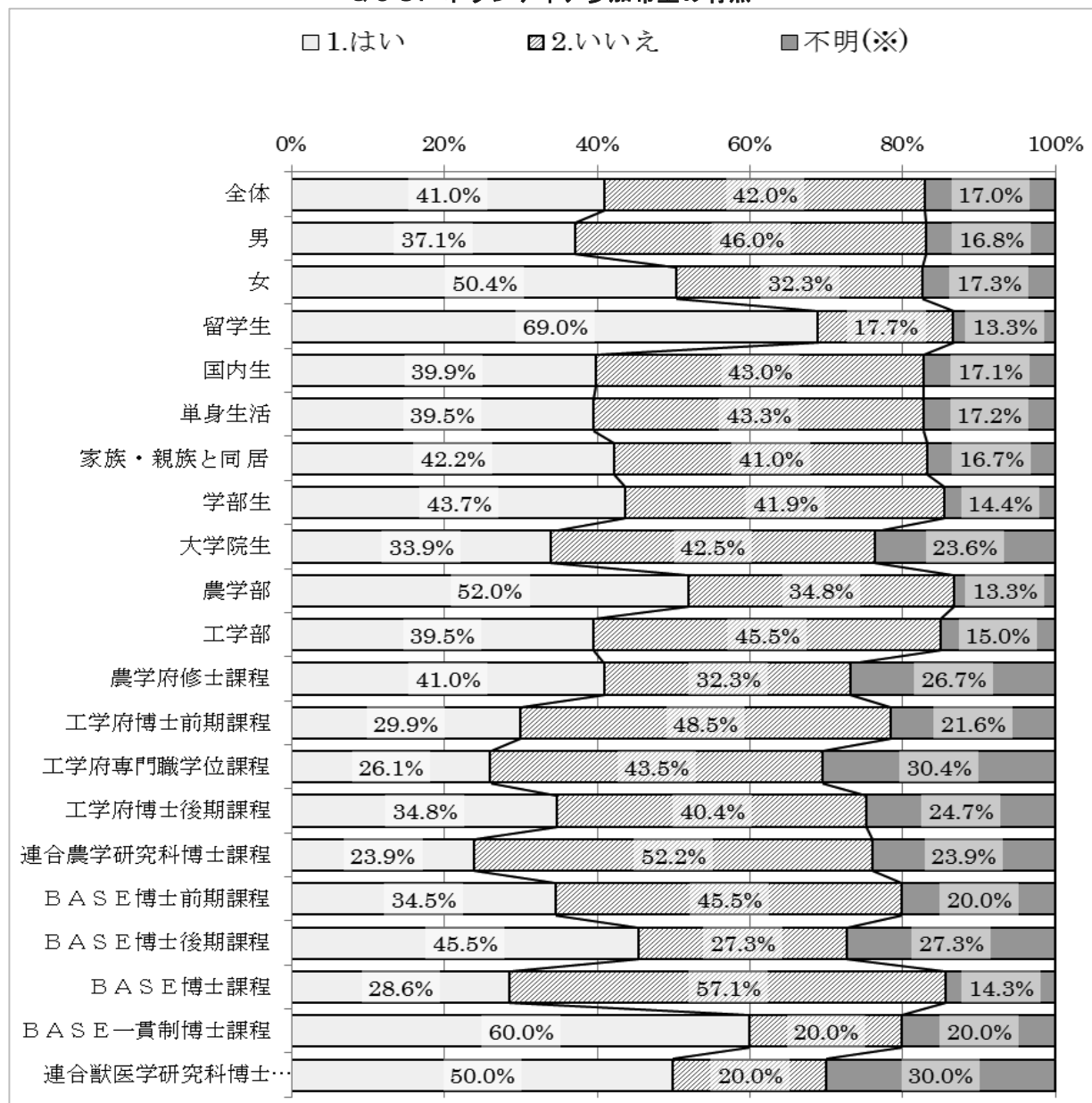
58. ボランティア参加希望の有無

ボランティア参加希望の有無については、全体として、参加希望が全体で41.0%であった。

男子学生が37.1%の参加希望であるのに対し、女子学生は50.4%となっており、女子学生の方がボランティアへの参加に積極的であることがうかがえる。

なお、ボランティアへの参加希望に関しては年々減少していたが、今回は6%増加した。しかし、平成17年度以前は参加希望者が60%以上いたことと比較すると、かなり低い値とに留まっているといえる。

Q58. ボランティア参加希望の有無



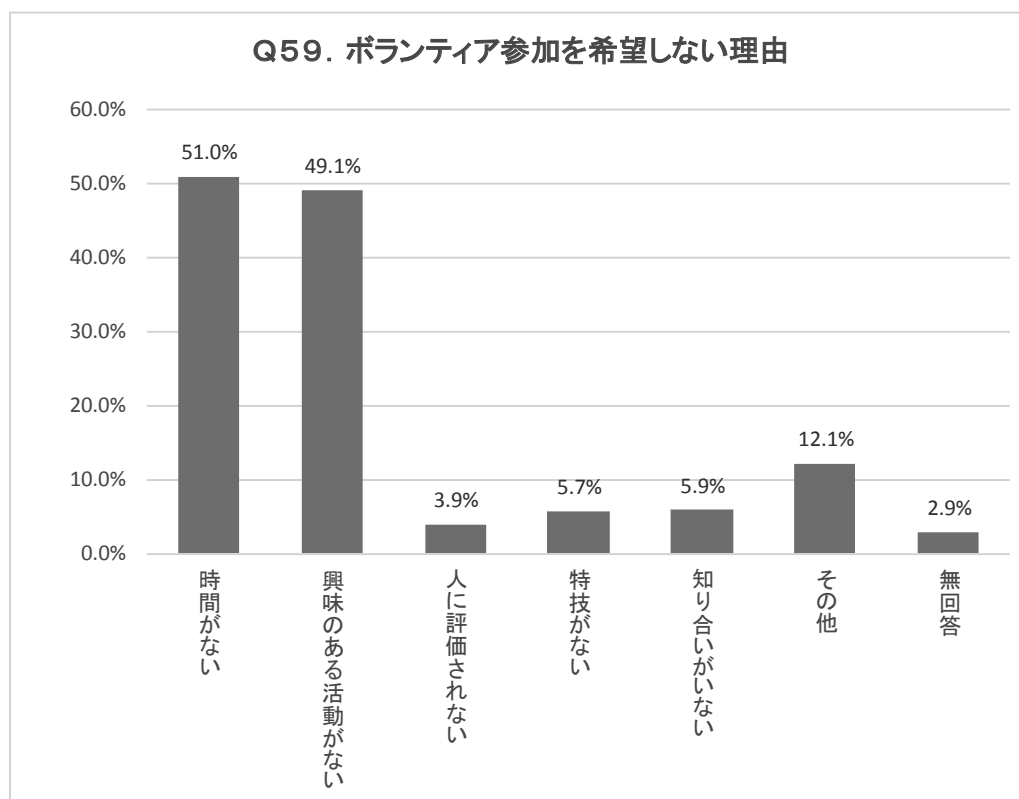
ボランティア参加希望の有無の推移

調査	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
年度	H9	H12	H15	H17	H21	H24	H27
はい	60.8	64.7	---	---	26.9	35.0	41.0
いいえ	39.2	35.3	---	---	73.1	65.0	42.0

第4回、第5回は設問形式が異なるため、今回のまとめには入れなかった。

59. ボランティア参加を希望しない理由

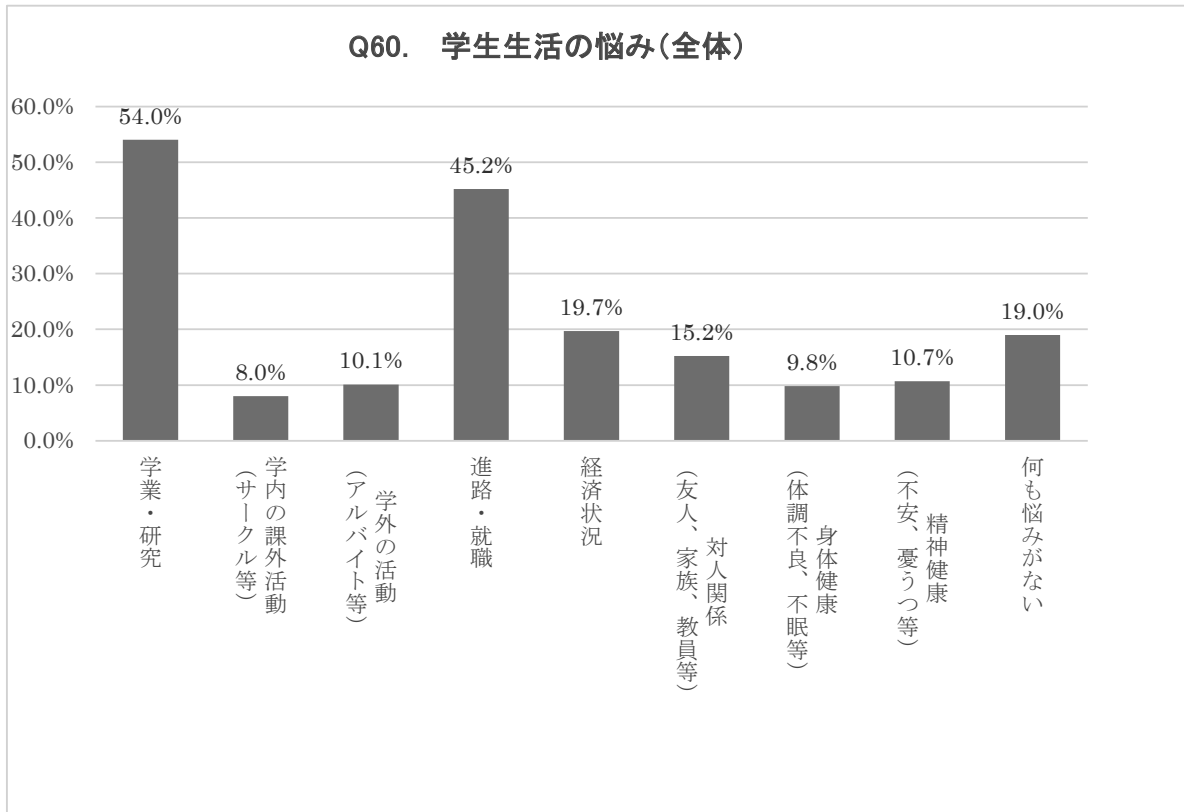
今回の調査では、ボランティア活動に参加を希望しない理由を問うている。「時間がない」(51.0%)、「興味のある活動がない」(49.1%)という理由が大きい割合を占めており、全般的に、大学やプライベートでの他の時間で目いっぱいであることがうかがえる。なお、女子学生は「時間がない」(64.6%)が圧倒しているのに比べ、男子学生は「興味のある活動がない」(50.5%)と「時間がない」(47.1%)と分かれていた。



第Ⅷ章 学生生活

60. 学生生活の悩み

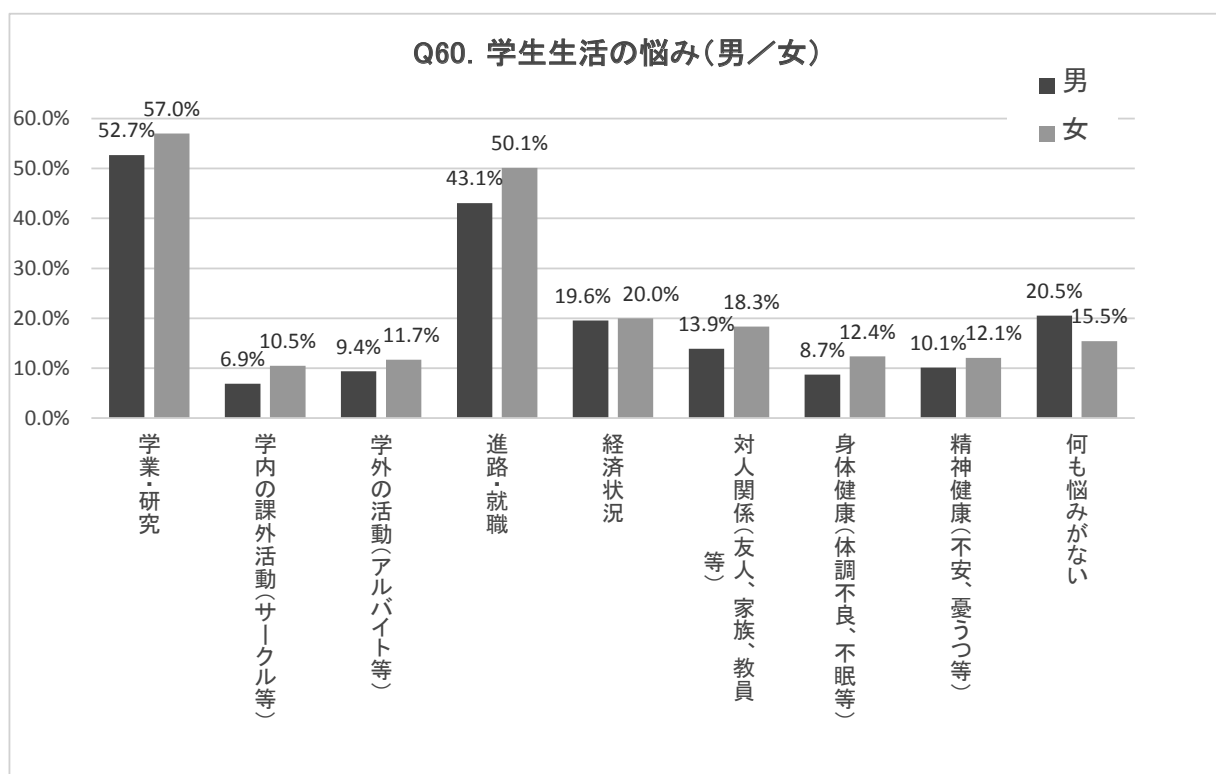
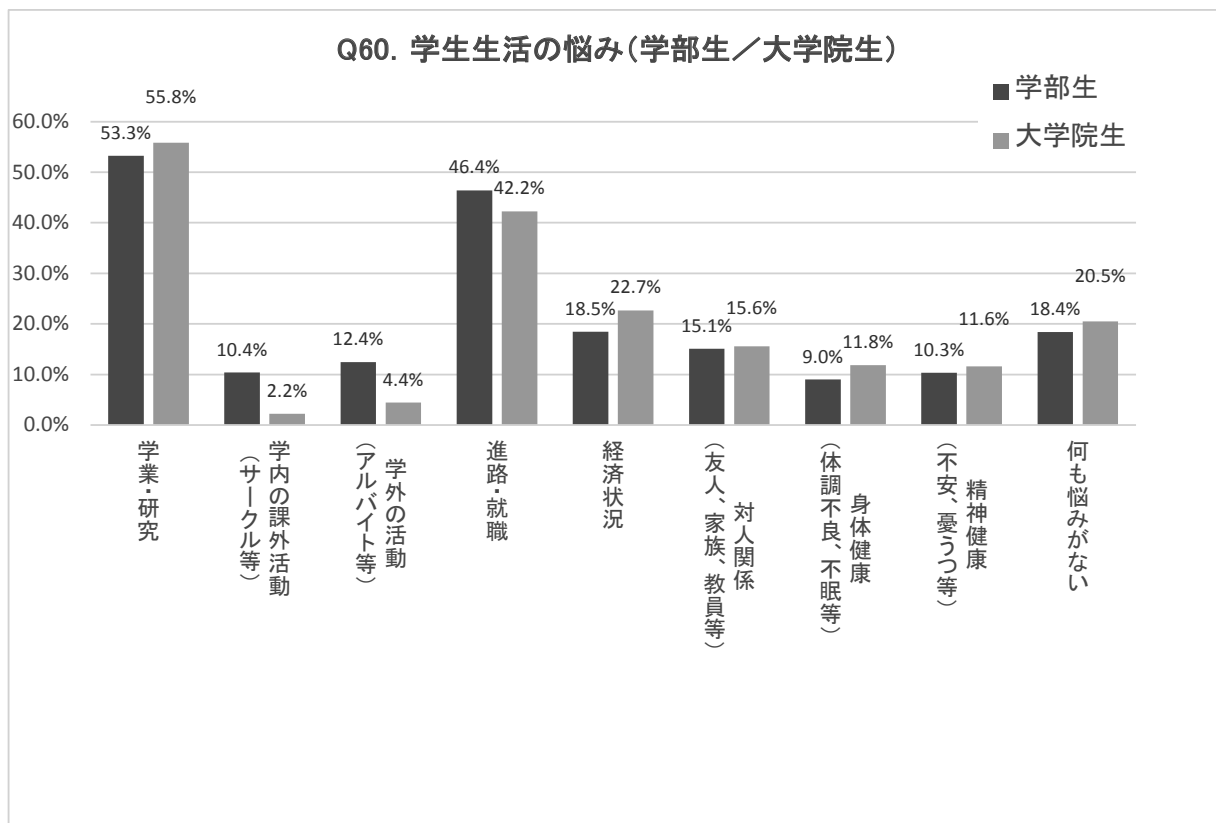
今回の調査から悩みの順位付けをせずに「悩みがあるもの」を複数回答としたため、前回との単純な比較はできない。しかし学生生活の悩みの二大テーマは、「学業・研究」と「進路・就職」であり、この傾向は11年前の第5回調査結果から変わらない。「何も悩みがない」という学生が全体の19.0%（前回15.5%）で増加している。



学部生と大学院生（修士）の比較では、悩みの二大テーマは変わらないが、学部生の方が学内外の活動に関する悩みが多くなっている。大学院生は学内外の活動に従事する時間が減り、学業・研究に多くの時間を割くようになっているためと思われる。大学院生の方が「経済状況」、「身体健康」、「精神健康」の悩みが学部生より多い傾向がみられる。

学部別では、農学部と工学部での大きな違いはみられないが、学府別では、農学府の学生の方が工学府の学生よりも「学業・研究」および「進路・就職」での悩みが多くなっている。

男女別にみると、多くの項目で女子学生の方が男子学生より「悩み」として選択される割合が高くなっている。「学業・研究」の悩みは男52.7%、女57.0%、「進路・就職」の悩みは男43.1%、女50.1%と、ともに女性の方が高くなっている。女性のキャリア形成についての支援の必要性が高まっていると思われる。



Q60. 学生生活の悩み (%)

	学業・研究	学内の 課外活動(サークル等)	学外の 活動(アルバイト等)	進路・就職	経済状況	対人関係(友人、家族、教員等)	身体健康(体調不良、不眠等)	精神健康(不安、憂うつ等)	何も悩まない
全体	54.0	8.0	10.1	45.2	19.7	15.2	9.8	10.7	19.0
男	52.7	6.9	9.4	43.1	19.6	13.9	8.7	10.1	20.5
女	57.0	10.5	11.7	50.1	20.0	18.3	12.4	12.1	15.5
留学生	67.4	6.0	7.6	44.6	40.2	18.5	10.3	10.3	10.3
国内生	53.4	8.1	10.2	45.2	18.8	15.1	9.8	10.7	19.4
単身生活	54.2	6.6	8.6	43.5	22.5	14.4	9.9	10.8	19.8
家族・親族と同居	53.8	9.1	11.3	46.4	17.4	15.8	9.9	10.7	18.5
学部生	53.3	10.4	12.4	46.4	18.5	15.1	9.0	10.3	18.4
大学院生	55.8	2.2	4.4	42.2	22.7	15.6	11.8	11.6	20.5
農学部	49.6	11.6	13.2	48.5	17.5	16.6	8.9	12.4	17.8
工学部	55.2	9.7	12.0	45.3	19.0	14.3	9.0	9.2	18.7
農学府修士課程	59.9	3.0	5.4	45.2	23.5	17.5	9.3	10.8	16.6
工学府博士前期課程	53.0	1.8	4.3	40.5	19.7	15.3	15.1	12.7	23.2
工学府博士後期課程	59.4	0.0	1.0	44.6	27.7	9.9	8.9	14.9	15.8
連合農学研究科博士課程	55.7	0.0	6.6	50.8	32.8	13.1	8.2	6.6	14.8
BASE	55.7	3.8	3.8	41.0	24.6	17.5	9.3	10.4	23.0
連合獣医学研究科博士課程	58.3	4.2	8.3	25.0	25.0	12.5	4.2	4.2	20.8

6 1. 対人関係の悩みの相手

学生生活の悩みで「対人関係」を選択したのは全体で 683 件、15.1%となった。前回調査では悩みの第 4 位までに「対人関係の悩み」と選択した割合は 19.0%であり、それに比べると減少している。

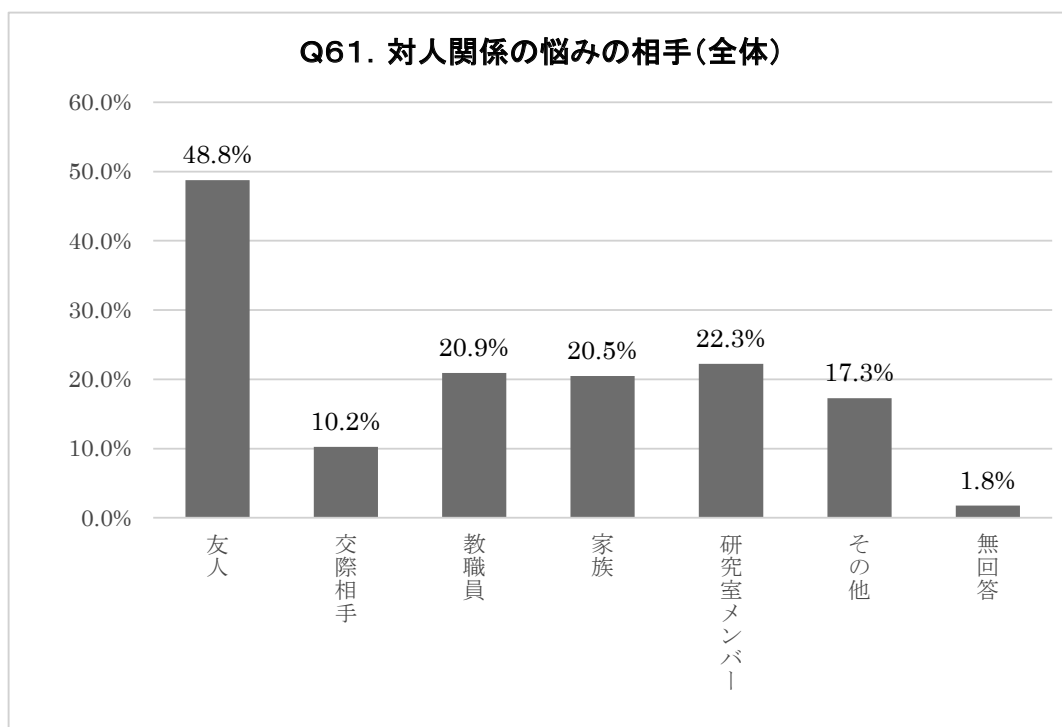
悩みの相手については、「友人」が一番高く 48.8%となっているが、女子学生のほうが対人関係での悩みを抱えやすい傾向があり男女差が大きいいため男女別に検討する必要がある。

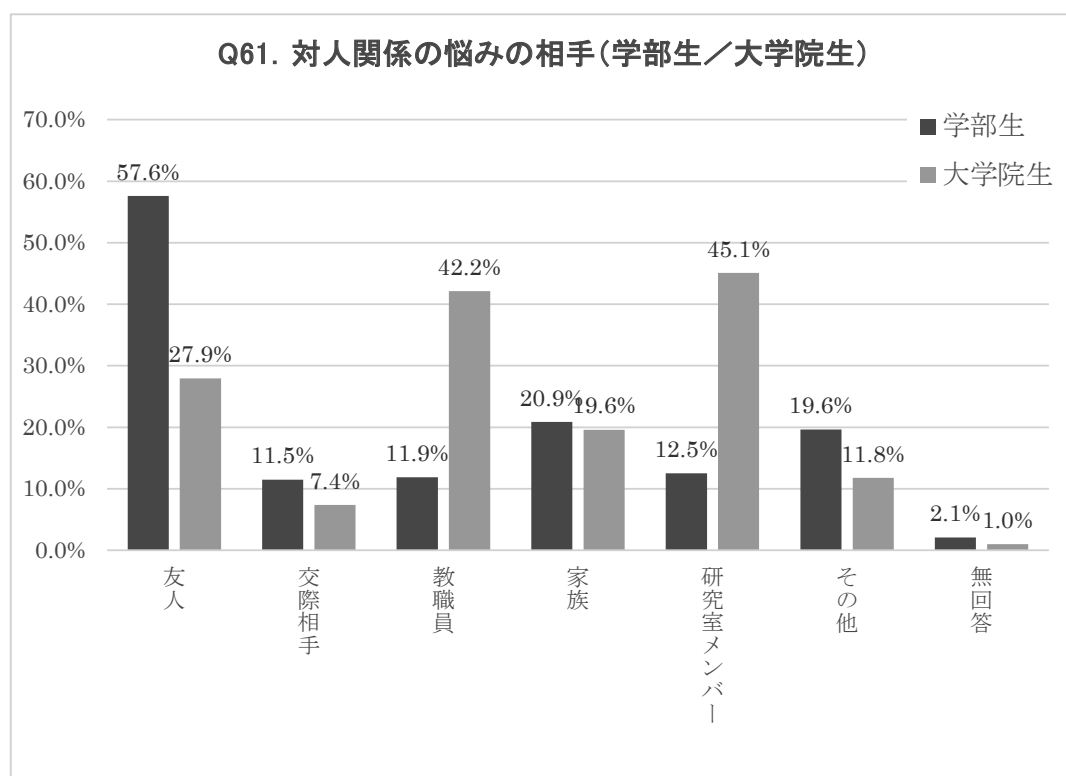
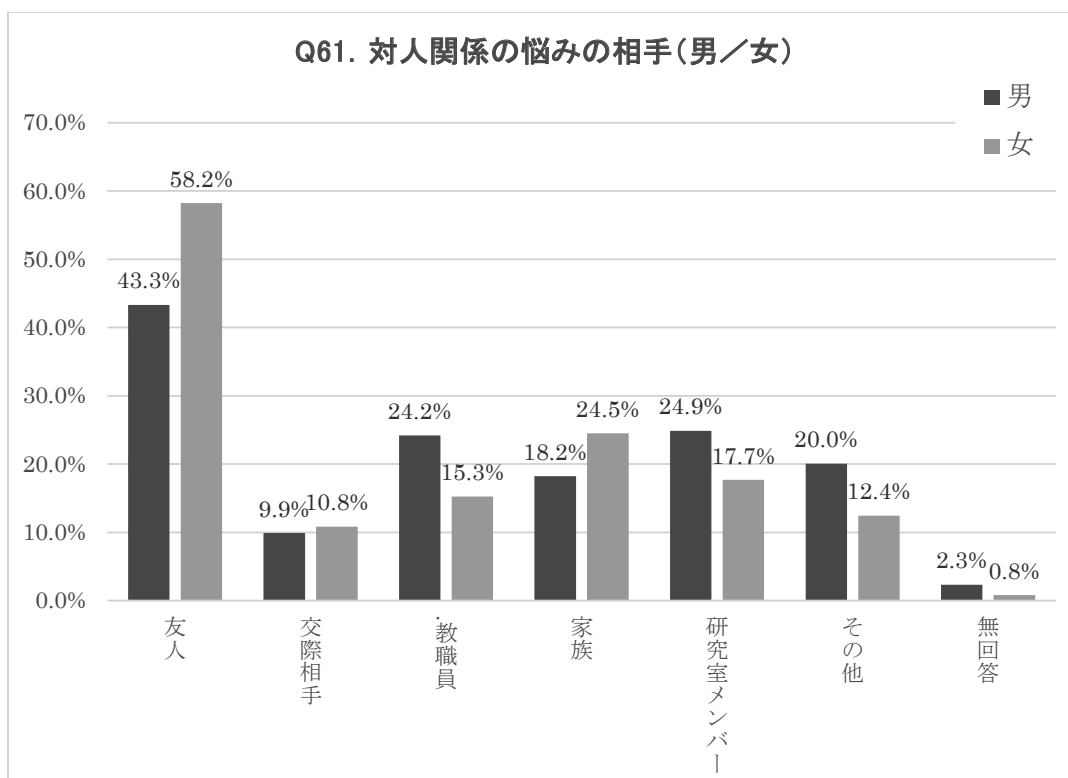
男子の場合、悩みの相手は「友人」が 43.3%と一番高くなっているが、「教職員」や「研究室メンバー」の選択率が女子より高い。一方女子学生は「友人」(58.2%)、「家族」(24.5%)とプライベートな対人関係での悩みが多くなっている。女子学生の方がプライベートな対人交流が多いことを示唆しているかもしれない。

学部学生と大学院生との比較では、研究室に配属される大学院生で「教職員」や「研究室メンバー」との悩みは増えている。工学部学生は農学部学生よりも「教職員」との悩みを多く感じている。若干だが、農学府修士学生の方が工学府博士前期課程学生よりも研究室内での対人関係の悩みが多くなっている。

また工学府博士後期課程の 70%、連合農学研究科の 62.5%が「教職員」を悩みの相手としてあげている。博士課程では指導教員との関係が非常に密接となることが関連しているだろう。

今回の調査では、単身生活者と親と同居の学生についての比較を行ったが、単身生活の学生の方が、研究室内での対人関係の悩みを多く感じている結果となった。身近に相談できる人がいないことや研究室内での生活時間が長くなっていることなどが関係している可能性がある。



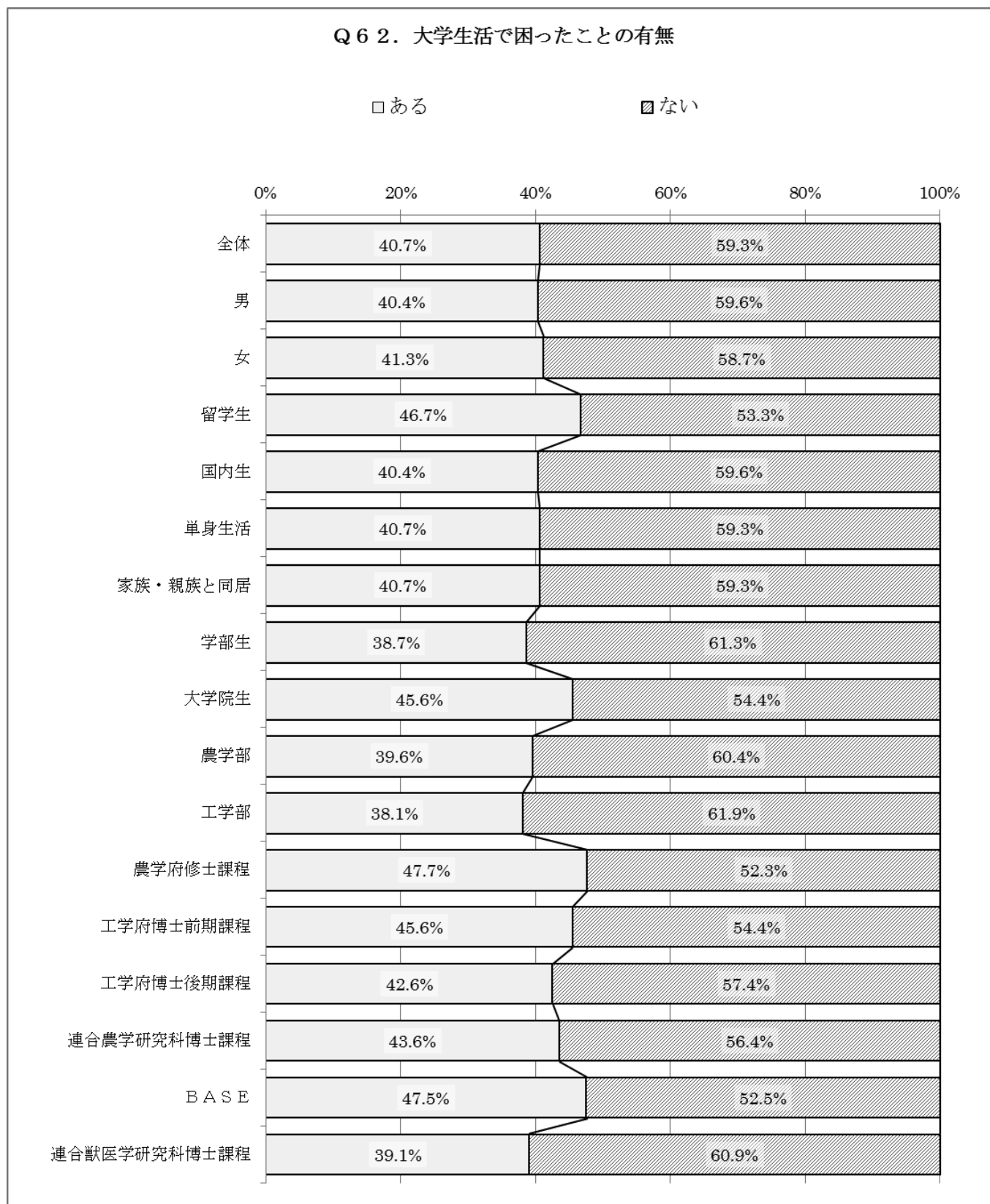


Q61. 対人関係の悩みの相手 (%)

	友人	交際相手	教職員	家族	研究室 メンバー	その他	無回答
全体	48.8	10.2	20.9	20.5	22.3	17.3	1.8
男	43.3	9.9	24.2	18.2	24.9	20.0	2.3
女	58.2	10.8	15.3	24.5	17.7	12.4	0.8
留学生	44.1	8.8	32.4	26.5	35.3	17.6	5.9
国内生	49.0	10.3	20.3	20.2	21.6	17.3	1.5
単身生活	44.9	10.9	24.7	14.6	25.5	19.9	3.0
家族・親族と同居	51.7	9.9	18.2	24.1	20.2	16.0	0.7
学部生	57.6	11.5	11.9	20.9	12.5	19.6	2.1
大学院生	27.9	7.4	42.2	19.6	45.1	11.8	1.0
農学部	61.4	13.6	6.5	27.2	10.3	16.8	1.1
工学部	55.3	10.2	15.3	16.9	13.9	21.4	2.7
農学府修士課程	39.7	8.6	41.4	24.1	48.3	17.2	0.0
工学府博士前期課程	19.4	6.5	32.3	18.3	45.2	10.8	1.1
工学府博士後期課程	40.0	10.0	70.0	10.0	50.0	10.0	0.0
連合農学研究科博士課程	37.5	0.0	62.5	25.0	37.5	12.5	0.0
B A S E	28.1	9.4	53.1	18.8	37.5	6.3	3.1
連合獣医学研究科博士課程	0.0	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0

6 2. 大学生活で困ったことの有無

全体では、困ったことが「ある」が40.7%で、前回(39.9%)と同様の結果となった。男女差、単身生活/親と同居の差、学部間の差はみられない。学部学生よりも大学院学生の方が若干値は高くなっている。



6.3. 相談相手

困ったことがあると回答した 1,816 人に対して、困ったときの相談相手（場所）について複数回答可で回答を求めた。総回答数は 2,965 件で、選択された相談相手(場所)の割合を以下に示す。前回は 3 つまでの選択性としたため比較はできないが、全体的傾向として前回同様「先輩・友人等」が最も高く（53.9%）、次いで「家族」（27.9%）となっている。

注目すべきは「相談しなかった」と回答した割合で、前回は 17.2% だったのが、今回は全体で 23.6% と増加している。全体的に相談相手の選択率は前回より増加していることから、相談する人はさまざまな相手に相談している一方で、誰にも相談しない学生も増えているという二極化が生じている可能性がある。特に男子学生に関しては 26.7%、4 人に 1 人は困ったことがあっても「相談しなかった」ということになる。男性の方が女性よりも援助希求性が低いといえるだろう。

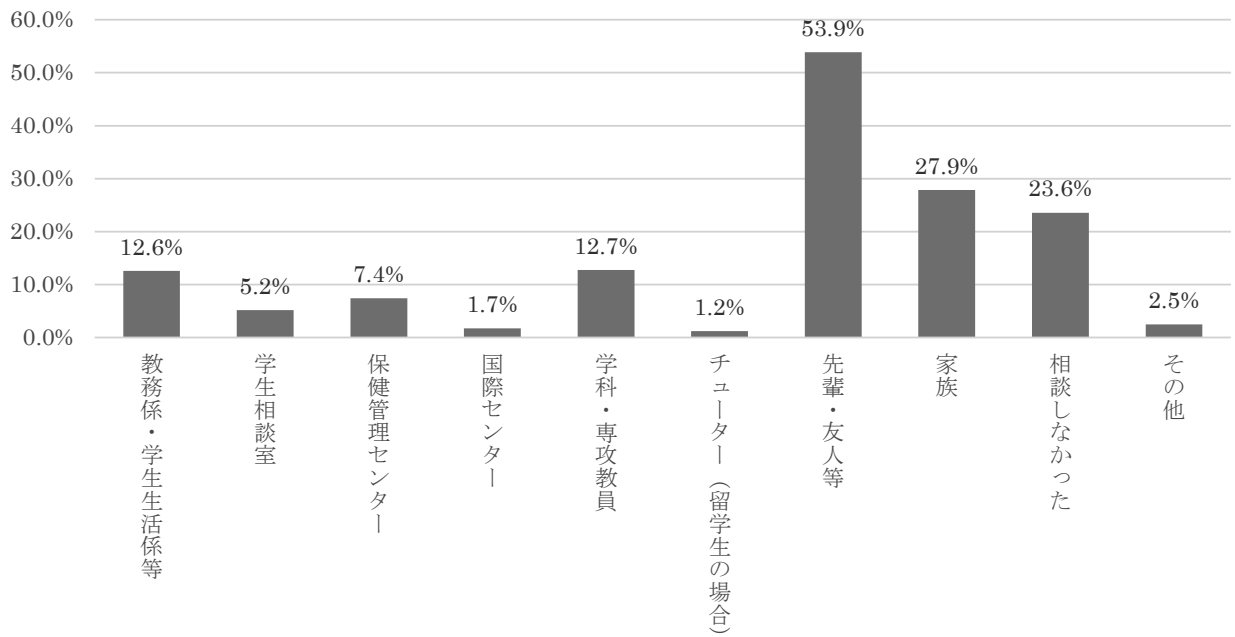
一方で、数値的にみると、「教務係・学生生活係等」、「学生相談室」「保健管理センター」など学内の相談窓口の相談率は若干ではあるが増加しており、相談窓口の周知は進んできているといえるかもしれない。

男女では、女子学生の方が男子学生よりも「家族」に相談しており（男性 22.1%、女性 40.9%）、この傾向は前回と同様である。男女とも家族に相談する割合は、前回より増加している。親子の関係が近くなっていることを示唆しているのかもしれない。

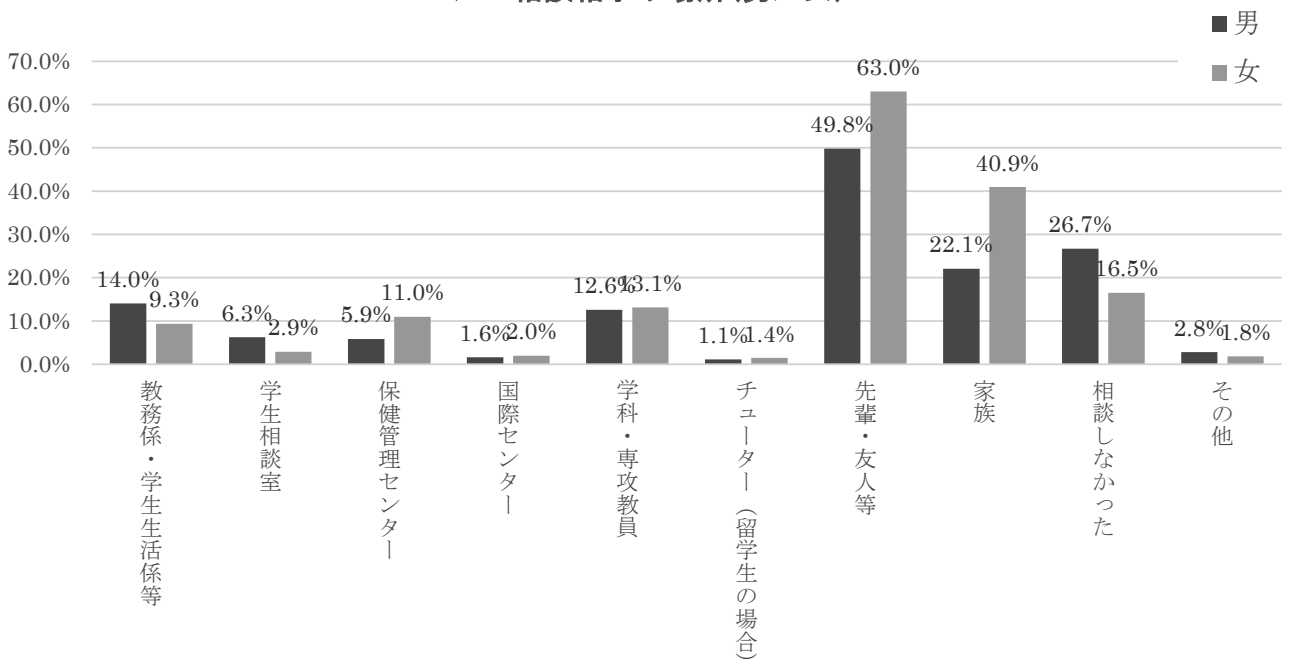
Q63. 相談相手 (%)

	教務係・学生生活係等	学生相談室	保健管理センター	国際センター	学科・専攻教員	チューター（留学生の場合）	先輩・友人等	家族	相談しなかった	その他
全体	12.6	5.2	7.4	1.7	12.7	1.2	53.9	27.9	23.6	2.5
男	14.0	6.3	5.9	1.6	12.6	1.1	49.8	22.1	26.7	2.8
女	9.3	2.9	11.0	2.0	13.1	1.4	63.0	40.9	16.5	1.8
留学生	14.3	9.5	10.7	17.9	23.8	25.0	64.3	29.8	4.8	4.8
国内生	12.5	5.0	7.3	0.9	12.2	0.1	53.4	27.8	24.5	2.4
单身生活	12.0	4.8	9.4	2.3	13.9	1.7	55.8	27.8	21.7	2.5
家族・親族と同居	13.0	5.5	5.9	1.2	11.9	0.4	52.2	28.1	25.3	2.4
学部生	13.9	4.2	6.1	1.6	9.5	0.9	51.6	27.0	24.7	2.4
大学院生	9.8	7.3	10.2	2.0	19.5	1.9	58.5	29.6	21.2	2.7
農学部	15.6	3.4	8.0	1.1	12.6	0.5	53.9	31.4	20.0	3.4
工学部	13.0	4.6	5.0	1.8	7.7	1.2	50.3	24.6	27.4	1.8
農学府修士課程	11.6	8.4	10.3	1.9	18.1	3.2	65.2	27.1	18.1	0.0
工学府博士前期課程	8.7	7.2	7.6	1.4	17.0	1.1	58.8	29.6	23.8	2.5
工学府博士後期課程	9.3	7.0	18.6	9.3	30.2	2.3	48.8	30.2	23.8	4.7
連合農学研究科博士課程	10.3	0.0	10.3	0.0	37.9	3.4	48.3	37.9	17.2	2.5
BASE	7.7	9.0	14.1	1.3	17.9	1.3	53.8	32.1	20.5	3.8
連合獣医学研究科博士課程	33.3	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	55.6	22.2	11.1	11.1

Q63. 相談相手や場所(全体)



Q63. 相談相手や場所(男/女)

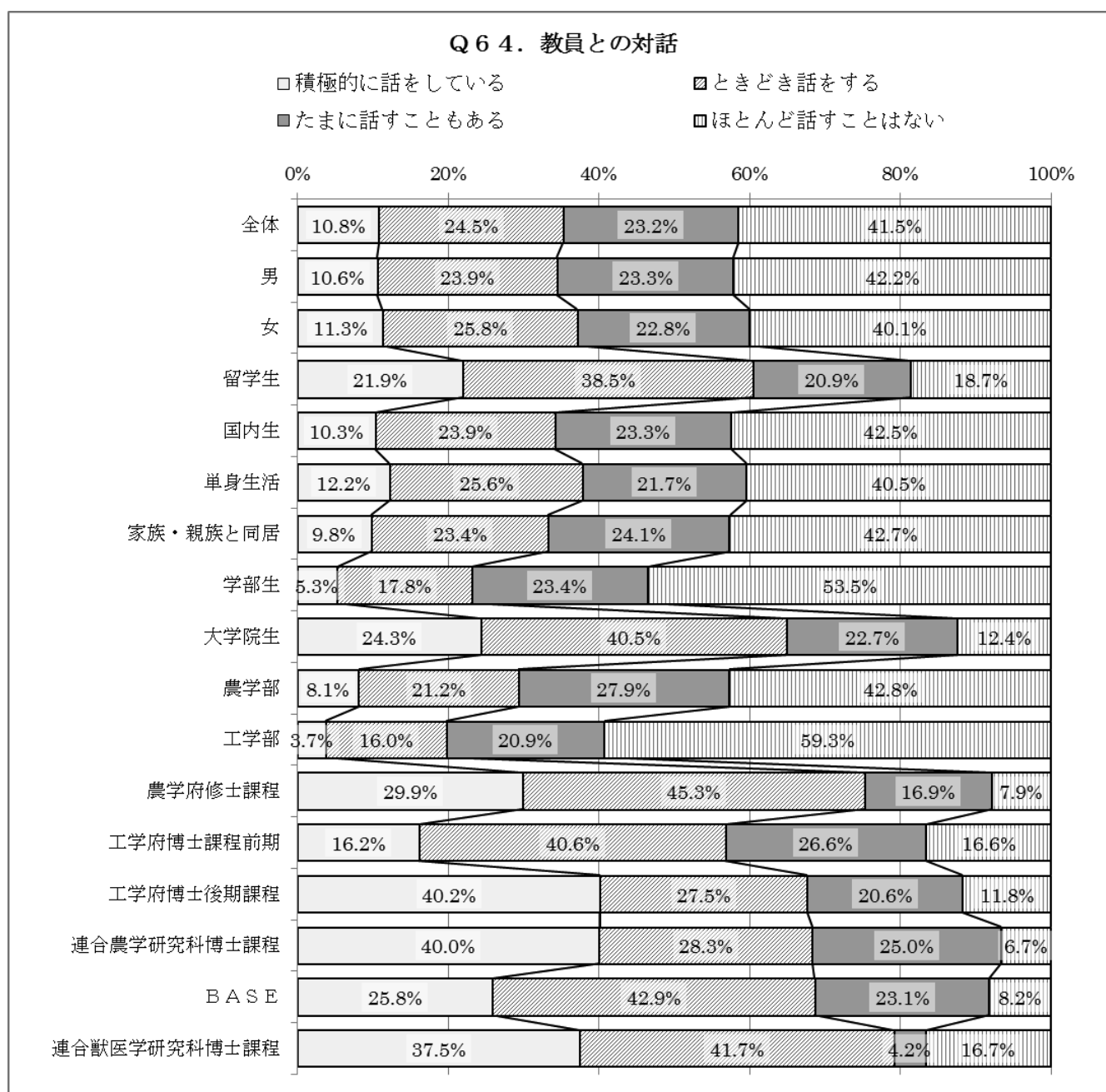


6.4. 教員との対話

授業以外で教員と話をするかについてたずねた。全体では「積極的に話をしている」10.8%（前回9.6%）、「ときどき話をする」24.5%（前回25.2%）、「たまに話すこともある」23.2%（前回25.3%）、「ほとんど話すことはない」41.5%（前回39.4%）となった。男女差はあまりみられない。「積極的に話をしている」という学生がわずかながら増加している一方で、「ほとんど話すことがない」と答えた学生の割合も年々増加しており、教員との交流のスタンスも積極的な学生と消極的な学生との差ができてきつつあるのかもしれない。

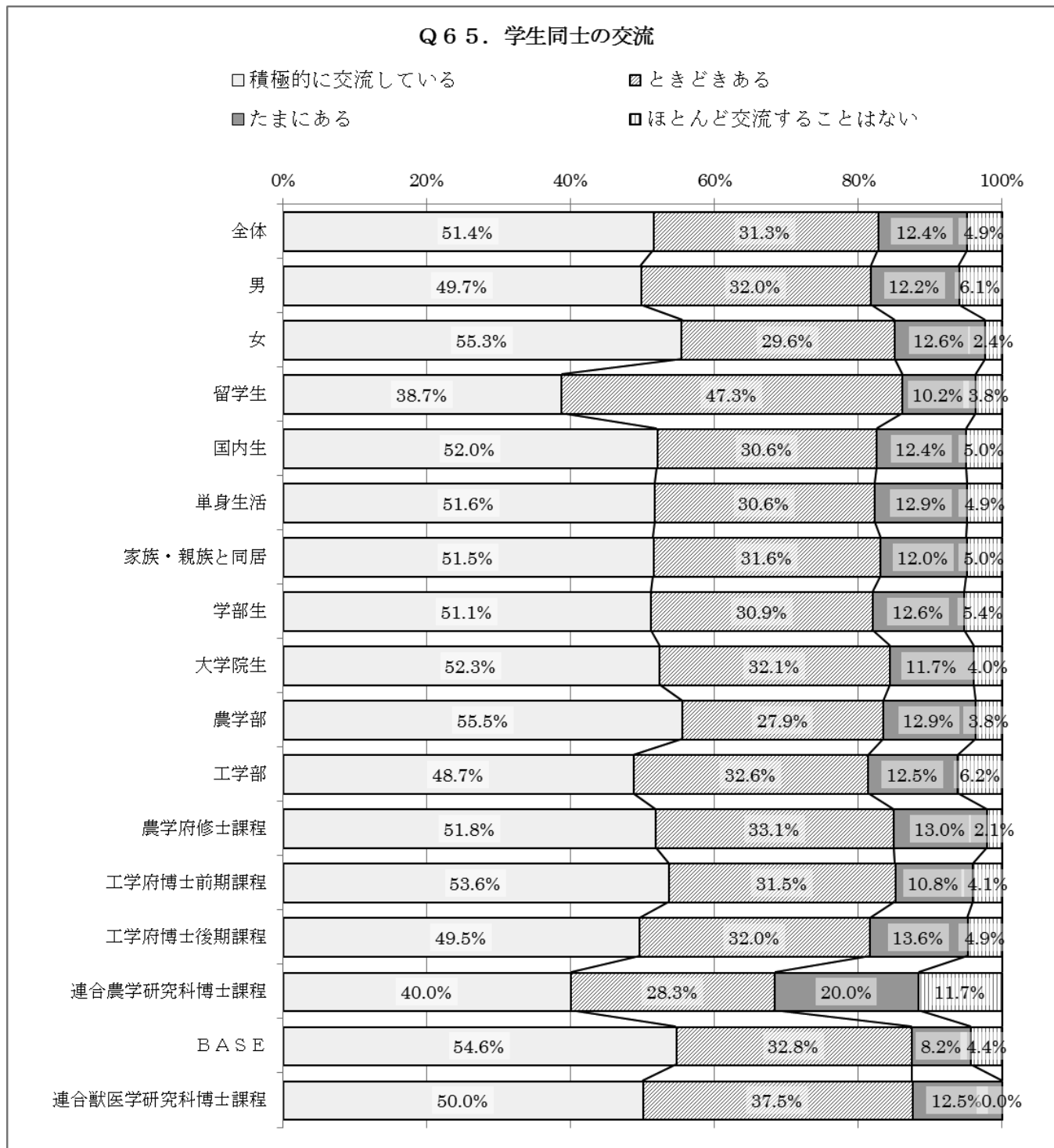
大学院生になると教員との交流が増えることは当然のことだが、大学院生の中でも農学部と工学部博士前期課程での差が大きいことが特徴としてあげられる。農学部、農学部学生が比較的積極的に教員と交流している一方で、工学部、工学部学生の教員との交流は少ない。男女差がほとんどないことから、この違いは性差によるものではなく、学生の質や学問の特性の違いによるものの可能性がある。

工学部博士前期課程（専門職学位課程含む）の学生のうち16.6%、工学部博士後期課程の学生でも11.8%の学生が、授業等以外で教員と「ほとんど交流することはない」と回答している。



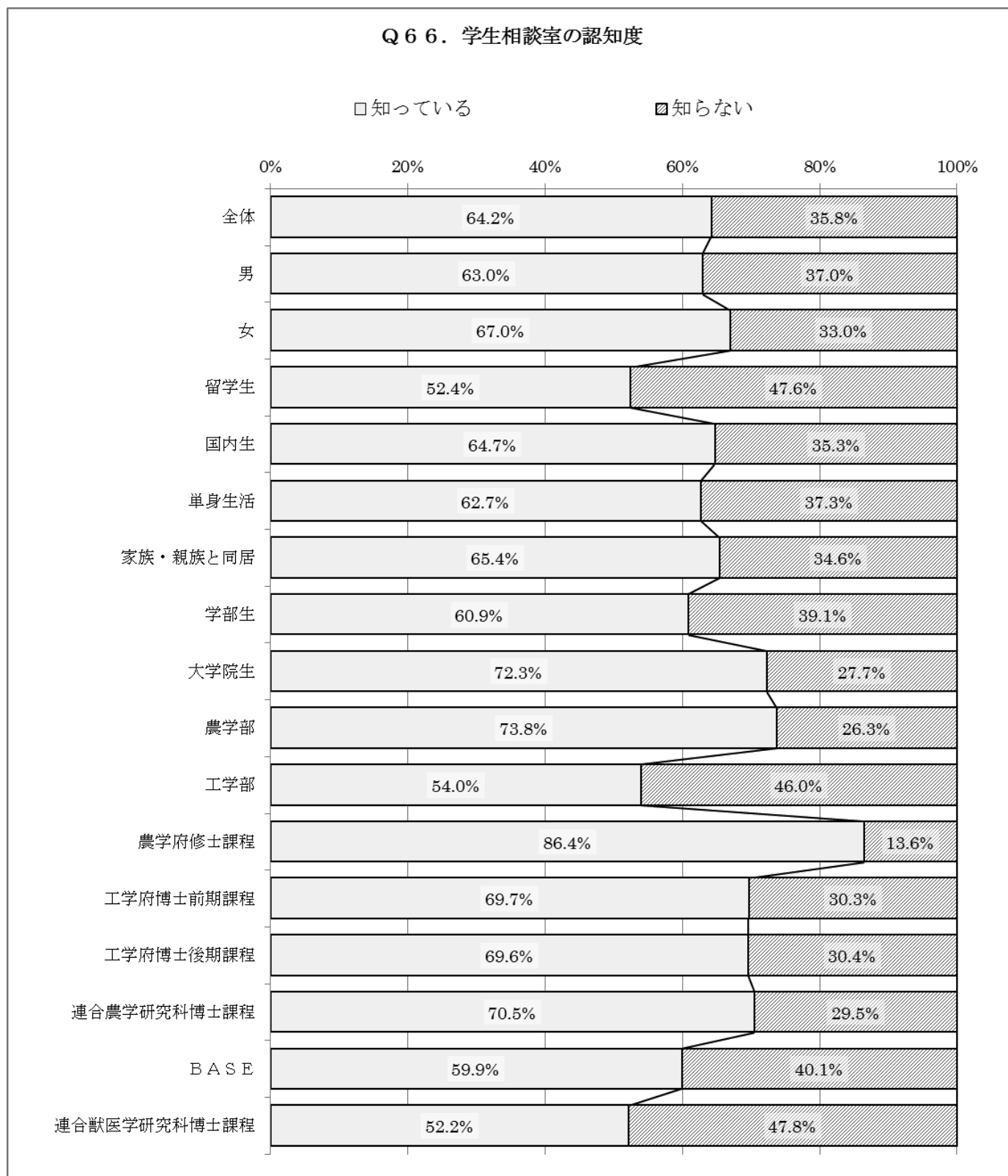
65. 学生同士の交流

前回の調査から追加した項目である。授業以外での学生同士の交流について質問した。「積極的に交流している」51.4%（前回 54.4%）、「ときどきある」31.3%（前回 28.2%）、「たまにある」12.4%（前回 12.4%）、「ほとんど交流することはない」4.9%（4.9%）とほぼ前回同様の結果となった。女子学生の方が学生同士の交流が盛んなのはこれまでの調査と同じである。前回と若干違いが見られたのは学部学生全体と農学府修士の学生で、学部学生全体では積極的に交流しているのが前回 55.9%から 51.1%に減少、農学府修士で前回の 60.9%から 51.8%に減少している。



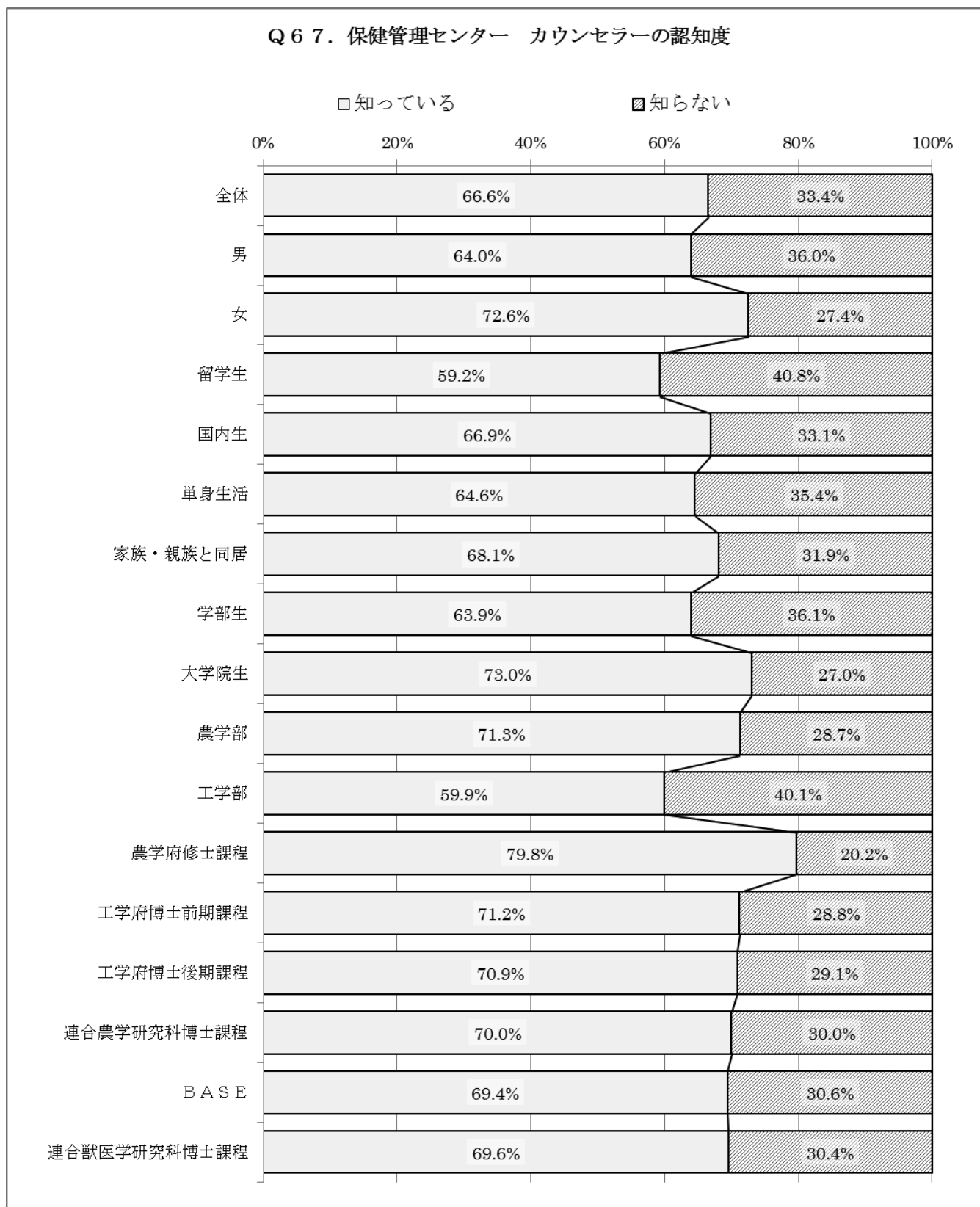
6 6. 学生相談室の認知度

各キャンパスに学業・進路・就職などの相談に応じる学生相談室が開設されているのを知っているかの問いに、全体の64.2%が「知っている」と回答した。前回61.7%、前々回57.2%と比して年々少しずつ認知度が増加している。農学府修士での認知度はこれまで同様一番高く、86.4%となっている。またこれまで工学部・工学府での認知度がやや低かったが、工学府を中心に少しずつ周知されるようになってきていることが伺える。



67. 保健管理センター カウンセラーの認知度

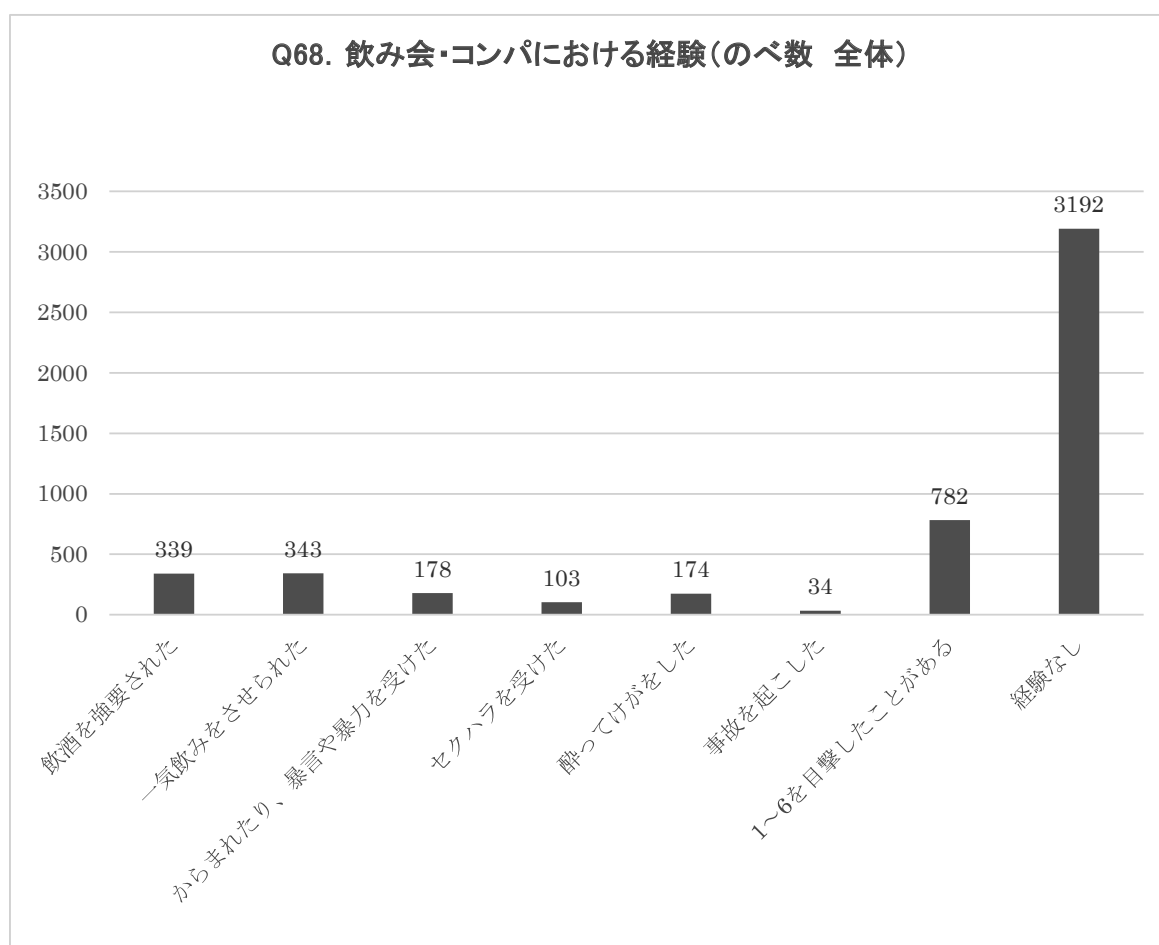
カウンセラーの認知度は全体で 66.6%であり、前回 66.3%からほとんど変わらない結果となった。男性よりは女性、工学部よりは農学部で認知度が高い傾向は変わらない。さらなる周知方法の工夫が求められる。

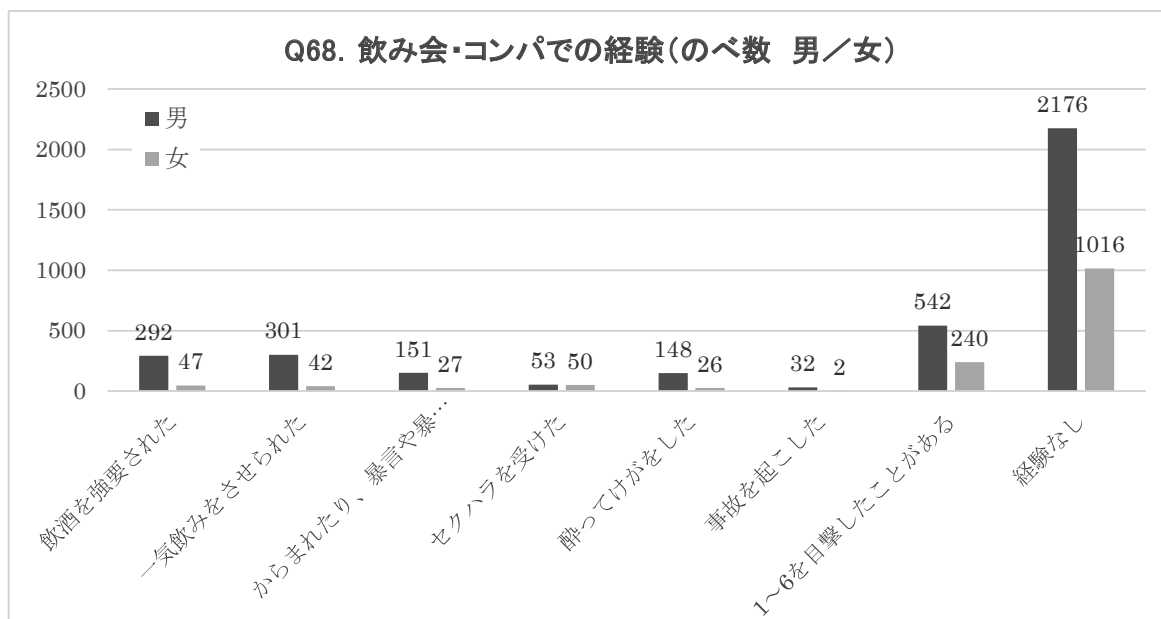


68. 飲み会・コンパにおける経験

飲み会やコンパでの不快・危険経験について複数回答可として以下の項目について経験を訊ねた。有効回答のうち全体の72.4%は「経験なし」となった。「飲酒の強要」や「一気に飲み」の強要、「からまれること」は前回調査よりも若干減少しているが、未だ340件ほど（約7.7%）が飲酒や一気に飲みの強要など危険な飲酒行動を強いられている。飲み会での怪我や事故は両方で200件を越えており、前回調査とほぼ同じ数となっている。今後も飲酒マナーや事故防止のための教育が必要と思われる。

男女別でみると、男子学生の方が「飲酒の強要」や「からまれ」、「怪我」が多く、女子学生は「セクハラを受けた」という回答が多くなっている。飲み会の場面での「セクハラ」は前回とほぼ同じ103件（2.3%）で減少していない点も注意が必要である。



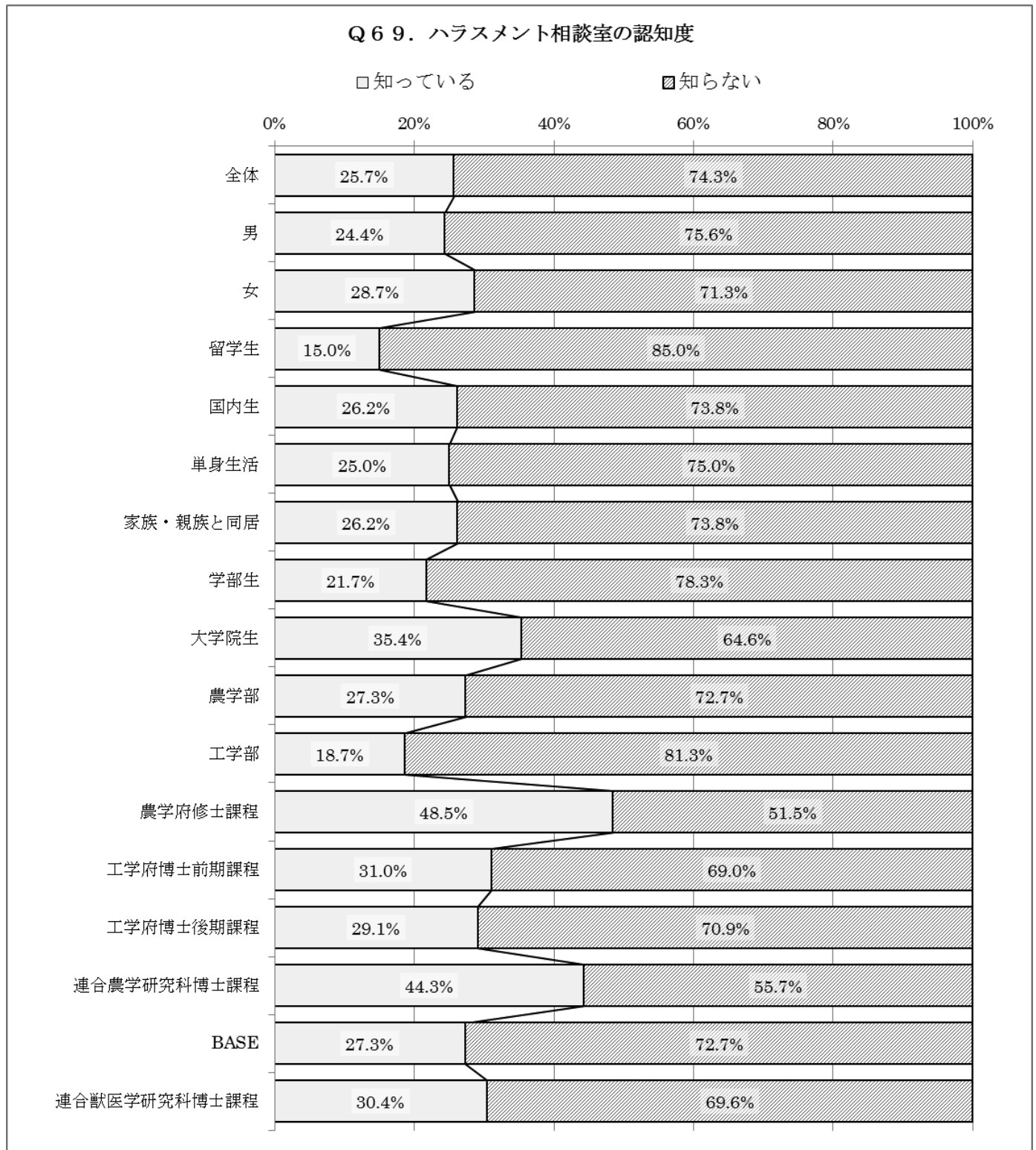


Q68. 飲み会・コンパにおける経験 (%)

	飲酒を強要された	一気に飲みをさせられた	からまれたり、暴言や暴力を受けた	セクハラを受けた	酔ってけがをした	事故を起こした	1～6を目撃したことがある	経験なし
全体	7.7	7.8	4.0	2.3	3.9	0.8	17.7	72.4
男	9.5	9.8	4.9	1.7	4.8	1.0	17.6	70.6
女	3.5	3.2	2.0	3.8	2.0	0.2	18.0	76.4
留学生	7.4	3.7	2.2	0.7	1.5	0.0	3.7	83.0
国内生	7.7	7.9	4.1	2.4	4.0	0.8	18.2	72.0
単身生活	8.7	9.1	4.3	2.7	4.7	0.5	17.7	70.7
家族・親族と同居	7.1	6.9	3.9	2.2	3.4	1.0	17.9	73.5
学部生	7.1	7.0	3.5	2.1	3.2	0.8	16.7	74.0
大学院生	9.1	9.8	5.5	2.9	5.7	0.8	20.4	68.3
農学部	5.8	5.1	2.6	1.7	2.6	0.5	16.7	75.0
工学部	7.9	8.0	3.9	2.3	3.6	0.9	16.6	73.5
農学府修士課程	10.3	9.3	4.8	2.9	4.5	0.3	20.6	69.5
工学府博士前期課程	8.3	9.9	5.1	2.6	6.6	1.2	21.9	66.7
工学府博士後期課程	10.5	10.5	4.2	4.2	7.4	0.0	18.9	66.3
連合農学研究科博士課程	7.7	13.5	17.3	1.9	3.8	0.0	13.5	71.2
B A S E	8.6	8.6	5.7	3.4	4.6	1.1	20.0	70.3
連合獣医学研究科博士課程	15.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	80.0

69. ハラスメント相談室の認知度

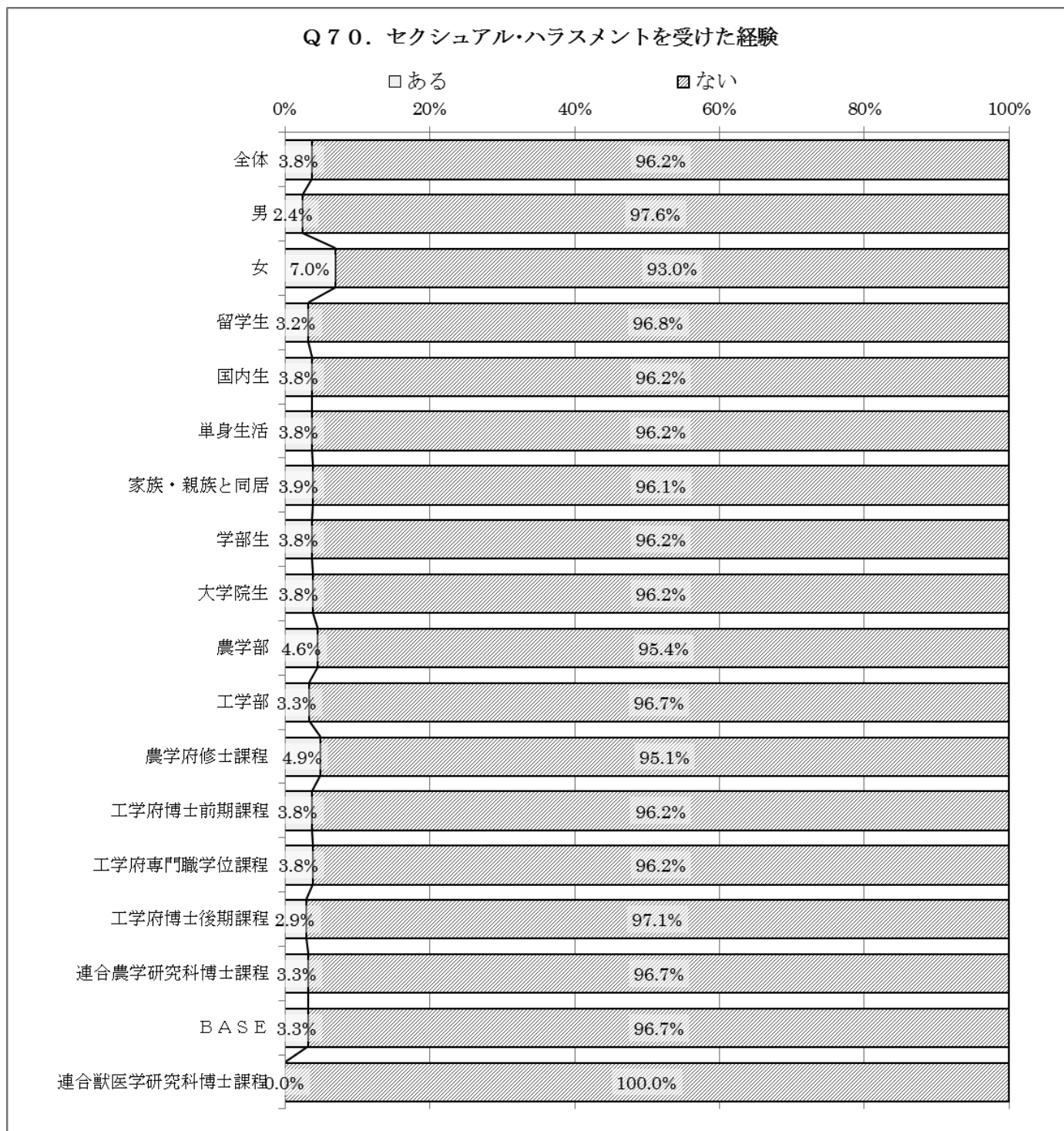
ハラスメント相談室は平成 18 年度より各キャンパスに毎週 1 回開室されている。相談室の認知度は、全体で 25.7%と前回 35.3%から大きく減少している。前回同様、工学部学生のハラスメント相談室の認知度は低い(18.7%、前回 28.3%)。3 年前は若干認知度が上昇したが、再び減少している。カウンセリングの周知とともに、ハラスメント相談室の周知についても課題が残る。



70. セクシュアル・ハラスメントを受けた経験

セクシュアル・ハラスメントを受けた経験について「ある」「ない」の2件法で質問をした。

「ある」と答えた割合は、全体では170件で3.8%となり、前回の2.3%（101件）より大幅に増加している。女子学生が男子学生よりも多い傾向は前回と同じだが、男子学生の「ある」の回答が前回の1.4%から2.4%と増加している点が注目に値する。ハラスメントの概念が周知されてきたことや男性へのセクシュアル・ハラスメントについての意識も高まりつつあるのかもしれない。女子の多い農学部・農学府では他と比べて若干高い値となっているが、その他学部や専攻の違いによる差は認められない。



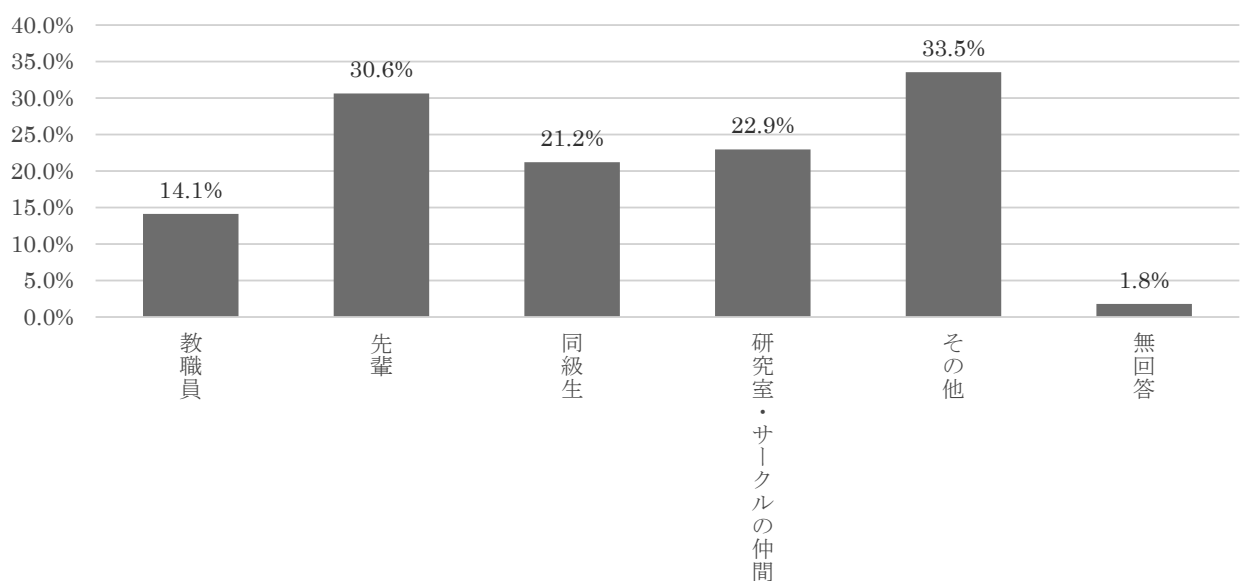
7 1. セクシュアル・ハラスメントを受けた相手

セクシュアル・ハラスメントを受けたことが「ある」と回答した 170 件のうち、その「相手」をたずねた（複数回答、無回答 3 件あり）。内訳は、多い順に、「先輩」52 件（30.6%、前回 36.8%）、「研究室・サークルの仲間」39 件（22.9%、前回 14.3%）、「同級生」36 件（21.2%、前回 13.5%）。「教職員」は 24 件で、14.1%となり、前回の 18.8%より割合としては減少しているが、実数は前回 25 件であり、減少とは言えないかもしれない。「その他」は 57 件で、その割合は前回の 16.5%から今回 33.5%と大きく増加している。単身生活者では「研究室・サークルの仲間」からセクシュアル・ハラスメントを受ける割合が多くなっており、1 人暮らしの住居でのセクシュアル・ハラスメントの危険性が推察される。

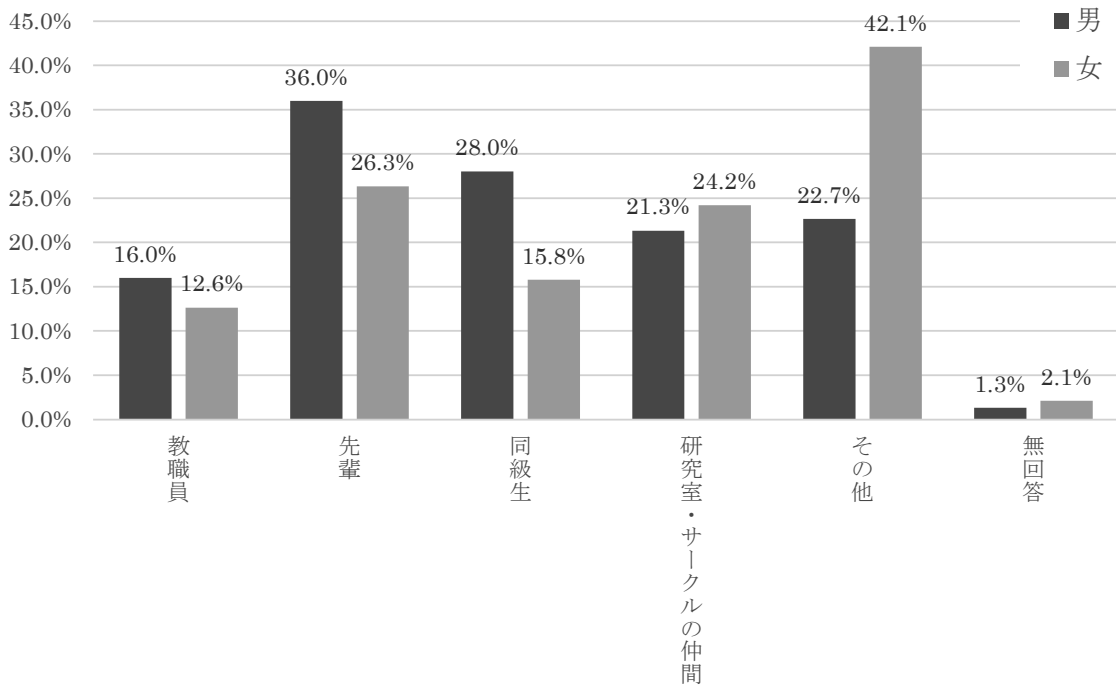
Q 7 1. セクシュアル・ハラスメントを受けた相手（件数）

	教職員	先輩	同級生	研究室・サークルの仲間	その他	無回答	回答者数
全体	24	52	36	39	57	3	170
男	12	27	21	16	17	1	75
女	12	25	15	23	40	2	95
単身生活	11	20	17	21	20	2	70
家族・親族と同居	13	32	19	18	37	1	100
学部生	14	36	29	28	40	2	120
大学院生	10	16	7	11	17	1	50
農学部	8	14	9	13	21	2	51
工学部	6	22	20	15	19	0	69
農学府修士課程	4	4	1	5	7	0	16
工学府博士前期課程	3	9	3	5	4	1	21
工学府専門職学位課程	0	0	1	1	1	0	2
工学府博士後期課程	1	1	0	0	1	0	3
連合農学研究科博士課程	1	0	0	0	1	0	2
B A S E	1	2	2	0	3	0	6

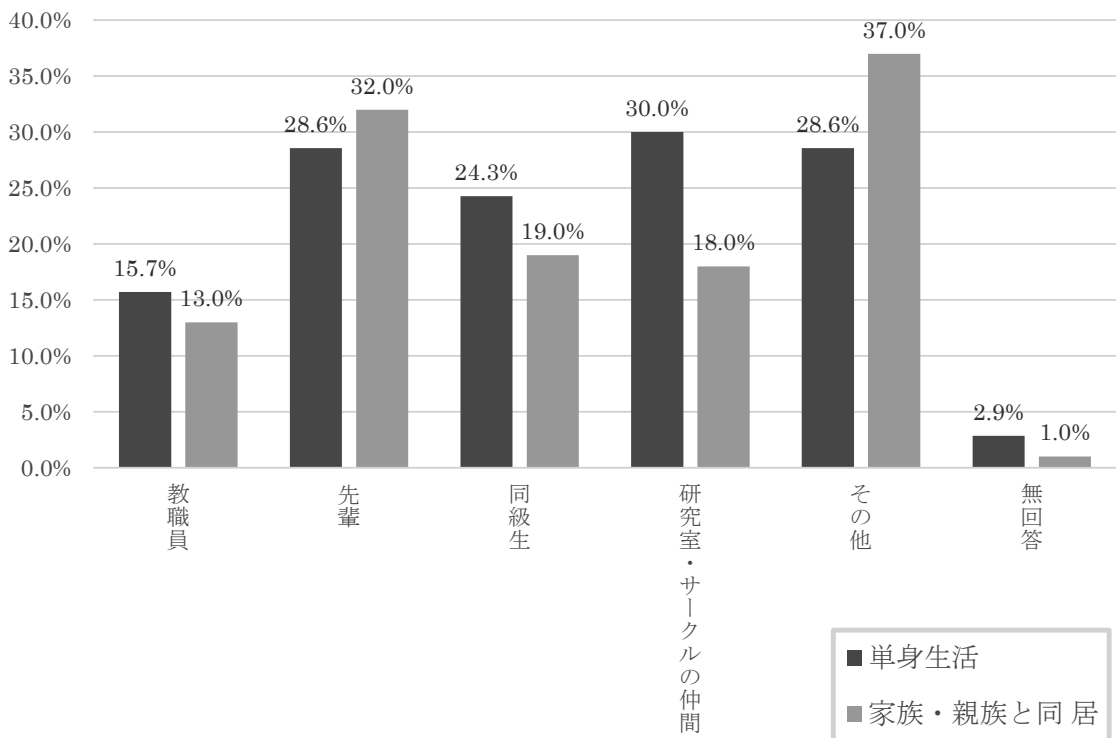
Q71. セクシュアル・ハラスメントを受けた相手(全体)



Q71. セクシュアル・ハラスメントを受けた相手(男女)

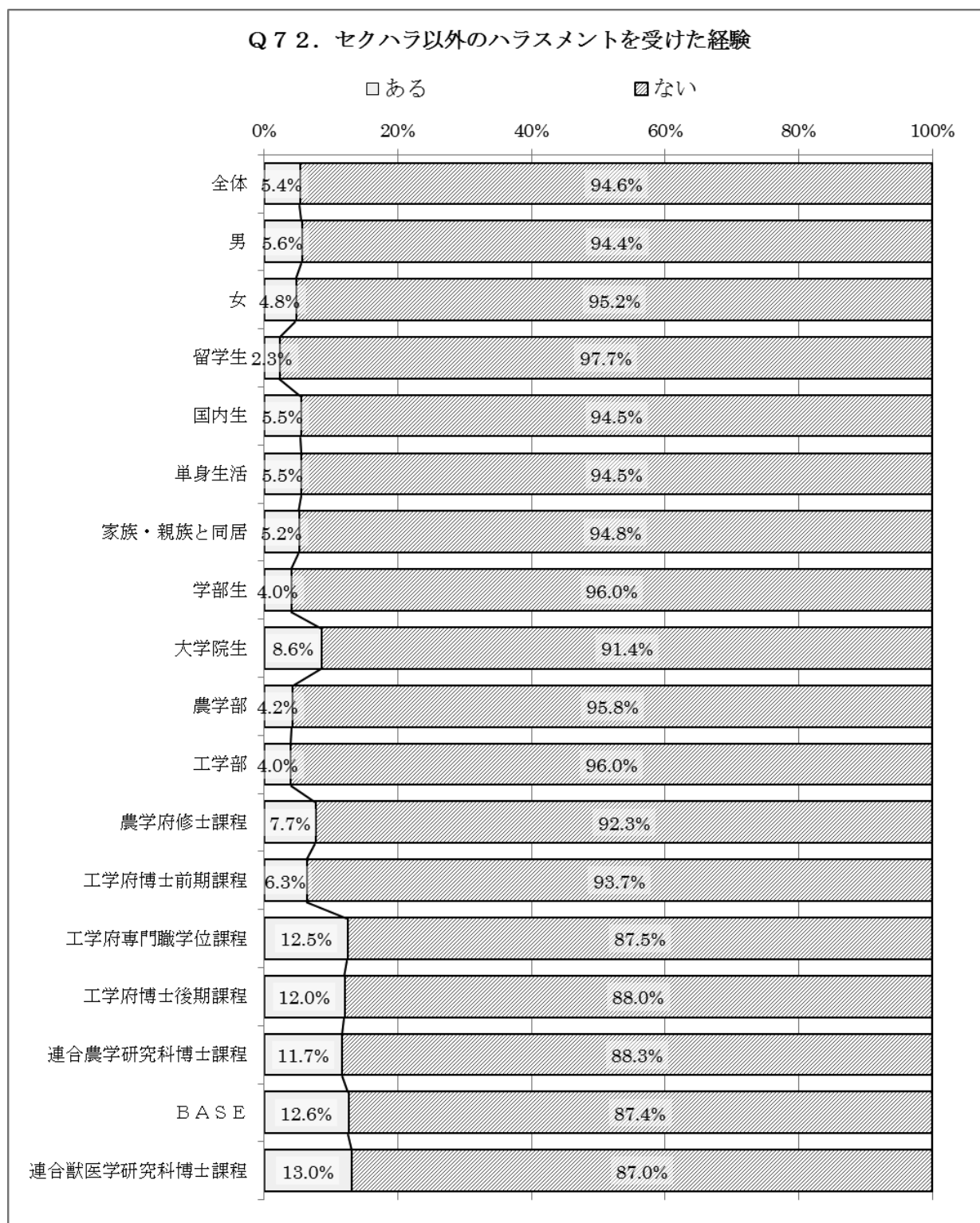


Q71. セクシュアル・ハラスメントを受けた相手(単身生活/同居)



7.2. セクハラ以外のハラスメントを受けた経験

セクハラ以外のハラスメントの経験の有無について質問した。全体で 236 件、5.4%の学生がセクハラ以外のハラスメントを受けた経験があると回答している。前回は 3.5%（前々回 5.7%）であり、3 年前の調査で一旦減少したが、今回再び増加を示している。セクハラ以外のハラスメントが「ある」と答えた割合は、学科や専攻ごとの開きがみられるのも特徴的で、学部学生に比して、修士以降の学生にセクハラ以外のハラスメント経験が多くなっている。研究室内のアカデミック・ハラスメントなどが推察される。

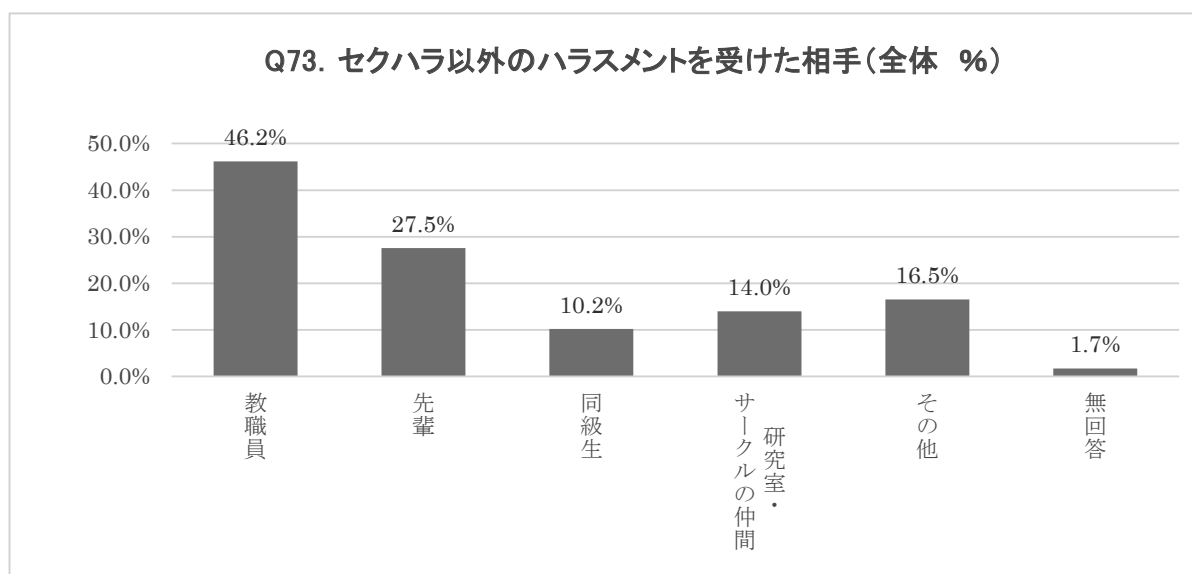


7 3. セクハラ以外のハラスメントを受けた相手

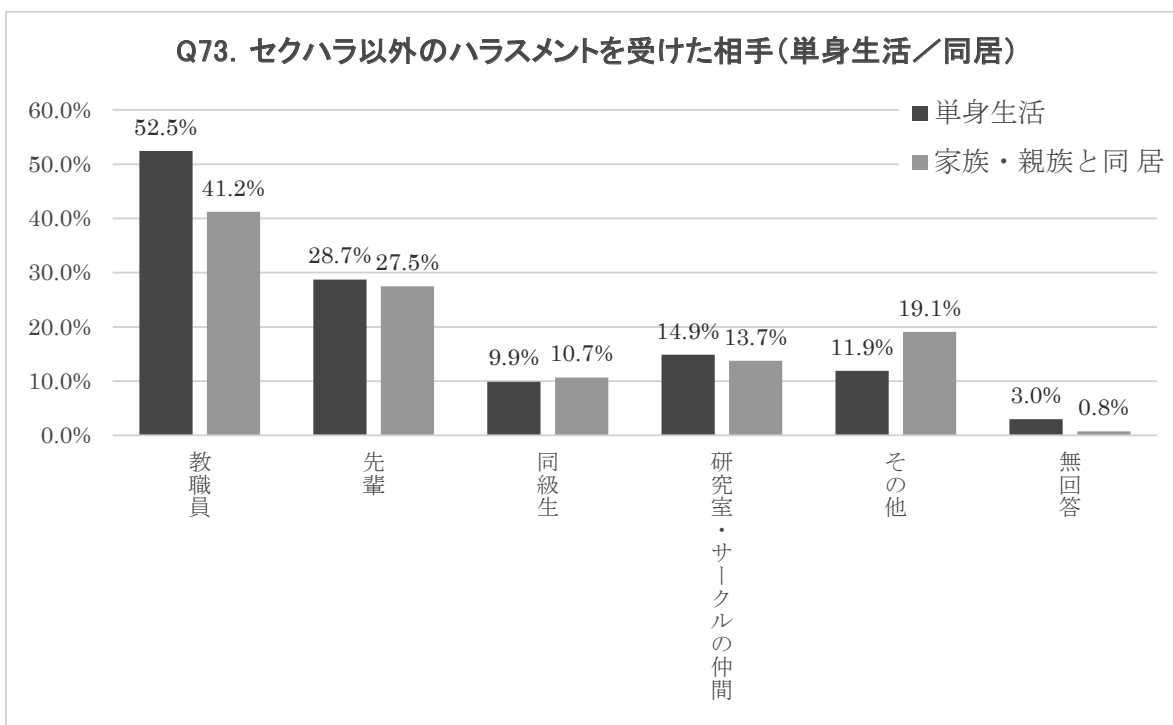
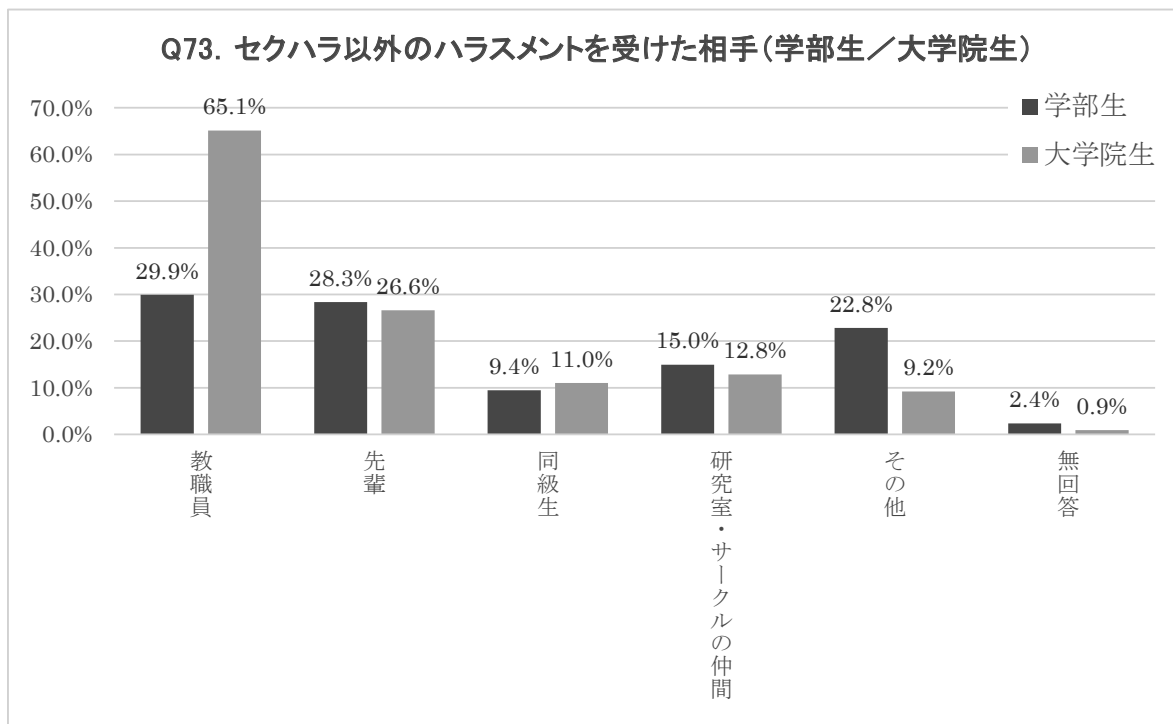
ハラスメントの相手については、割合としては教職員が 109 件 (46.2%) と約半数近くを占めている。前回は 79 件 (28.2%) であり大きく増加している。その他「先輩」が 65 件、27.5% (前回 33.6%)、「研究室・サークルの仲間」33 件、14.0% (前回 14.3%)、同級生 24 件、10.2% (前回 12.1%) となっている。

Q 7 3. セクハラ以外のハラスメントを受けた相手 (件数)

	教職員	先輩	同級生	研究室・ サークル の仲間	その他	無回答	回答者数
全体	109	65	24	33	39	4	236
男	84	50	19	26	23	2	172
女	25	15	5	7	16	2	64
単身生活	53	29	10	15	12	3	101
家族・親族と同居	54	36	14	18	25	1	131
学部生	38	36	12	19	29	3	127
大学院生	71	29	12	14	10	1	109
農学部	13	11	6	7	11	2	46
工学部	25	25	6	12	18	1	81
農学府修士課程	12	11	2	3	5	1	24
工学府博士前期課程	18	11	7	3	3	0	35
工学府専門職学位課程	4	1	2	2	0	0	6
工学府博士後期課程	9	3	0	2	0	0	12
連合農学研究科博士課程	5	1	0	0	1	0	7
B A S E	20	2	1	3	1	0	22
連合獣医学研究科博士課程	3	0	0	1	0	0	3

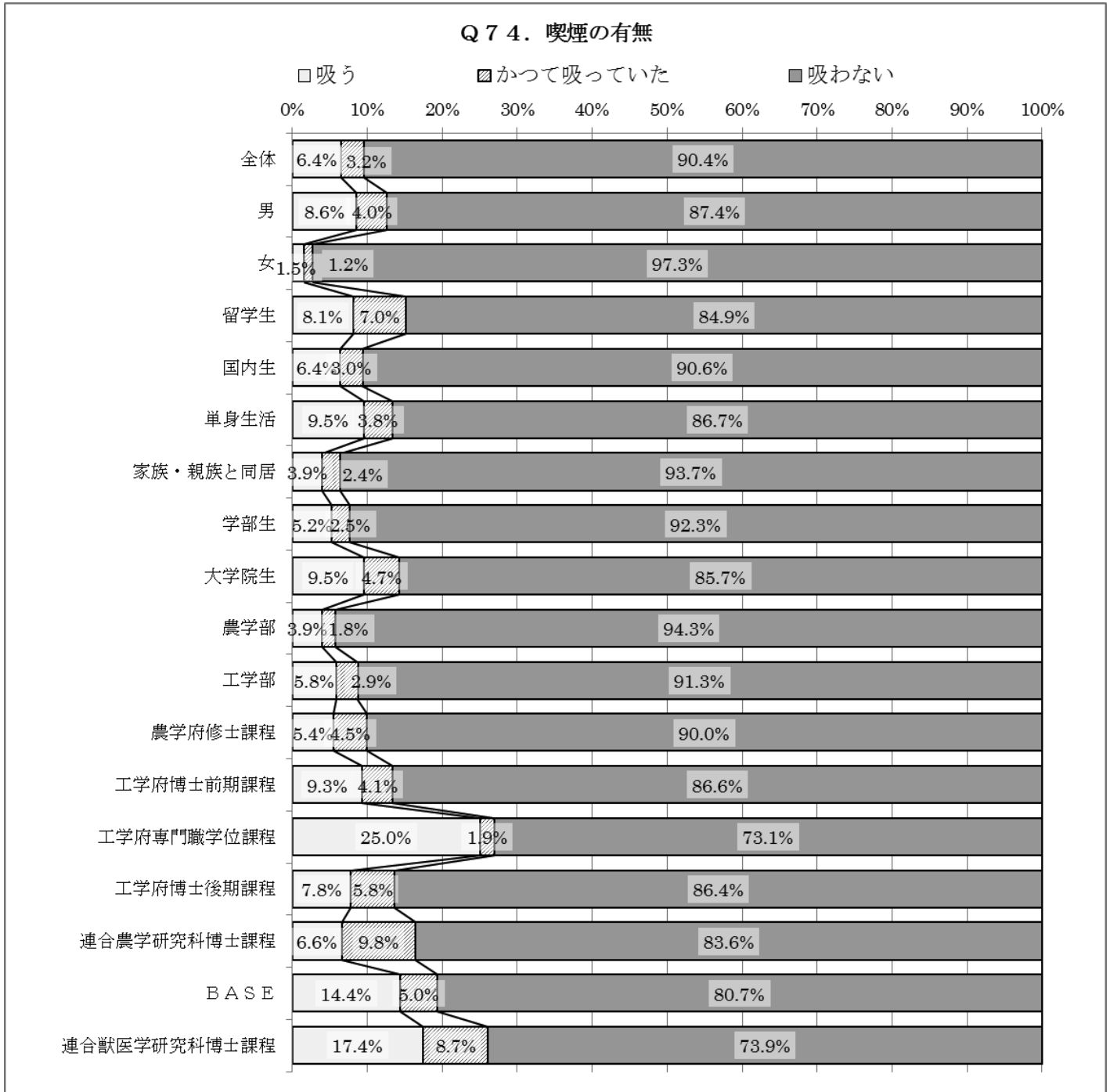


研究室に所属する大学院生および単身生活の学生の方が「教職員」からのハラスメント（セクハラ以外）を経験することが多い結果となっている。研究室で過ごす時間の長さとも関連しているのかもしれない。



74. 喫煙の有無

「吸う」と回答した割合が6.4%で、前回8.0%、前々回11.0%と年々減少していることがわかる。喫煙率は男女差がみられるが、男子学生では「吸う」が8.6%（前回10.5%）と1割をきった。女子学生では「吸う」が1.5%（前回1.9%）となりこちらも減少傾向が見られる。工学府専門職学位課程は、社会人学生がいることや実数が少ないことも関連していると思われるが、喫煙率の高さが目立つ。



75. キャンパス内マナーの満足度

キャンパス内のマナーに対する満足度について質問した。「満足」が23.5% (前回22.5%)、「やや満足」45.2% (52.6%)、「やや不満」22.0% (15.9%)、「不満」9.3% (9.0%)となった。「満足」「やや満足」の合計は68.6%で比較的高い値とは思われるが、前回の75.1%より減少した。男女差や学部差は明らかではなかったが、学部生よりも大学院生の満足度が高く、また、留学生の満足度が高い傾向が認められた。

Q75. キャンパス内マナーの満足度 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	23.5	45.2	22.0	9.3
男	24.0	43.5	21.3	11.2
女	22.3	48.9	23.7	5.0
留学生	60.0	27.0	8.6	4.3
国内生	21.9	45.9	22.6	9.6
単身生活	23.8	43.4	22.2	10.7
家族・親族と同居	22.9	46.8	22.0	8.3
学部生	21.9	47.4	22.1	8.5
大学院生	27.3	39.6	21.8	11.4
農学部	23.0	49.3	22.6	5.0
工学部	21.3	46.4	21.9	10.4
農学府	27.2	44.1	23.6	5.1
工学府	27.0	37.8	21.4	13.8
連合農学研究科	33.3	38.3	16.7	11.7
B A S E	25.4	37.0	23.2	14.4
連合獣医学研究科	34.8	56.5	8.7	0.0

76. キャンパス内マナーで不満に思う点

「やや不満」「不満」と回答した1,411人の不満内容の内訳（重複回答あり）は、「駐輪場不足」550件（回答者の39.0%）が最多で、続いて「自転車の止め方」440件（31.2%）、「タバコの吸い方や喫煙場所」394件（27.9%）、「ゴミの捨て方、処理」362件（25.7%）、「自転車や傘の盗難」270件（19.1%）、「大学内の汚れ」245件（17.4%）、「タバコの吸い殻の処理」166件（11.8%）、「自転車の危険運転」103件（7.3%）、「その他」82件（5.8%）であった。

Q76. キャンパス内マナーで不満に思う点（複数回答可）

	ゴミの捨て方、 処理	大学内の 汚れ	自転車の 止め方	駐 輪 場 不 足	自 転 車 の 危 険 運 転	タ バ コ の 吸 い 方 や 喫 煙 場 所	タ バ コ の 吸 殻 の 処 理	自 転 車 や 傘 の 盗 難	そ の 他
全体	362	245	440	550	103	394	166	270	82
男	267	187	305	393	86	279	140	184	62
女	95	58	135	157	17	115	26	86	20
留学生	4	3	5	4	5	10	6	4	3
国内生	358	242	435	546	98	384	160	266	79
单身生活	142	82	200	298	30	145	67	135	34
家族・親族と同居	219	162	233	244	70	248	99	133	46
学部生	263	174	289	328	72	307	121	185	48
大学院生	99	71	151	222	31	87	45	85	34
農学部	81	55	153	111	17	51	8	84	11
工学部	182	119	136	217	55	256	113	101	37
農学府	18	16	55	43	7	19	1	24	2
工学府	60	42	65	134	17	52	32	46	21
連合農学研究科	3	5	7	5	3	2	0	3	3
B A S E	18	8	23	39	4	13	11	12	8
連合獣医学研究科	0	0	1	1	0	1	1	0	0

77. 生協食堂の利用状況

78. 140周年記念会館エリプス（小金井）の利用状況

79. 喫茶室オリザ（府中）の利用状況

80. 生協購買部（売店）の利用状況

生協食堂、エリプス、喫茶室（オリザ）、生協購買部（売店）の利用状況を以下にまとめる。

A. 生協食堂の利用度

生協食堂については、「良く利用する」44.0%（前回45.9%）、「ときどき利用する」40.8%（39.9%）、「全く利用しない」15.2%（14.3%）と、前回調査とほぼ同じ結果となった。男女差はみられず、「良く利用する」割合は、学部生が49.1%で、大学院生31.4%より高い。また、学部生では農学部と工学部の差は小さい（「良く利用する」47.2%と50.2%）が、大学院生では農学府の方が工学府より利用率が高くなっている（41.4%と24.2%）。

B. エリプスの利用度

平成23年完成のエリプスの利用度は、全体では「よく利用する」14.0%、「ときどき利用する」38.1%、「全く利用しない」47.9%であった。当然のことながら、小金井キャンパスの学生で利用率は高くなっている。工学部学生が一番高く、「良く利用する」24.1%、「ときどき利用する」54.4%と8割近くが利用している。しかし生協食堂の利用度よりはやや少ない。

C. 喫茶室（オリザ）の利用度

喫茶室については、「よく利用する」2.7%、「ときどき利用する」12.1%、「全く利用しない」85.2%と、利用度が非常に低くなっている。当然、府中キャンパスで利用度は高くなっているが、農学部で利用すると答えた学生は40.1%、農学府でも16.3%と半数を切っている。

D. 生協購買部（売店）の利用度

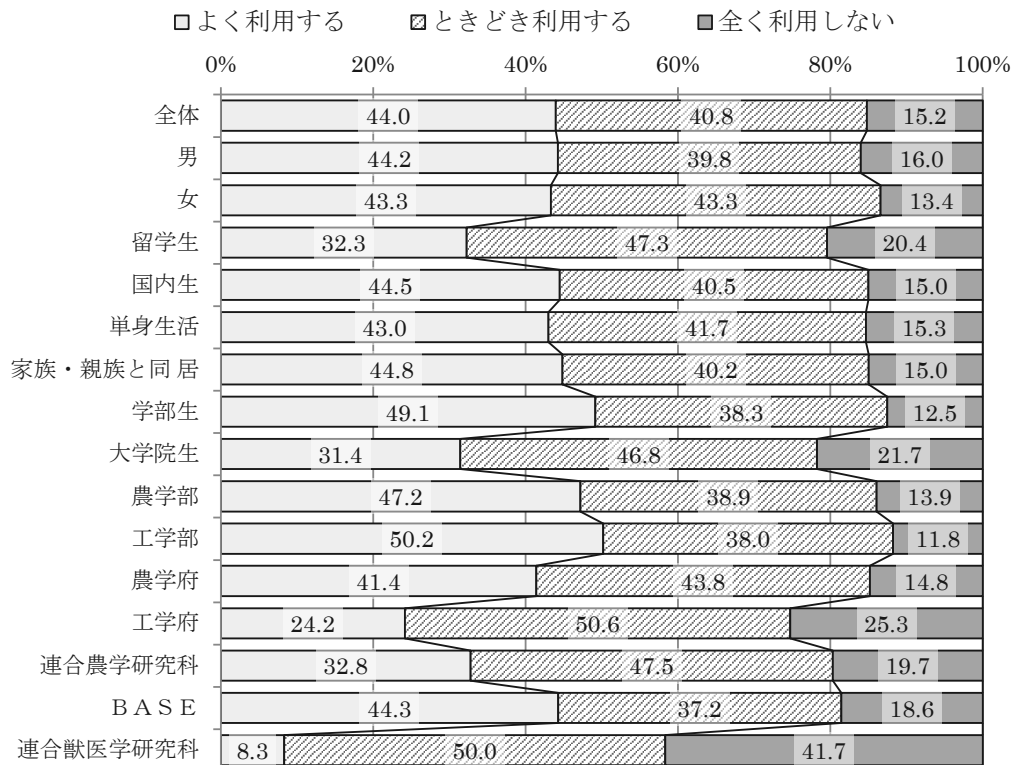
売店の利用度は、「よく利用する」41.8%（前回43.6%）、「ときどき利用する」51.9%（51.4%）、「全く利用しない」6.3%（5.0%）となった。小金井キャンパスより府中キャンパスの方が「よく利用する」割合が明らかに高くなっている。

Q77. ～Q80. 生協食堂・エリプス・喫茶室、売店の利用状況 (%)

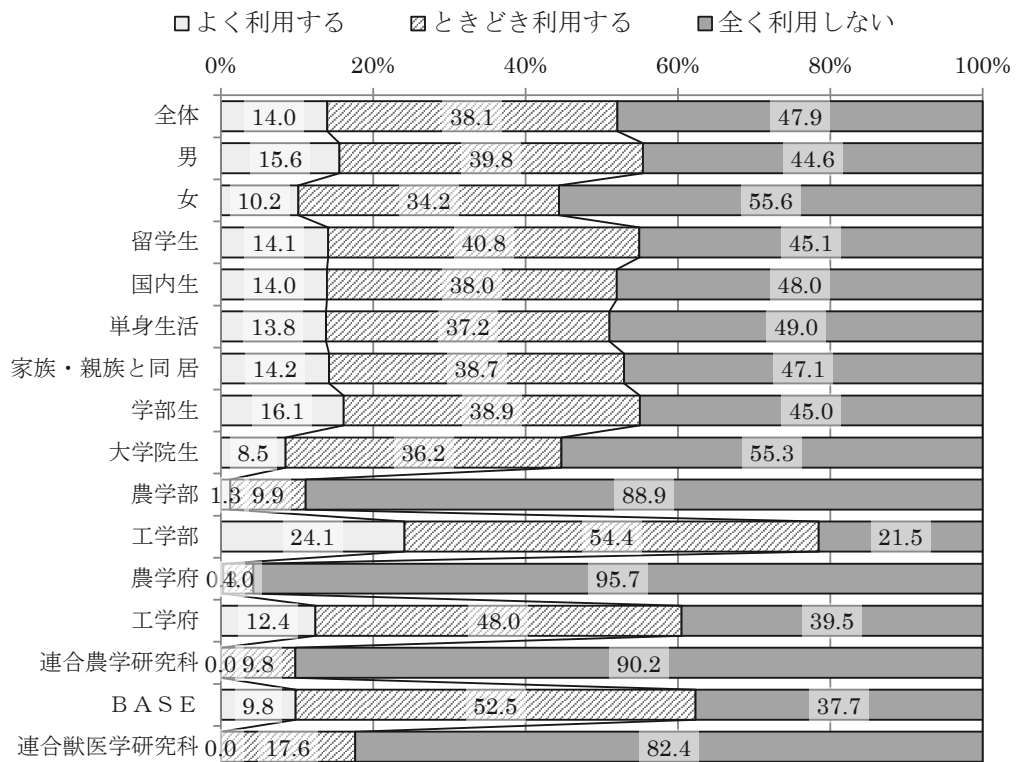
区 分	よく利用する	ときどき利用する	全く利用しない
A. 生協食堂	44.0	40.8	15.2
府 中	44.8	40.5	14.8
小金井	43.6	41.0	15.4
B. エリプス	14.0	38.1	47.9
府 中	1.0	8.8	90.2
小金井	20.4	52.7	26.8
C. 喫茶室	2.7	12.1	85.2
府 中	4.6	29.3	66.1
小金井	1.7	3.1	95.2
D. 売 店	41.8	51.9	6.3
府 中	51.4	43.8	4.8
小金井	36.8	56.1	7.1

（注）府中地区は農学部、農学府、連合農学研究科、連合獣医学研究科の学生の合計である。小金井地区は工学部、工学府、BASEの学生の合計である。

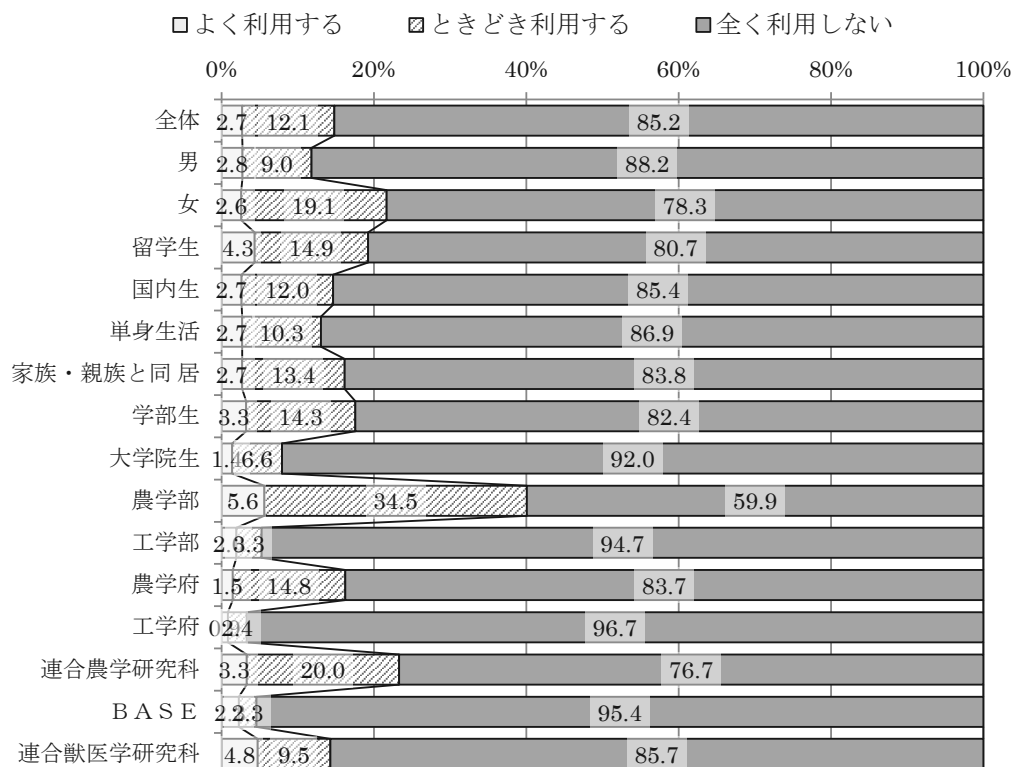
Q77. 生協食堂の利用度



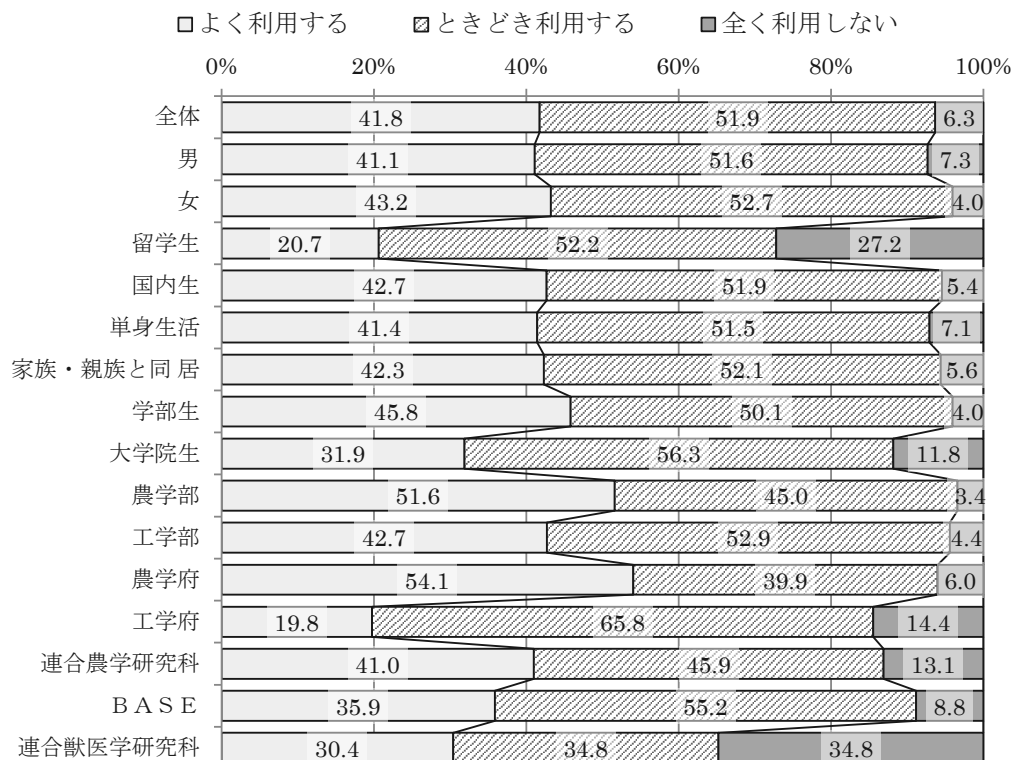
Q78. 140周年記念会館エリプス(小金井)の利用度



Q79. 喫茶室オリザ(府中)の利用度



Q80. 生協購買部(売店)の利用度



8 1. 食堂・エリプス・喫茶室の満足度

8 2. 食堂・エリプス・喫茶室で不満に思う点

8 3. 生協購買部（売店）の満足度

8 4. 生協購買部（売店）で不満に思う点

食堂と喫茶室、売店の満足度を以下にまとめた。

食堂・喫茶室の満足度（Q81）は、「満足」19.3%（前回 20.6%）、「やや満足」41.8%（54.1%）、「やや不満」28.2%（17.1%）、「不満」10.7%（8.1%）となった。前回より満足度が若干減少している。性差は認められない。学部差として、小金井の方が府中より満足度が高い傾向がみられた。また、留学生は「満足」が 38.3%であり、満足度が高い傾向が認められた。

「やや不満」「不満」と回答した 1,739 人について、不満の理由（重複回答あり）として最も多かったのは「コストパフォーマンス」で 925 人（1,739 人中 53.2%）、次いで「座席数や混雑」が 909 人（52.3%）、「営業時間」787 人（45.3%）、「メニュー内容や数」683 人（39.3%）、「味」443 人（25.5%）、「キャンパス間で施設の差が大きい」355 人（20.4%）であった。一方、「清潔さ」は 83 人（4.8%）、「店員の接客態度」は 60 人（3.5%）であり割合は少なかった。「キャンパス間で施設の差が大きい」355 人の内訳は、府中 329 人（851 人中 38.7%）、小金井 26 人（888 人中 2.9%）であった。

売店の満足度（Q83）は、「満足」26.8%（前回 30.6%）、「やや満足」50.9%（57.2%）、「やや不満」18.0%（8.9%）「不満」4.2%（3.3%）となり、前回より満足度が下がっている。性差は認められない。学部差として、小金井の方が府中より満足度が高い傾向がみられた。また、留学生は「満足」が 38.8%であり、満足度が高い傾向が認められた。

「やや不満」「不満」と回答した 993 人の不満内容の内訳（重複回答あり）で、最も多かった項目は、「営業時間」で 531 人（53.5%）、次いで「品揃え」が 506 人（51.0%）、「コストパフォーマンス」375 人（37.8%）、「混雑」154 人（15.5%）、「広さ」137 人（13.8%）であった。「店員の接客態度」46 人（4.6%）、「キャンパス間で施設の差が大きい」43 人（4.3%）、「清潔さ」17 人（1.7%）の割合は少なかった。

Q 8 1, 8 3. 食堂・エリプス・喫茶室、売店の満足度 (%)

区 分	満 足	やや満足	やや不満	不 満
1 食堂等	19.3	41.8	28.2	10.7
府 中	11.6	32.5	38.5	17.4
小金井	23.3	46.6	22.8	7.2
2 売 店	26.8	50.9	18.0	4.2
府 中	23.8	47.3	23.6	5.3
小金井	28.4	52.8	15.2	3.7

Q82. 食堂・エリプス・喫茶室で不満に思う点（複数回答可）

	コストパフォーマンス	座席数や混雑	営業時間	味	メニュー内容や数	清潔さ	店員の接客態度	キャンパス間で施設の差が大きい	その他
全体	925	909	787	443	683	83	60	355	56
男	719	555	449	321	461	46	42	150	40
女	206	354	338	122	222	37	18	205	16
留学生	12	11	15	7	17	2	2	6	3
国内生	913	898	772	436	666	81	58	349	53
単身生活	425	371	348	186	298	32	24	131	16
家族・親族と同居	494	530	435	252	379	51	36	223	39
学部生	643	690	527	274	413	56	38	257	42
大学院生	282	219	260	169	270	27	22	98	14
農学部	301	396	292	131	219	35	11	241	17
工学部	342	294	235	143	194	21	27	16	25
農学府	73	104	128	48	95	10	6	73	2
工学府	157	78	82	82	106	7	12	6	6
連合農学研究科	14	20	17	13	20	4	2	14	4
B A S E	33	13	25	21	41	6	2	4	1
連合獣医学研究科	5	4	8	5	8	0	0	1	1

Q 8 4. 売店で不満に思う点（複数回答可）

	コストパフォーマンス	混雑	営業時間	広さ	品揃え	清潔さ	店員の接客態度	キャンパス間で施設の差が大きい	その他
全体	375	154	531	137	506	17	46	43	22
男	281	99	284	84	308	12	34	16	17
女	94	55	247	53	198	5	12	27	5
留学生	10	1	9	2	9	0	0	1	2
国内生	365	153	522	135	497	17	46	42	20
単身生活	156	64	211	55	200	9	22	17	10
家族・親族と同居	217	89	315	81	303	8	24	26	12
学部生	282	124	363	99	343	13	32	34	10
大学院生	93	30	168	38	163	4	14	9	12
農学部	100	70	192	60	152	5	7	26	4
工学部	182	54	171	39	191	8	25	8	6
農学府	23	15	81	17	53	0	2	4	1
工学府	52	9	48	12	65	2	7	1	5
連合農学研究科	5	2	15	4	16	1	1	1	4
B A S E	11	3	18	5	22	0	4	2	2
連合獣医学研究科	2	1	6	0	7	1	0	1	0

85. キャンパスの施設・設備環境改善希望（講義室・実験室を除く）

全回答者数 4,536 人のうち、4,161 人（91.7%）より回答の記載があり、375 人は無回答だった。複数回答で、もっとも選択されたのは「無線 LAN」の 1,830 件で、全回答者の 40.3%が改善を希望している。次いで「部活動・サークル用の設備」1,065 件（23.5%）、「リフレッシュ空間」994 件（21.9%）、「トイレ」975 件（21.5%）、「駐輪場」839 件（18.5%）であった。「ロッカー」は 709 件（15.6%）、「コンセント」671 件（14.8%）、「自動販売機」486 件（10.7%）、「駐車場」167 件（3.7%）となった。

Q85. キャンパスの施設・設備環境（講義室・実験室を除く）で改善を希望するところ（複数回答可）

	トイレ	駐車場	駐輪場	リフレッシュ空間	無線 LAN	コンセント	自動販売機	ロッカー	部活動・サークル用の設備	その他
全体	975	167	839	994	1,830	671	486	709	1,065	219
男	710	140	587	668	1,280	442	313	418	667	157
女	265	27	252	326	550	229	173	291	398	62
留学生	31	7	33	50	85	21	26	18	26	23
国内生	944	160	806	944	1,745	650	460	691	1,039	196
单身生活	368	71	444	375	757	242	211	178	359	108
家族・親族と同居	595	90	374	605	1,053	422	270	524	696	108
学部生	697	117	531	685	1,268	501	316	603	862	141
大学院生	278	50	308	309	562	170	170	106	203	78
農学部	281	30	191	256	366	135	105	98	326	56
工学部	416	87	340	429	902	366	211	505	536	85
農学府	39	9	61	104	140	33	53	16	55	20
工学府	175	30	188	146	304	107	68	73	109	36
連合農学研究科	13	4	10	18	19	3	10	7	7	12
B A S E	47	4	47	36	88	26	36	9	28	7
連合獣医学研究科	4	3	2	5	11	1	3	1	4	3

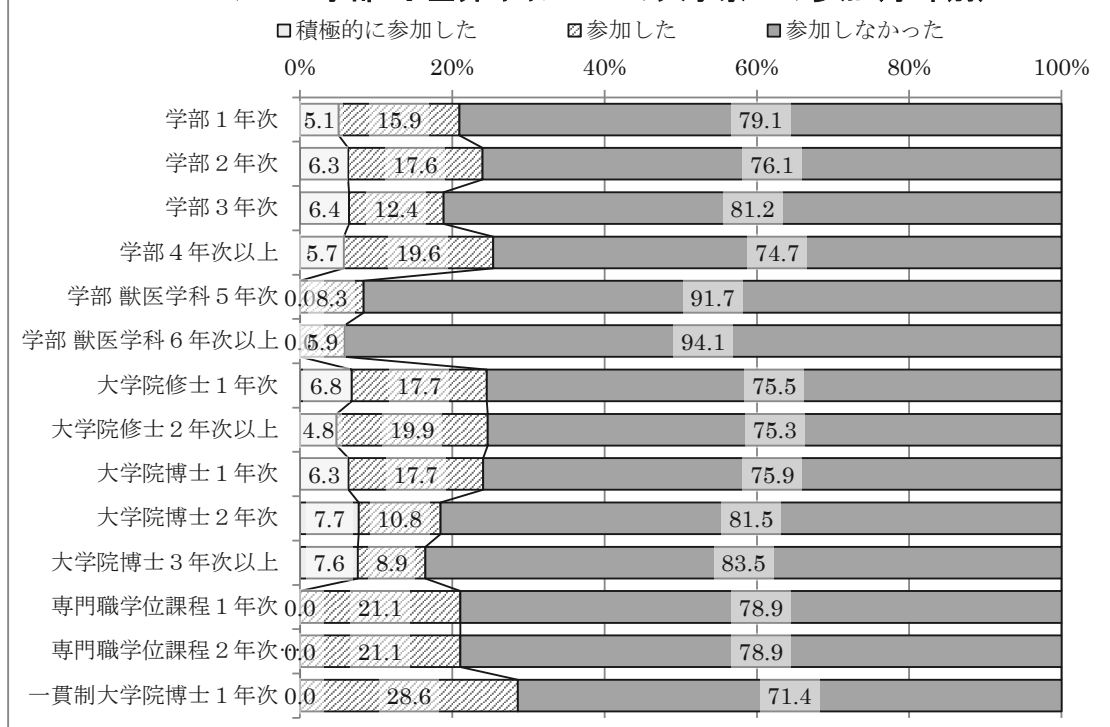
86. 工学部・小金井キャンパスの大学祭への参加

本年度から府中（H27. 11. 13～15）とは別日程（H27. 9. 26～27）で開催された工学部・小金井キャンパスの大学祭について、無回答を除いた集計では、全体で「積極的に参加した」5.8%（前回32.8%、ただし前回調査時は府中と小金井同日開催で、前年の大学祭に参加した割合）、「参加した」16.7%（41.1%）、「参加しなかった」77.5%（26.1%）と前回より参加者の割合が減少していた。小金井キャンパスの学生の方が、府中キャンパスの学生よりも参加した割合が高かった。「積極的に参加した」と「参加した」の合計は、農学部10.5%、工学部28.1%、農学府8.2%、工学府29.8%であった。

Q86. 工学部・小金井キャンパスの大学祭への参加

	合計	積極的に参加した	参加した	参加しなかった
全体	4,496	260	750	3,486
男	3,130	208	565	2,357
女	1,366	52	185	1,129
学部生	3,187	186	514	2,487
大学院生	1,309	74	236	999
農学部	1,114	30	87	997
工学部	2,073	156	427	1,490
農学府	330	4	23	303
工学府	709	52	232	425
連合農学研究科	61	4	3	54
BASE	181	22	66	93
連合獣医学研究科	23	0	3	20

Q86. 工学部・小金井キャンパスの大学祭への参加(学年別)



87. 工学部・小金井キャンパスの大学祭で改善を望むこと

改善を望む項目としては、「出店数を増やしてほしい」が1,537件（回答者の33.9%）と最多で、続いて「プログラム内容」1,092件（24.1%）、「開催時期を遅くしてほしい」530件（11.7%）、「会場設備」472件（10.4%）となっていた。

Q87. 工学部・小金井キャンパスの大学祭で改善を望むこと

	回答者数	開催時期を早くしてほしい	開催時期を遅くしてほしい	プログラム内容	出店数を増やしてほしい	出店数を減らしてほしい	会場設備	その他
全体	4,536	154	530	1,092	1,537	44	472	1,070
男	3,161	116	359	785	1,082	39	374	778
女	1,375	38	171	307	455	5	98	292
学部生	3,218	124	405	751	1,065	31	298	749
大学院生	1,318	30	125	341	472	13	174	321
農学部	1,126	51	101	184	225	2	44	278
工学部	2,092	73	304	567	840	29	254	471
農学府	333	11	26	50	42	3	13	90
工学府	716	11	81	235	344	7	130	163
連合農学研究科	61	2	2	3	5	1	4	25
B A S E	184	5	13	50	80	2	27	38
連合獣医学研究科	24	1	3	3	1	0	0	5

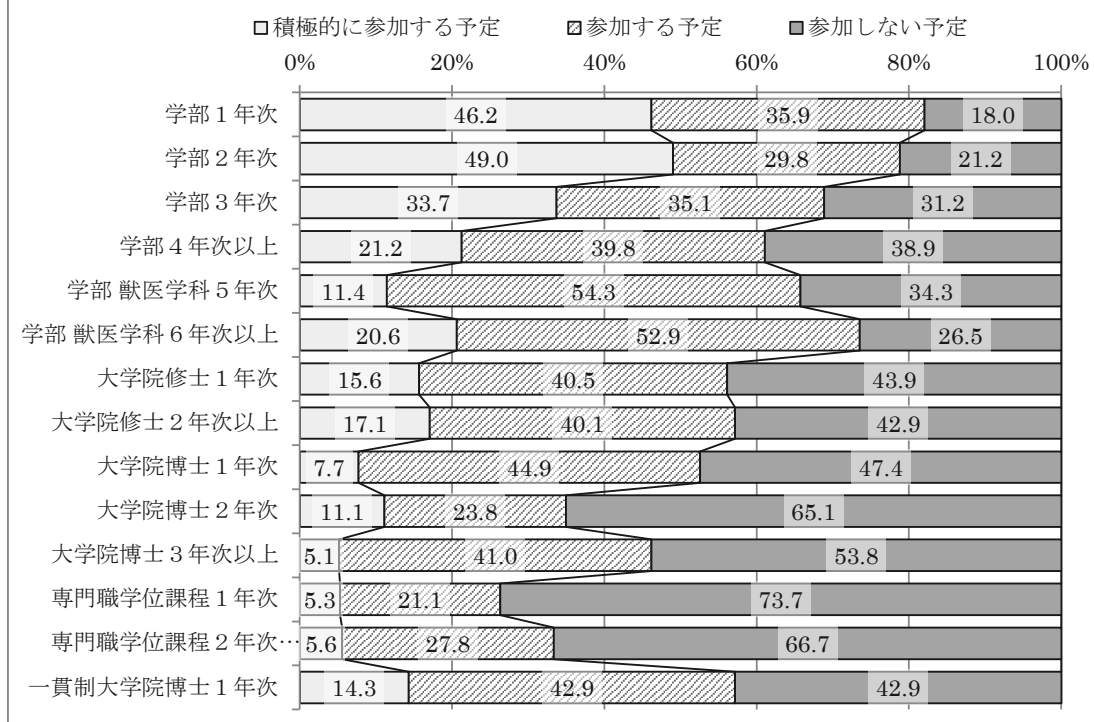
88. 農学部・府中キャンパスの大学祭への参加

本年度から小金井（H27.9.26～27）とは別日程で開催される農学部・府中キャンパス（H27.11.13～15）での大学祭について、無回答を除いた集計では、全体で「積極的に参加する予定」30.3%（前回32.8%、ただし前回調査時は府中と小金井同日開催で、前年の大学祭に参加した割合）、「参加する予定」36.7%（41.1%）、「参加しない予定」33.0%（26.1%）であり、前回より参加者の割合がわずかに減少していた。「積極的に参加する予定」と「参加する予定」の合計は、農学部88.6%、工学部63.6%、農学府84.1%、工学府40.1%であり、農学部と農学府で高率であった。

Q88. 農学部・府中キャンパスの大学祭への参加の予定

	合計	積極的に参加する	参加する	参加しない
全体	4,473	1,356	1,642	1,475
男	3,115	816	1,118	1,181
女	1,358	540	524	294
学部生	3,171	1,165	1,128	878
大学院生	1,302	191	514	597
農学部	1,106	548	432	126
工学部	2,065	617	696	752
農学府	328	105	171	52
工学府	709	52	232	425
連合農学研究科	61	11	29	21
BASE	181	22	66	93
連合獣医学研究科	23	1	16	6

Q88. 農学部・府中キャンパスの大学祭への参加(学年別)



89. 農学部・府中キャンパスの大学祭で改善を望むこと

改善を望む項目としては、「前後の休講措置」が1,436件（回答者の43.5%）と最多で、続いて「プログラム内容」421件（12.7%）、「会場設備」363件（11.0%）、「出店数を増やしてほしい」340件（10.3%）となっていた。

Q89. 農学部・府中キャンパスの大学祭で改善を望むこと

	回答者数	開催時期を早くしてほしい	開催時期を遅くしてほしい	プログラム内容	出店数を増やしてほしい	出店数を減らしてほしい	会場設備	前後の休講措置	その他
全体	3,302	140	67	421	340	38	363	1,436	839
男	2,284	103	58	320	242	26	238	869	647
女	1,018	37	9	101	98	12	125	567	192
学部生	2,395	101	49	267	219	24	245	1,162	555
大学院生	907	39	18	154	121	14	118	274	284
農学部	849	33	14	91	63	11	123	452	157
工学部	1,546	68	35	176	156	13	122	710	398
農学府	246	13	3	42	33	4	40	103	51
工学府	387	17	11	69	62	6	51	131	166
連合農学研究科	41	1	2	9	5	1	8	6	21
B A S E	88	6	1	31	14	3	16	31	41
連合獣医学研究科	18	2	1	3	7	0	3	3	5

90. 生活情報の入手先（外国人留学生）

188人の外国人留学生から、複数回答で回答を得た。「他の留学生」からの情報が最も多く101件（全回答件数の23.9%）、次いで「インターネット」77件（18.2%）、「担任教員や指導教員」68件（16.1%）、「国際センター」55件（13.0%）となっている。

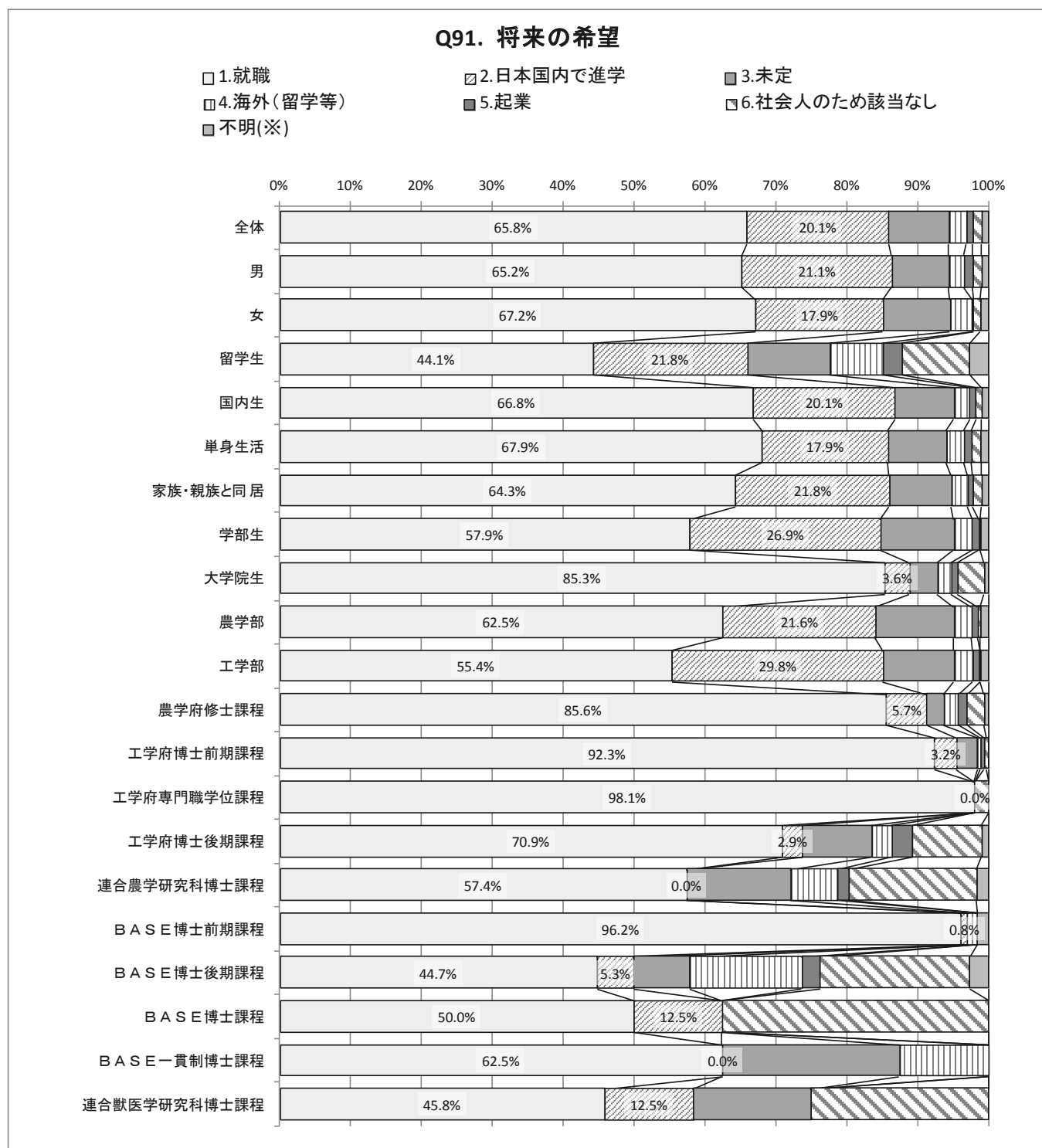
Q90. 生活情報の入手先（外国人留学生）

	合計	留学生の手引き	国際センターの教職員	担任教員や指導教員	他の留学生	チューター	チューター以外の日本人学生	インターネット	情報が得られない
全体	422	34	55	68	101	33	43	77	11
(%)	100.0	8.1	13.0	16.1	23.9	7.8	10.2	18.2	2.6
男	270	22	36	40	62	22	28	53	7
(%)	100.0	8.1	13.3	14.8	23.0	8.1	10.4	19.6	2.6
女	152	12	19	28	39	11	15	24	4
(%)	100.0	7.9	12.5	18.4	25.7	7.2	9.9	15.8	2.6
学部生	82	10	16	4	17	7	6	18	4
(%)	100.0	12.2	19.5	4.9	20.7	8.5	7.3	22.0	4.9
大学院生	340	24	39	64	84	26	37	59	7
(%)	100.0	7.1	11.5	18.8	24.7	7.6	10.9	17.4	2.1
農学部	12	3	3	1	1	1	0	2	1
(%)	100.0	25.0	25.0	8.3	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3
工学部	70	7	13	3	16	6	6	16	3
(%)	100.0	10.0	18.6	4.3	22.9	8.6	8.6	22.9	4.3
農学府	109	8	14	19	24	12	13	18	1
(%)	100.0	7.3	12.8	17.4	22.0	11.0	11.9	16.5	0.9
工学府	97	8	12	17	26	5	9	17	3
(%)	100.0	8.2	12.4	17.5	26.8	5.2	9.3	17.5	3.1
連合農学研究科	42	4	7	10	7	4	5	5	0
(%)	100.0	9.5	16.7	23.8	16.7	9.5	11.9	11.9	0.0
BASE	66	2	3	13	21	4	7	14	2
(%)	100.0	3.0	4.5	19.7	31.8	6.1	10.6	21.2	3.0
連合獣医学研究科	26	2	3	5	6	1	3	5	1
(%)	100.0	7.7	11.5	19.2	23.1	3.8	11.5	19.2	3.8

第IX章 進路（就職・進学）

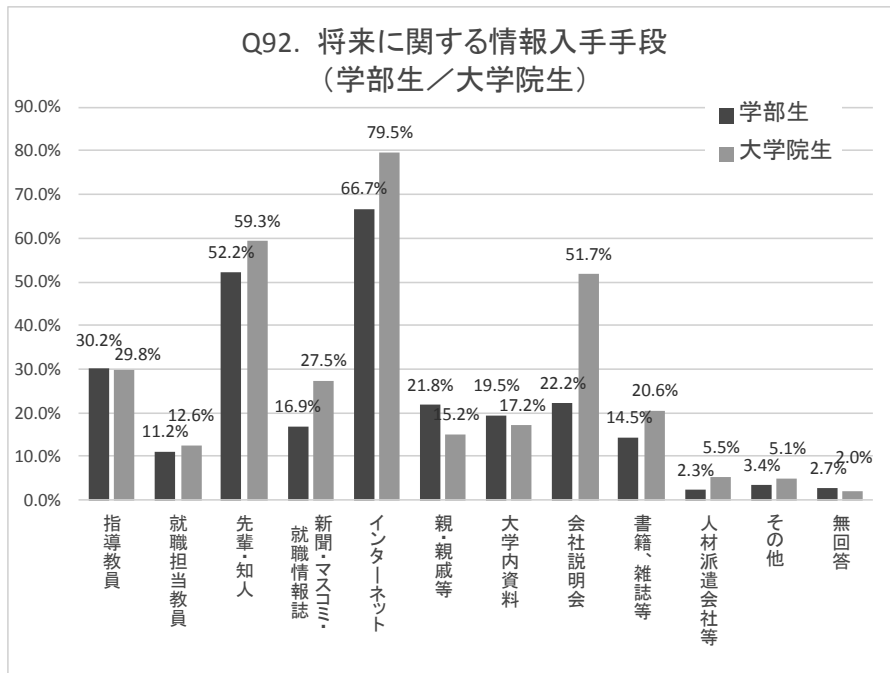
91. 将来の希望進路

学部から修士課程への進学希望者の割合は、農学部で約20%、工学部で約30%であり、前回の調査結果（農学部40%、工学部60%）と比較して半減した。一方、学部生の就職希望者の割合は、農学部で約60%、工学部で約55%であり、いずれも大幅に増加した。工学府博士前期課程と農学府修士課程の学生の博士（後期）課程への進学希望者の割合も、それぞれ約3%、約6%と、前回に比べ半減した。



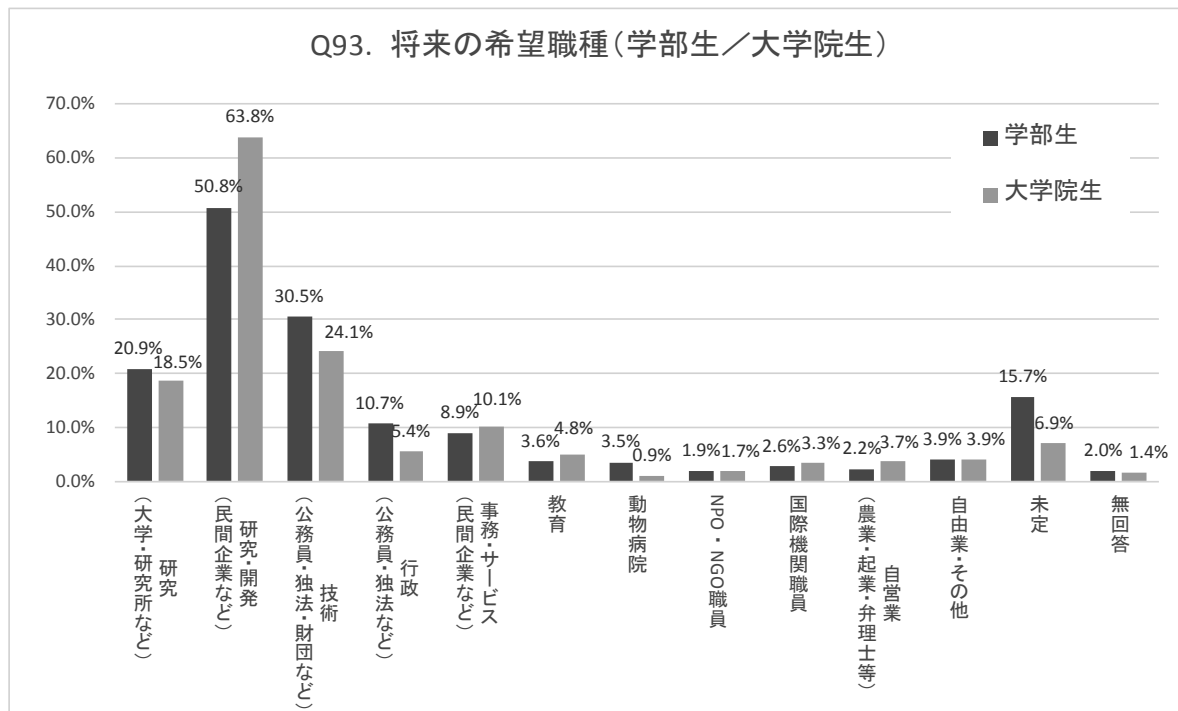
9 2. 進路に関する情報入手手段

学部、大学院、いずれも過半数の学生が情報をインターネットならびに先輩・知人から入手している。今回の調査では、複数回答可に変更したため、前回の調査結果と数値の比較はできないが、前回と同様の傾向である。会社説明会による情報入手は学部生では約 20%に留まるが、大学院生では約 50%と高かった。教員からの情報入手は、指導教員、就職担当教員あわせると、両学部、両大学院いずれも約 40%に達し、大学による支援の重要性が見てとれる。



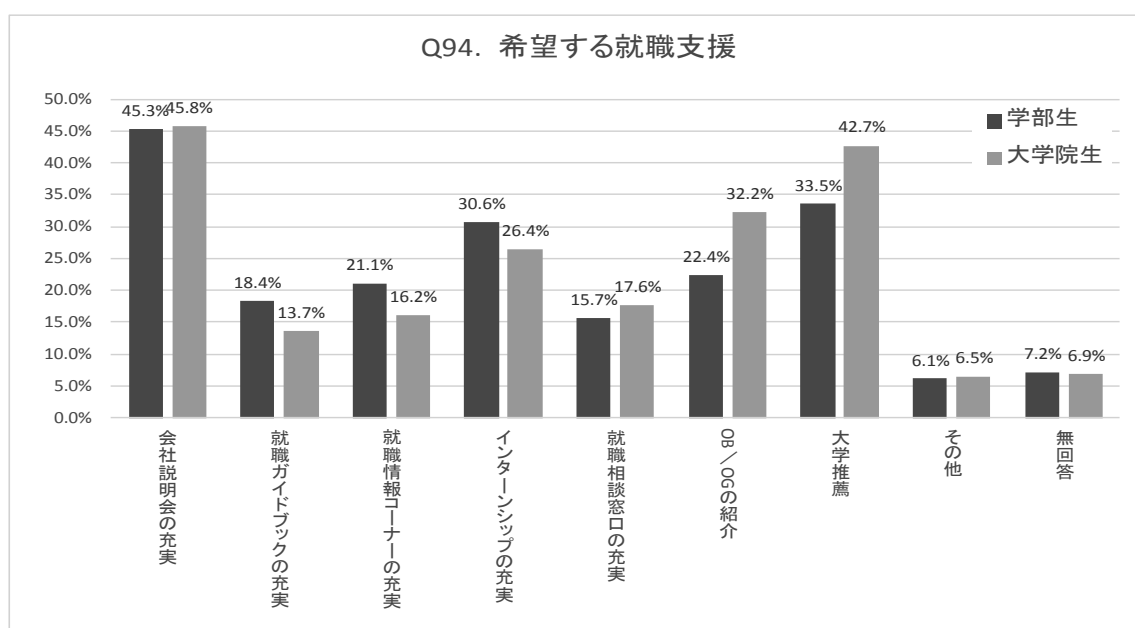
9.3. 将来の希望職種

前回の調査結果と同様の傾向で、各学部、学府とも研究・開発、技術職を希望するものが多い。なかでも企業の研究・開発職の希望者は多く、農学部約40%、工学部約60%、工学府博士前期課程76%、農学府修士課程46%であり、前回と同様、工学部、工学府で希望が多い傾向がある。一方、割合は低いものの、農学系には、教育、サービス、NPO法人、国際機関、動物病院などを希望するものが一定の割合で含まれ、多様な進路を考えていることが窺える。



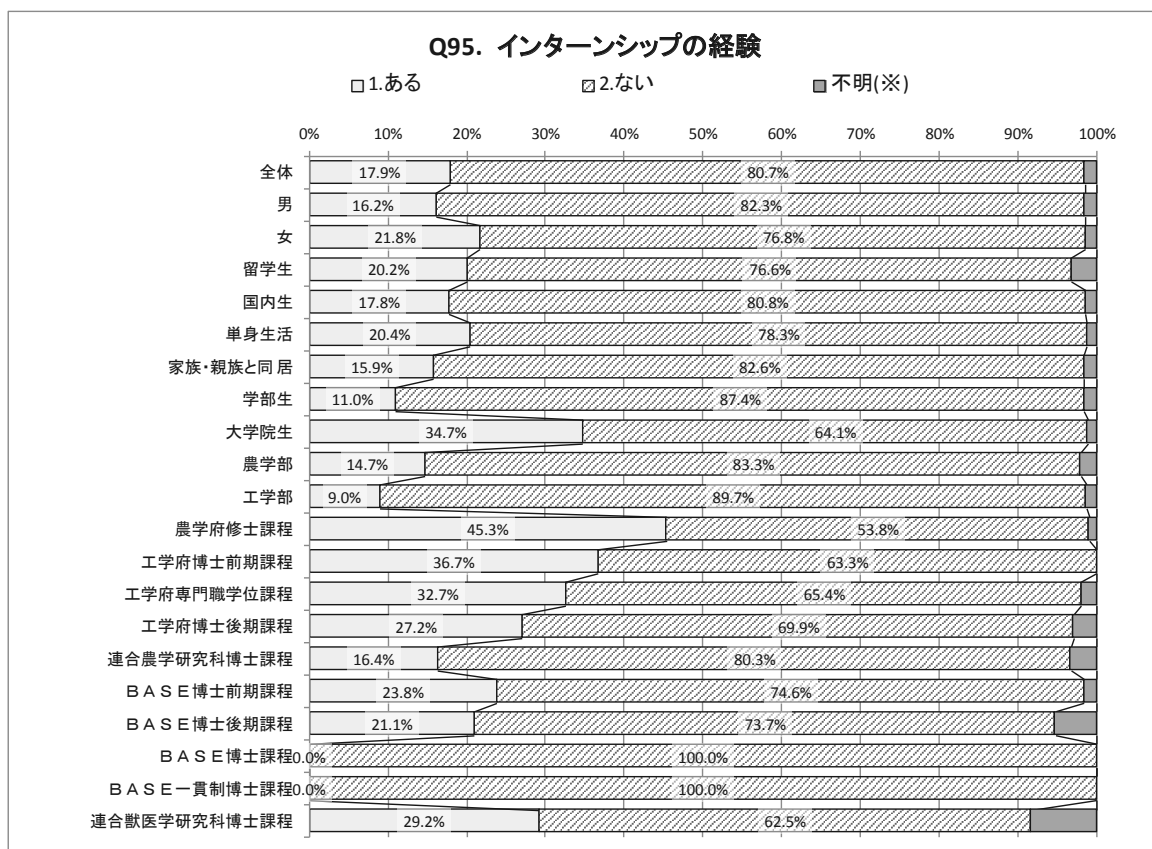
9.4. 希望する就職支援

前回と同様、農学系、工学系ともに同じような傾向であり、会社説明会の充実の希望が最も多い。大学推薦とインターンシップの充実が次いで多く、OB/OGの紹介を希望するものも多い。全体として、多様な取り組みが求められており、今後、効果的な方策を考える必要がある。



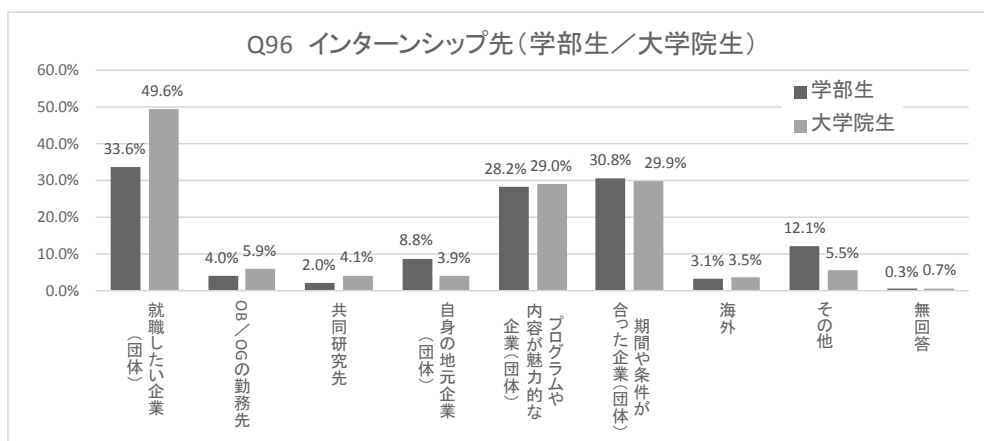
95. インターンシップの経験

全体で18%の学生がインターンシップを経験しており、前回（10%）に比べ増加が見られた。特に、大学院生の増加が顕著で、前回の16%から35%に増加した。前回と同様、農学系で経験者が多く、農学府修士課程では、経験者が45%に達している。インターンシップは多様化が進んでおり、内容に合わせた経験の把握について検討する必要があると思われる。



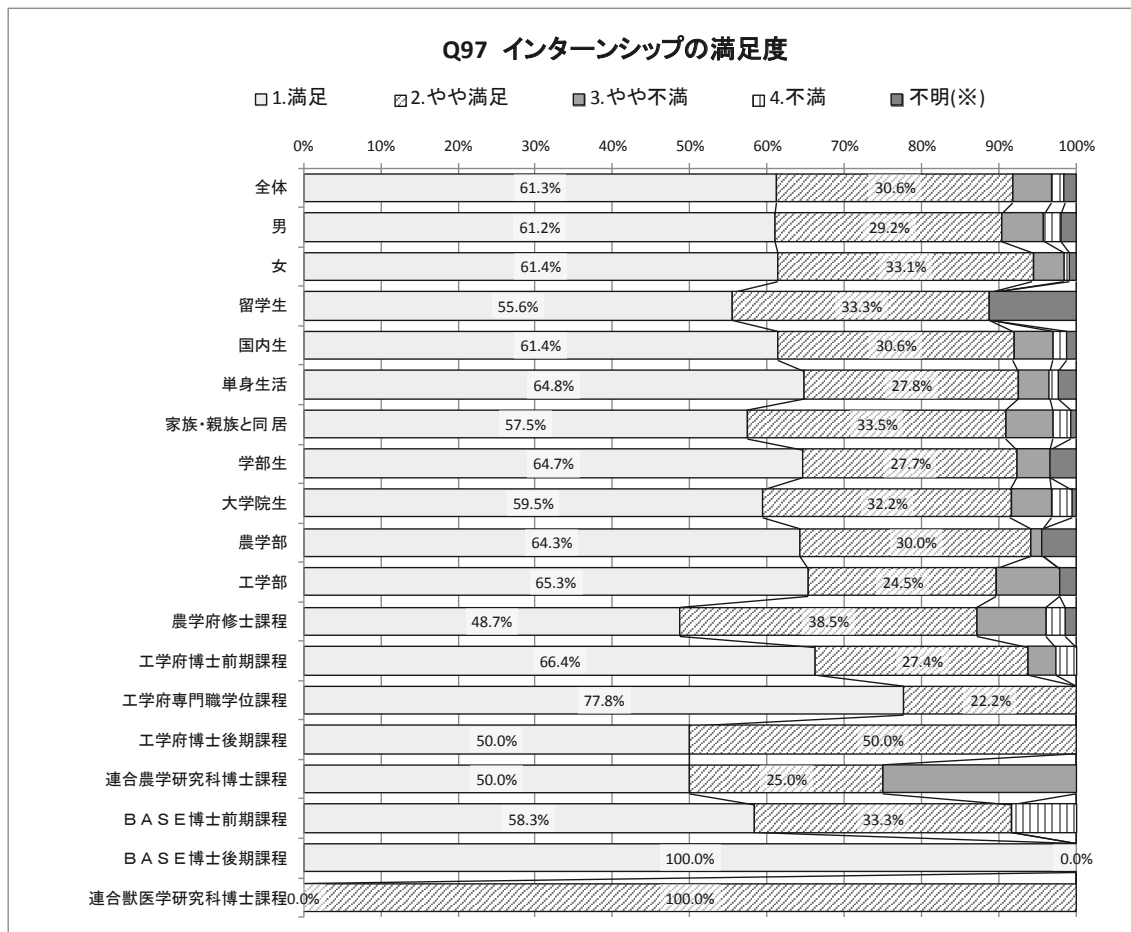
96. インターンシップ先

インターンシップは、学部生は各学部とも、就職したい企業、プログラムが魅力的あるいは条件が良かった企業でおこなっていた。それに対して、大学院生は、工学府、農学府とも、約50%のものが就職したい企業のインターンシップを経験していた。



97. インターシップの満足度

前回の調査結果と同様、インターシップ経験者の9割以上が満足していた。内訳も、満足が約60%、やや満足が約30%と前回と同様であったが、農学府修士課程では満足の割合が49%に低下していた。



第Ⅹ章 要望・意見等

学生生活全般についての大学に対する要望・意見等の自由記述

回答用紙（マークシート）裏面の「自由記述」の記述内容を分類・整理し、キャンパスごとの件数とともに代表的な個別の要望・意見等を示した。なお、特に大学院生から多く得られた回答については括弧内に件数を示した。

区分			
質問事項	回答数(括弧内はうち大学院学生)		要望・意見
	府中	小金井	

Ⅱ 経済的状況			
経済的理由から学業の継続に困難を感じたことがありますか。	1	4(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料免除の査定が厳しい。 ・高授業料・低奨学金は、多くの学生を苦しめている。返済が免除される奨学金を拡充する必要がある。

Ⅲ 住居			
学生寮の満足度	2(1)	2(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・寮内のセキュリティに不安があり、ストレスになる。 ・機能を選択できる洗濯機にしてほしい。
学生寮への入寮を希望しない理由	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチンがIHであること。 ・工学部(小金井)のキャンパスにしか男子寮がないため、入居希望は積極的にしない。
国際交流会館の満足度	1(1)	4(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会館の廊下が汚い。 ・I found a lot of cockroaches in my dormitory room during summer. They came out from the water heater unit. I was so dissappointed with the cleaning service. …2件 ・外国人の寮を増やしてほしい。いまの数は少ない。 ・Housing for international students at the dormitories (Possibly for the entire period of study) is requested. ・入居期間が短いため、引越しが大変です。

Ⅴ 学業			
入学して程度満足していますか。	1	3(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の職員の対応改善希望。 ・他大学との交流をもっと増やして欲しい。(単位互換制度は実用的でない。) ・留学等を推奨しているのであれば、もっとTOEFL、TOEICやドイツ語検定等を無料で行うなど、また、頻繁に行うなど、門戸を開いて欲しい。
カリキュラムにどの程度満足していますか。	6(3)	15(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・祝日開講、振替授業の休日開講。…3件 ・授業の到達目標が不明確。 ・必修が多すぎる。1度単位をおとすと再覆習が難しい。 ・実践的な授業が少ない。 ・他学科履修を再検討願いたい(受けやすくしてほしい、あまり受け入れてほしくない)。 ・単位が取得できなくても講義を聴講させて欲しい。 ・GPA評価で、科目への興味よりも難易度で選択する人が多い。 ・新カリ1期生へ将来の時間割の公開をしてほしかった。

			<ul style="list-style-type: none"> ・統計や機器分析の授業のタイミングの改善。 ・Bnのカリキュラムで情報系が不足。 ・物づくりの基本となる「デザイン」の授業を増やして欲しい。 ・E科のE1とE2で、授業の内容や評価が異なる。 ・流体工学がなくなったことに関して説明がほしい。 ・BASEは授業が多すぎる。BASEで教員免許取得が困難。 ・Some lectures by foreign(or invited)lecturers in graduate level would be nice to have. ・博士課程における講義は不要。 ・教授は学生の指導と研究に集中して欲しい。 ・研究室での指導・研究環境の改善。 ・高プレッシャーへのフォロー。 ・学生に雑用をさせないでほしい。
教養科目(共通科目)に対して希望することを教えて下さい。	4(1)	2(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・履修登録期間が短く、興味のある授業をすべて見るができない。 ・環境科学のような応用科学の勉強・研究をする上で基礎科学の知識を十分に身につける必要性を強く感じる。 ・もっと基礎から分かりやすく、かつその教科の面白さが伝わるような授業をしてほしい。 ・人文、社会科学系の科目の選択肢がもっとあったらよかった。 ・人文系科目を週2日開講してほしい。 ・リーディングプログラムの独自科目を工学府の教養科目として読み替えてほしい。 ・英語科目の充実、第二外国語の選択肢を増やしてほしい。 ・知識の修得を目的としている授業ならば、現在の講義形式ではなく、ラーニングを活用したもっと効率的なやり方があるのではないか。
留学	2(1)	3(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・留学以外の国際交流機会の増加。 ・院生向けにも語学研修をサポートして欲しい。 ・海外への留学を、より経済的に支援してほしい。 ・行ける国の選択肢が少ない。ヨーロッパの大学への留学支援がほしい。 ・語学を勉強するため留学したいのに、語学力が必要だと言われる。

V 学習環境			
授業時間外の学習を行うのに必要な施設・設備や対策は何だと思いますか。	3	8(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・無線LAN環境の改善。…2件 ・早い時間から使用できる自習室を希望。 ・ディベート、ディスカッションなどをするための部屋、学生が談笑、休憩する。場所、自習や飲食、休憩などができるスペースを設置してほしい。…4件 ・図書館の運営、文献の購読。…4件
講義室、実験室のどのようなところに改善を望みますか。	3(1)	8(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・余った試薬や器具を研究室間で融通し合えるシステム。…2件 ・研究室の環境、設備の改善。…2件 ・研究室ごとの予算の格差。 ・空調の設備、運用。…4件 ・講義室の椅子の改善。 ・スクリーンを降ろすと時計が見えなくなる部屋が多い。 ・人数に対して使用する教室がややせまい(圧迫感がある)。
校内の環境で改善を望むところ	21(13)	79(38)	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の改善など。…7件 ・無線LAN環境の改善など。…22件

			<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの清掃、石鹸の改善など。…9件 ・駐輪場、自転車の交通に関して。…23件 ・体育館、グラウンド、運動設備の改善。…6件 ・ロッカーの設置(特に工学部)。…10件 ・学生の共用施設の充実。…4件 ・冷水機の設置。…2件 ・建物の設備、補修等。…8件 ・キャンパスの環境、施設のデザイン等。…8件 ・生協の営業時間、価格、サービス内容等。…6件 ・門の開閉時間等。…6件 ・職員の対応の改善。…2件 ・成績による授業料免除などの成績に対する優遇措置が不足している。 ・サークルの表彰などの充実。 ・入学手続き資料の整備。 ・SciFinderの枠の増。
図書館	12(2)	36(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書(一般書)内容の充実。…9件 ・空調の改善。…9件 ・机、イスの増設、コンセント等の設備。…2件 ・電子ジャーナルの充実。…10件(特にACSについての要望が3件) ・電子書籍の貸し出。 ・開館日の拡大、開館時間の延長希望。…10件 ・利用者のマナー。…2件 ・職員の対応、私語等。…2件 ・飲食の許可。 ・学外者の利用希望。 ・図書館の閉館時の曲を静かなおだやかなものにしてほしい。

VI 課外活動

課外活動(サークル)	11(5)	35(9)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部グラウンドのナイター設備を希望。…10件 ・施設、設備の充実。(サークル棟を含む)…14件 ・環境、衛生面への配慮。…3件 ・活動時間の延長希望。…12件 ・サークル活動への理解、支援の希望。…5件 ・サークル数を増やしてほしい。2件 ・職員の対応。 ・利用手続きの簡素化。
------------	-------	-------	--

VII ボランティア活動

ボランティア		1(1)	・ボランティアに参加したいという主義はもっていない。
--------	--	------	----------------------------

Ⅷ 学生生活			
悩みのあるもの、困ったこと、誰に相談したか。	5(2)	11(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室の指導教員(教授)の身勝手な行動・言動。 ・研究室の担当指導教員について気軽に相談できる所が欲しい。 ・保健管理センターや学生相談室の場所や利用法が分からない。 ・発達障害者及び統合失調症等精神疾患を持つ人に対しカリキュラム的な支援がほしい。 ・休日に課題を提出しようとしたら、校舎が閉まっていた提出できなかった。 ・(留学・就職など)の広報をしっかりとってほしい。 ・学生課職員の対応。…6件 ・教務のメールアドレスに、連絡をしたが返信がない。 ・入学手続や出張手続などの書類が日本語のものしかないため、日本語がわからない留学生はチューター頼りになっています。 ・中央棟の職員が親切に対応してくださって助かっています。 ・学振と留学奨学金の申請に関して支援をしていただけて助かった。 ・守衛の対応。
学生相談室		1(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・農工大の就職相談の窓口は、他の大学(特に私大)と比較すると格段に使えないと聞くことが多い。利用する人は増えないと思う。
飲み会・コンパなど	2		<ul style="list-style-type: none"> ・サークルの合宿で飲酒の強要をされた。 ・未成年が飲みたがるのを止めない人がいる。
セクシュアル・ハラスメント以外のハラスメント	2(2)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研究活動に関連するもの。…3件 ・教育、指導に関連するもの。…5件 ・言動、態度、行動など。…7件 ・(提案)学生の指導は最低月1回行うこと、3カ月に1回は複数の教員で進捗状況を見て、コメントをくれることが必要ではないか。
喫煙		1	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙場所の充実。
キャンパス内のマナー(自転車駐輪、タバコ、ゴミ)について	2	17(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス内の自転車の通行。…3件 ・駐輪場拡張、屋根の設置、料金、駐輪整理職員の対。…2件 ・寮前のバイク置場、駐輪場のマナーの改善。…3件 ・喫煙場所の撤去、禁煙。…4件 ・門の運用。 ・ゴミの日の廃止。 ・車止めの撤去。 ・学外者のマナーの改善。…2件
食堂・エリプス・喫茶室(オリザ)	16(6)	13(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の延長。…15件 ・スペースの拡大、環境の改善。…6件 ・メニューの改善。(ハラール対応を含む)…5件 ・価格が高い。…4件 ・席取りの禁止。…2件 ・オリザの改善。 ・お弁当の販売数の増加。 ・外部業者の利用。
生協購買部(売店)	3(2)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の拡大。…4件 ・品ぞろえの充実、アルコールの販売。…2件 ・学術書籍の品揃えを充実して欲しい。 ・飲み物の値段が高い。

<p>キャンパスの施設・設備環境(講義室・実験室を除く)</p>	<p>14(5)</p>	<p>61(26)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生共用スペースの設置。…5件 ・無線LAN環境の改善。…8件 ・門の開閉時間の延長、運用ルールの見直し。…5件 ・ロッカーの設置。…7件 ・駐輪場の増設、改善。(屋根の設置など)…3件 ・駐輪場の整理。…2件 ・キャンパス内の交通、自転車の利用。…5件 ・自転車の整理スタッフの対応の改善。 ・トイレの清掃、美化。…7件 ・洗面の石鹸の設置、改善。…6件 ・暖房設備の充実。 ・喫煙所の設置。…2件 ・キャンパス内の環境の整備、補修。…7件 ・工学部体育館の通路に屋根の設置。 ・部活動で使用できる照明・音響などを備えたホールが欲しい。 ・学内の道の排水能力を向上してほしいです。 ・スマートモビリティ研究拠点付近の学生駐車場入口の段差にも、教員用の入口のように坂をつけて欲しい。 ・グラウンドの夜間照明の設置。 ・生協でタバコの販売。 ・自販機のラインナップの変更。…4件 ・コピーカードの廃止。 ・SPICAの機能改善。 ・研究室の下駄箱の増設。…3件 ・ヤギ舎の水まわり。 ・講義棟にコピー機の設置。
<p>工学部・小金井キャンパスの大学祭</p>	<p>3</p>	<p>35(12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部の学園祭は不要。…14件 ・工部祭を発展させたい、盛り上げたい。…4件 ・工学部、農学部の共同開催。…12件 ・研究発表の充実。 ・学園祭実行委員の補充。 ・実行委員会の経理問題の説明希望。…4件 ・PR活動の充実。…2件
<p>農学部・府中キャンパスの大学祭</p>	<p>1</p>	<p>4(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間、サークル棟での飲み会の時間の延長。 ・府中、小金井キャンパスごと多様性を。 ・農学部の学祭翌日の休講。 ・研究発表の充実。

区進路(就職・進学)			
就職支援	3(2)	8(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援の充実、説明会の開催。…3件 ・キャリアセンターの受付時間の延長。 ・指導教員が就職活動に否定的。 ・就職状況の公開方法の改善。 ・インターンシップ支援。 ・OB/OGの情報提供。…2件 ・学部で就活をする人に対するサポート。…2件 ・エンジニア向けのインターンシップに偏りすぎている。

その他			
その他	13(7)	22(17)	<ul style="list-style-type: none"> ・この調査に関する要望、改善。(WEB化など)…12件 ・研究室運営について。 ・職員の対応。…2件 ・農工大オリジナルキャラクターについて。 ・リーディング大学院についての全体に対する説明の場が欲しい。 ・大学周辺に飲食店を増やして下さい。 ・学費値上げ反対。 ・研究室体験の希望。 ・自転車通行禁止について。 ・学外研究をする際に提出書類が多い、処理の簡略化。 ・研究室所蔵の本の貸し出し。 ・環境対応について。 ・入学試験の第一、第二志望学科について。 ・農学部と工学部をつなぐ交通について。…2件 ・学科間での交流を深めたい。

ここで寄せられた意見、要望については関係部署に連絡し、対応が必要と判断した件についてはその対応方法、経過などを後日、本学ホームページ等で報告する。

巻末資料

1. 委員会等の構成メンバー

学生生活実態調査ワーキンググループ 委員

主査 有江 力 農学府・農学部 教授 評議員

岩渕 喜久男 農学府・農学部 教授 平成27年度農学府・農学部学生生活委員長

土屋 俊幸 農学府・農学部 教授 平成27年度農学府・農学部学生生活副委員長

養王田 正文 工学府・工学部 教授 平成27年度工学府・工学部学生生活委員長

近藤 敏之 工学府・工学部 教授 平成27年度工学府・工学部学生生活副委員長

RAKSINCHAROENSAK PONGSATHORN 工学府・工学部准教授・工学部学生生活委員

川端 良子 国際センター 准教授

吉永 契一郎 大学教育センター 准教授（平成27年12月31日転出）

藤井 恒人 大学教育センター 准教授

岩田 陽子 大学教育センター 准教授

馬渕 麻由子 大学教育センター 准教授

原田 賢治 保健管理センター 准教授

事務

学務部長 村田 昇一

学生総合支援課長 駒野 亮

教育企画課長 大坂 香織

学生支援係長 定方 千香子

教育企画係長 南 直樹

第 8 回 学生生活実態調査

The 8th Student Life Survey

2015年度

調査票

Questionnaire

… … … … … お 願 い … … … … …

この調査は、本学の学生の生活実態を把握し、今後のキャンパス環境の改善に役立てることを目的に、全学生を対象として実施するものです。1994年度に初回を実施し、今回で8回目になります。これまでの調査結果を基に、様々な改善が行われてきました。

趣旨をご理解の上、本年10月1日現在の状況について回答くださるようお願いいたします。

この調査により知り得た個人情報をはじめ提供することは一切ありません。調査については、分析結果・改善計画を公表の予定です。

調査票の各設問の回答はマークシートにマークいただき、10月20日（火）までにマークシートを各所属学科等の担当者へ提出してください。

If you like to have the English version of this questionnaire, please visit the website: <http://www.tuat.ac.jp/~icenter/>, and submit the answer sheet to your department by October 20.

平成27年10月1日

東京農工大学 教育・学生生活委員会

記入上の注意

Directions

1. 平成27年10月1日現在で記入してください。

Provide your information as of October 1.

2. 設問には、可能な範囲でできるだけ正確に回答をしてください。

Provide your answer as accurate as possible. Some questions are targeted toward specific students.

なお、設問中の〈 〉内の見出し表示はその設問の調査対象者を示します。

3. 回答方法は、設問事項の回答欄に該当する事項をマークシートにマークして

ください。（要望、意見等がある場合はマークシートの裏面に自由記述欄があ

りますのでそちらに記載下さい。）

なお、複数回答可としている場合を除いて、一問一答です。

Mark one answer for each question, unless multiple choices are allowed. You may write down your free opinions in the back of the sheet.

I 基本的事項

費用事項		選択肢	
1. 所属学科・専攻等	<p>【農学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 1. 生物生産学科 : 2. 応用生物科学科 : 3. 環境資源科学科 : 4. 地域生命システム学科 : 5. 獣医学科・共同獣医学科 <p>【工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 6. 生命工学科 : 7. 応用分子化学科 : 8. 有機材料化学科 : 9. 化学システム工学科 : 10. 機械システム工学科 : 11. 物理システム工学科 : 12. 電気電子工学科 : 13. 情報工学科 <p>【農学研究科】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 14. 生物生産科学専攻 : 15. 共生持続科学専攻 : 16. 応用生命化学専攻 : 17. 生物資源科学専攻 : 18. 環境資源物質科学専攻 : 19. 物質環境科学専攻 : 20. 自然環境化学専攻 : 21. 農業環境科学専攻 : 22. 国際環境科学専攻 <p>【工学研究科】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 23. 生命工学科 : 24. 応用化学専攻 : 25. 機械システム工学科 : 26. 物理システム工学科 : 27. 電気電子工学科 : 28. 情報工学科 <p>【農学研究科】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 29. 産業技術専攻 <p>【BASE専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 30. 生物システム応用科学専攻 : 31. 生物機能システム科学専攻 : 32. 生物システム応用科学専攻 : 33. 生物機能システム科学専攻 : 34. 共同生命環境科学専攻 <p>【BASE一貫制博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 35. 食料エネルギーシステム科学専攻 	<p>【適合農学研究科博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 30. 生物生産科学専攻 : 31. 共生持続科学専攻 : 32. 環境資源共生科学専攻 : 33. 産業環境科学専攻 : 34. 農林共生社会科学専攻 <p>【工学博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 35. 生命工学科 : 36. 応用化学専攻 : 37. 機械システム工学科 : 38. 電子情報工学科 <p>【適合獣医学研究科博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 39. 獣医学専攻 <p>【BASE博士前期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 40. 生物システム応用科学専攻 : 41. 生物機能システム科学専攻 <p>【BASE博士後期課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 42. 生物システム応用科学専攻 : 43. 生物機能システム科学専攻 <p>【BASE博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 44. 共同生命環境科学専攻 <p>【BASE一貫制博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 45. 食料エネルギーシステム科学専攻 	
2. 在籍年次	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 学部 1年次 : 2. 学部 2年次 : 3. 学部 3年次 : 4. 学部 4年次以上 : 5. 学部 獣医学科6年次 : 6. 学部 獣医学科6年次以上 	<ul style="list-style-type: none"> : 7. 大学院博士 1年次 : 8. 大学院博士 2年次以上 : 9. 大学院博士 1年次 : 10. 大学院博士 2年次 : 11. 大学院博士 3年次以上 	
3. 性別	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 男 : 2. 女 		
4. あなたの生活形態はどれですか。		<ul style="list-style-type: none"> : 2. 家族・親族と同居 	
5. あなたは外国人留学生ですか。	はい	いいえ	
6. 5で「はい」と答えた方に伺います。留学生の区分は何ですか。	私費留学生	<ul style="list-style-type: none"> : 2. 日本政府国費留学生 : 3. 国派遣留学生 	

II 経済的状況

費用事項		選択肢	
7. あなたの1か月の平均収入額は、おおよそいくらですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 0~2万円 : 2. 2~4万円 : 3. 4~6万円 	<ul style="list-style-type: none"> : 4. 6~8万円 : 5. 8~10万円 : 6. 10~12万円 : 7. 12~14万円 : 8. 14~16万円 : 9. 16~18万円 : 10. 18~20万円 : 11. 20万円以上 	
8. 収入源として該当するものを選んで下さい(複数選択可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 家族(家計支持者)から : 2. 奨学金(国・県・市・私立) : 3. 奨学金(ローン・貸付) 	<ul style="list-style-type: none"> : 4. 学外でのアルバイト : 5. 学内でのアルバイト(TA・RA・研究補助等) : 6. その他 	
9. あなたの1か月の平均支出額は、おおよそいくらですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 0~2万円 : 2. 2~4万円 : 3. 4~6万円 	<ul style="list-style-type: none"> : 4. 6~8万円 : 5. 8~10万円 : 6. 10~12万円 : 7. 12~14万円 : 8. 14~16万円 : 9. 16~18万円 : 10. 18~20万円 : 11. 20万円以上 	

支出項目として該当するものを選んで下さい(複数選択可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 住居費(駐車場代を含む) : 2. 食費(自宅通学者は外食費) : 3. 光熱水費(通学者は含まない) : 4. 通費(携帯電話、電話代、ネット回線料など) 	<ul style="list-style-type: none"> : 5. 研究・旅費・書籍費(新聞購読料を含む) : 6. 課外活動費(サークル活動にかかる費用など) : 7. 交通費・通学費(定期券代、駐車代、ガソリン代) : 8. その他
11. 授業料の主たる支払いは、どなたですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 父 : 2. 母 : 3. 配偶者 : 4. 本人 	<ul style="list-style-type: none"> : 5. 兄弟姉妹 : 6. 祖父 : 7. 知人(親戚を含む) : 8. 授業料免除、奨学金の適用
12. 現在、学外でアルバイトをしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. している : 2. していない 	
13. 12で「1」しているのと答えた方に伺います。学外アルバイトに就いている時間帯(週時間定額)は、どれですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 5時間未満 : 2. 5時間~10時間未満 : 3. 10時間~15時間未満 : 4. 15時間~20時間未満 : 5. 20時間以上 	
14. 経済的理由から学業の継続に困難を感じたことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. ある : 2. ない 	
15. 14で「1」と答えた方に伺います。経済的困難をどのように解決していますか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 授業料免除 : 2. 入学金免除 : 3. 学内におけるアルバイト : 4. 学外におけるアルバイト : 5. 奨学金 : 6. 家族などからの援助 : 7. ローン : 8. 節約 	

III 住居

費用事項		選択肢	
16. 住居等について、現在の生活形態に一番近いのはどれですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 自宅 : 2. 親戚宅等 	<ul style="list-style-type: none"> : 3. 単身アパート・マンション : 4. 下宿(借宿) : 5. シェアハウス : 6. 寮・学生会館等 : 7. その他 	
17. <本学生寮に入寮している方>に伺います。学生寮にどの程度満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 満足 : 2. やや満足 	<ul style="list-style-type: none"> : 3. やや不満 : 4. 不満 	
18. <本学生寮に入寮していない方>に伺います。本学生寮への入寮を希望しますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 希望する 	<ul style="list-style-type: none"> : 2. 希望しない 	
19. 18で「希望しない」と答えた方に伺います。その理由は、何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 自宅だから : 2. アパートに満足している 	<ul style="list-style-type: none"> : 3. 集団生活が苦手 : 4. その他 	
20. <外国人留学生の方>に伺います。本学の国際交流委員会への入寮を希望しますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 希望する 	<ul style="list-style-type: none"> : 2. 希望しない 	
21. <本学の国際交流委員会に入寮している方>に伺います。本学生寮への入寮を希望しますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 満足 : 2. やや満足 	<ul style="list-style-type: none"> : 3. やや不満 : 4. 不満 	
22. 20で「希望しない」と答えた方に伺います。なぜ希望しないのでしょうか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 入居費が高い : 2. 設備が充実していない 	<ul style="list-style-type: none"> : 3. 清潔でない : 4. 部屋が狭い : 5. 共有部分が少ない : 6. 規則が厳しい 	

IV 通学

費用事項		選択肢	
23. 主な通学手段・方法は、何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 徒歩 : 2. 自転車 	<ul style="list-style-type: none"> : 3. オートバイ : 4. 自動車 : 5. 公共交通機関(電車、バスなど、自転車併用含む) 	

24. 通学の片道の所要時間は、どのくらいですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 30分未満 : 2. 30~60分未満 : 3. 60~90分未満 : 4. 90~120分未満 : 5. 120~150分未満 : 6. 150分以上
---------------------------	--

V 学業、学習環境

選 択 肢 欄	
25. 大学の学業、入学受入方針(アドミッションポリシー)や教育の理念(教育方針)など、入学受入方針を知っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 大学学業を知っている : 2. 入学受入方針を知っている : 3. 教育理念の構成、実施方針を知っている : 4. 学修指導方針を知っている : 5. 全く知らない
26. 25で「1」「2」「3」が「4」と答えた方に伺います。どこで知りましたか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 入学受入方針 : 2. 本学HP : 3. 入学ガイダンス : 4. 履修案内
27. 本学に入学してどの程度満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 満足 : 2. やや満足 : 3. やや不満 : 4. 不満
28. カリキュラム(科目の選択・選択/必修)の自由度(履修の自由度)や時間割にどの程度満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 満足 : 2. やや満足 : 3. やや不満 : 4. 不満
29. 教養科目(共通科目)に対して希望することを教えて下さい(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 時間割の工夫 : 2. 豊富な選択肢 : 3. コミュニケーション言語の充実 : 4. 他学部との交流 : 5. 実用的なスキル/知識の修得 : 6. 自然科学基礎の充実 : 7. その他
30. 講義・実験・実習・学習(履修)レポート作成・ゼミ・研究活動・海外研修・海外ボランティア・国際ボランティアなど、希望する学習活動について伺っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 全くやっていない : 2. 週1時間未満 : 3. 週2時間から4時間未満 : 4. 週4時間から6時間未満 : 5. 週6時間から10時間未満 : 6. 週10時間から20時間未満 : 7. 週20時間以上
31. 授業時間の学習(履修)に必要と思われる設備や対応はありますか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 図書館の増設・延長(休日も開館可) : 2. 図書館内の学習スペース : 3. 校舎内の学習スペース : 4. 無線LAN : 5. コンセント : 6. 学生用ラウンジ : 7. その他
32. 授業がよく理解できなかったときや授業に際して疑問を抱いたときなどは、どのように対応しましたか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 担当教員に授業中に質問等をする : 2. 担当教員に授業時間外に質問等をする : 3. 同じクラスの学生に相談や質問等をする : 4. ネット検索等で自分で解決する : 5. 何もしない : 6. その他
33. 講義室、実験室等の教育設備にどの程度満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 満足 : 2. やや満足 : 3. やや不満 : 4. 不満
34. 33で「3. やや不満」又は「4. 不満」と回答した方に伺います。どの設備を改善を望みますか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 机、椅子 : 2. 講義室の形 : 3. 備品(スクリーン・プロジェクタ・マイク) : 4. 床、壁、天井 : 5. 清潔 : 6. 実験器具 : 7. 空調 : 8. 時計 : 9. その他
35. 校内の環境で改善を望むところはどこですか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 生体 : 2. 食堂 : 3. 体育施設 : 4. 校舎の清掃状況 : 5. ロッカー : 6. トイレ : 7. 部屋 : 8. 駐輪場 : 9. キャンパス内移動 : 10. 夜間照明 : 11. Wi環境 : 12. その他
36. 実験・実習の際に危険を感じたことがありましたか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. なし : 2. 頻度で : 3. 動物で : 4. 機械操作で : 5. 野外実習・見学で : 6. その他
37. 図書館の利用頻度は、どのくらいですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 毎日 : 2. 週に2-3回 : 3. 週に1回 : 4. 2週間1回 : 5. 月に1回 : 6. ほとんど利用しない

38. 図書館の主な用途は何ですか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 学習や研究に必要な文献(専門書、資料、学術雑誌、電子ジャーナルなど)を閲覧したり、借りる : 2. 「1」以外、個人的な興味で、(新聞や一般雑誌などを含む)書籍を閲覧・借りる : 3. 情報端末を利用して文献検索を行う : 4. 「3」以外の目的で、パソコンを利用して使う : 5. 自習室として使う : 6. 打ち合わせ等、グループ学習室として利用する : 7. プリントコピー
39. 図書館にどの程度満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 満足 : 2. やや満足 : 3. やや不満 : 4. 不満
40. 39で「3. やや不満」又は「4. 不満」を選択した人は、どのような点が不満ですか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 蔵書数 : 2. 本の数 : 3. 騒音 : 4. 無縁LAN環境 : 5. シフト/サービス : 6. 利用者のマナー : 7. 開館時間 : 8. その他
41. 在学中に海外で活動した経験がありますか(留学を含む)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. ある : 2. ない
42. 41で「1. 経験がある」と答えた方に伺います。その目的/内容は何か(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 語学研修、語学留学 : 2. 交換留学 : 3. 研究活動 : 4. 学芸参加 : 5. ホームステイ : 6. 語学以外の職業体験 : 7. ワーキングホリデー : 8. 青年海外協力隊等の国際ボランティア : 9. 海外インターンシップ : 10. その他
43. 41で「2. 経験がない」と答えた方に伺います。在学中に海外で活動する希望がありますか(留学を含む)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. ある : 2. ない
44. 43で「1. 希望がある」と答えた方に伺います。どのような海外研修を希望しますか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 語学研修、語学留学 : 2. 交換留学 : 3. 研究活動 : 4. 学芸参加 : 5. ホームステイ : 6. 語学以外の職業体験 : 7. ワーキングホリデー : 8. 青年海外協力隊等の国際ボランティア : 9. 海外インターンシップ : 10. その他
45. 学生が海外での活動のため理由は何だと思いますか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 経済的理由 : 2. 日本での生活が中断される : 3. 海外生活に不安がある : 4. 単位が認定されない : 5. 専攻する可能性が高くなる : 6. 就職活動が滞る : 7. 専門の勉強の方が大事 : 8. 語学力に不安 : 9. その他

VI 課外活動

選 択 肢 欄	
46. 課外活動団体(サークル)に加入していますか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 加入している : 2. 以前は加入していた : 3. 加入していない
47. 46で「1. 加入している」と答えた方に伺います。加入している課外活動は、どれですか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 文化系サークル : 2. 音楽系サークル : 3. 体育系サークル : 4. 農学系サークル : 5. 工学系サークル : 6. 自主ゼミ : 7. その他の学生団体
48. 46で「1. 加入している」と答えた方に伺います。1週間の平均活動時間はどのくらいですか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 1時間未満 : 2. 1時間~5時間未満 : 3. 5時間~10時間未満 : 4. 10時間以上
49. 46で「1. 加入している」と答えた方に伺います。課外活動にどの程度満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. ある : 2. ない
50. 49で「1. ある」と答えた方に伺います。課外活動にどのよう不満がありますか(複数回答可)。	<ul style="list-style-type: none"> : 1. 人間関係 : 2. 学業との両立 : 3. 大学の対応 : 4. サークル活動の内容 : 5. アルバイトができない : 6. 指導者 : 7. 練習施設・設備等 : 8. 経済的負担 : 9. 運営方針 : 10. 活動時間の制限 : 11. その他

51. 46で「1. 加入している」と答えた方に同意する。57で「5. 参加頻度・回数に満足していますか。」と答えた方に同意する。	<p>満足 : 3. やや不満</p> <p>やや満足 : 4. 不満</p>
52. 51で「1. やや不満」又は「4. 不満」と答えた方に同意する。57で「5. 参加頻度・回数に満足していますか。」と答えた方に同意する。	<p>参加頻度・回数に満足していない : 7. ナイター設備がない</p> <p>参加頻度・回数に満足している : 8. その他</p>

Ⅶ ボランティア活動

費用事項		選択肢	
53. 本学に入学後、ボランティア活動の経験があるかを尋ねています。回答は54～57は記入の必要はない。	1. ある	2. ない	
54. 53で「1. ある」と答えた方に伺います。内容は何ですか(複数回答可)。	<p>1. 公共施設での活動(公設演劇・博物館での説明員等)</p> <p>2. 青少年健全育成に関する活動(ボーイ・ガールスカウト活動、子供会等)</p> <p>3. 体験・スポーツ・文化に関する活動(バス・ボート・リクリエーション活動、まつり、学校でのクラブ活動にBTVに関する指導等)</p> <p>4. 人々の学習活動に関する指導活動(小・中学生を対象とした学習指導、自然観察、リサイクル活動等)</p> <p>5. 自然・環境保護に関する活動(環境美化、自然解説、リサイクル活動等)</p>	<p>6. 国際交流(部外)に関する活動(通訳・通訳補助・技術援助・留学生支援等)</p> <p>7. 社会福祉に関する活動(老人や障害者等に対する介護、身のまわりの世話、給食、保育等)</p> <p>8. 保健・医療・福祉に関する活動(病院ボランティア等)</p> <p>9. 交通安全に関する活動(子供の登下校時の安全監視等)</p> <p>10. 自主防災活動や災害援助活動</p>	<p>11. 募金活動、チャリティイベント</p> <p>12. 憲法等の普及活動(ポスター、チラシ)</p> <p>13. 動物の保護や福祉に関するボランティア</p> <p>14. その他</p>
55. 53で「1. ある」と答えた方に伺います。従事している頻度は、どれくらいですか。	1. ほとんど毎日	2. 週に数日程度	3. 月に数日程度 4. 年に数回 5. 1回のみ
56. 53で「1. ない」と答えた方に伺います。支度を希望しますか。	1. はい	2. いいえ	
57. 56で「1. はい」と答えた方に伺います。具体的などのような支度を希望しますか(複数回答可)。	1. 交通費	2. 情報やプログラムの紹介	3. 単位認定 4. 公休扱い 5. その他
58. 53で「1. ない」と答えた方に伺います。ボランティア活動をしてみたいですか。	1. はい	2. いいえ	
59. 58で「1. いいえ」と答えた方は、その理由を選んで下さい(複数回答可)。	1. 時間がない	2. 興味のある活動がない	3. 人に評価されない 4. 特技がない 5. 知り合いが少ない 6. その他

Ⅷ 学生生活

費用事項		選択肢	
60. 60の各項目に関してご回答が、あるかを尋ねています。回答は61～66は記入の必要はない。	1. 学業・研究	2. 学内の課外活動(サークル等)	3. 学外の活動(アルバイト等)
61. 60で「6. 対人関係」と答えた方に伺います。その相手は誰ですか(複数回答可)。	1. 友人	2. 交際相手	3. 教職員 4. 家族 5. 研究室メンバー 6. その他

62. 大学生生活の中で困ったことがありますか。	1. ある	2. ない	
63. 62で「1. 困ったことがある」と答えた方に伺います。どこに又は誰に相談しましたか(複数回答可)。	1. 教務係・学生生活係等	2. 学友相談室	3. 保健管理センター
64. 授業以外で教員と話しますか。	1. 積極的に話している	2. ときどき話をする	3. たまに話すこともある 4. ほとんど話すことはない
65. 授業以外で学生同士での交流がありますか。	1. 積極的に交流している	2. ときどきある	3. たまに交流することはない 4. ほとんど交流することはない
66. 各キャンパスに学業・通学・就職などの相談に役立つ学生相談窓口が開設されているのを知っていますか。	1. 知っている	2. 知らない	
67. 各キャンパスの保健管理センターでカウンセリングが学生生活やメンタルヘルスの相談に役立っているのを知っていますか。	1. 知っている	2. 知らない	
68. 飲み会・コンパなどでの次のような経験はありますか(複数回答可)。	1. 飲酒を強要された	2. 一気飲みをさせられた	3. からまれたり、罵責や脅かされた
69. 毎週1回、各キャンパスのハラスメント相談室で、ハラスメント相談員がハラスメントについての相談や申立て受付をしているのを知っていますか。	1. 知っている	2. 知らない	3. 7. 1～6を目撃したことがある 4. セクハラを受けた 5. 酔ってけがをした 6. 事故を起こした 7. 8. 経験なし
70. セクシュアルハラスメントを覚えていますか。	1. ある	2. ない	
71. 70で「1. セクシュアルハラスメントを覚えています。誰から受けましたか(複数回答可)。	1. 教職員	2. 先輩	3. 同級生 4. 研究室・サークルの仲間 5. その他
72. セクシュアルハラスメント以外のハラスメントを覚えていますか。	1. ある	2. ない	
73. 70で「1. セクシュアルハラスメント以外のハラスメントを覚えています。誰から受けましたか(複数回答可)。	1. 教職員	2. 先輩	3. 同級生 4. 研究室・サークルの仲間 5. その他
74. タバコを吸いますか。	1. 吸う	2. かつて吸っていた	3. 吸わない
75. キャンパス内のマナー(自転車駐輪、タバコゴミ)についての態度満足していますか。	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満 4. 不満
76. 75で「3. やや不満」又は「4. 不満」と答えた方に伺います。不満に思っているのはどのようなことですか(複数回答可)。	1. ゴミの捨て方、処理	2. 大学内の汚れ	3. 自転車の止め方 4. 駐輪場不足 5. 自転車の危険運転 6. タバコの吸い方や喫煙場所 7. タバコの吸殻の処理 8. 自転車や車の速度 9. その他

77. 生協食堂とどれくらいの頻度で利用していますか。(主に活動しているキャンパスの施設について答えてください。)	1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. 全く利用しない	3. 全く利用しない
78. 140周年記念金庫エピソード(小巻井)をどれくらいの頻度で利用していますか。(主に活動しているキャンパスの施設について答えてください。)	1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. 全く利用しない	3. 全く利用しない
79. 喫茶室オリザ(府中)とどれくらいの頻度で利用していますか。	1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. 全く利用しない	3. 全く利用しない
80. 生協購買部(赤坂)とどれくらいの頻度で利用していますか。(主に活動しているキャンパスの施設について答えてください。)	1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. 全く利用しない	3. 全く利用しない
81. 食堂・エピソード・喫茶室(オリザ)などの頻度満足していますか。	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満	3. やや不満 4. 不満
82. 81で3, やや不満, 又は4, 不満, と回答した方に伺います。不満に思う理由(複数回答可)のようご回答ください。	1. コストパフォーマンス 2. 座席数や混雑 3. 営業時間 4. 味 5. メニュー内容や数 6. 清潔さ 7. 店員の接客態度 8. キャンパス間で施設の差が大きい 9. その他	5. メニュー内容や数 6. 清潔さ 7. 店員の接客態度 8. キャンパス間で施設の差が大きい 9. その他
83. 生協購買部(赤坂)などの頻度満足していますか。	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満	3. やや不満 4. 不満
84. 83で3, やや不満, 又は4, 不満, と回答した方に伺います。不満に思う理由(複数回答可)のようご回答ください。	1. コストパフォーマンス 2. 混雑 3. 営業時間 4. 広さ 5. 品揃え 6. 清潔さ 7. 店員の接客態度 8. キャンパス間で施設の差が大きい 9. その他	5. 品揃え 6. 清潔さ 7. 店員の接客態度 8. キャンパス間で施設の差が大きい 9. その他
85. キャンパスの施設・設備環境(講義室・実験室を除く)で改善を希望するところはどこですか(複数回答可)。	1. トイレ 2. 駐車場 3. 駐輪場 4. リフト/エレベーター空間 5. 無線LAN 6. コンセント 7. 自動販売機 8. ロッカー 9. 前活動・サークル用の設備 10. その他	7. 自動販売機 8. ロッカー 9. 前活動・サークル用の設備 10. その他
86. 本年9月に行われた工学部・小金キャンパスの大学祭に参加しましたか。	1. 積極的に参加した 2. 参加した 3. 参加しなかった	2. 参加した 3. 参加しなかった
87. 工学部・小金キャンパスの大学祭に改善を望むことは何ですか(複数回答可)。	1. 開催時期を早くしてほしい 2. 開催時期を遅くしてほしい 3. プログラム内容 4. 出店数を増やしてほしい 5. 出店数を減らしてほしい 6. 会場設備 7. その他	5. 出店数を減らしてほしい 6. 会場設備 7. その他
88. 本年11月に開催される農学部・府中キャンパスの大学祭に参加する予定ですか。	1. 積極的に参加する予定 2. 参加する予定 3. 参加しない予定	3. 参加しない予定
89. 農学部・府中キャンパスの大学祭で改善を望むことは何ですか(複数回答可)。	1. 開催時期を早くしてほしい 2. 開催時期を遅くしてほしい 3. プログラム内容 4. 出店数を増やしてほしい 5. 出店数を減らしてほしい 6. 会場設備 7. その他	7. 前後の休講措置 8. その他
90. (外国人留学生)の方に伺います。留学生生活に感じる情報はどこから得ていますか(複数回答可)。	1. 留学生の手引き 2. 国際センターの教職員 3. 担任教員や指導教員 4. 他の留学生 5. チューター 6. チューター以外の日本人学生 7. インターネット 8. 情報が得られない	7. インターネット 8. 情報が得られない

区 進路(就職・進学)

質問事項	選択肢	選択肢
91. 将来の希望進路を教えてください。	1. 就職 2. 日本国内で進学	3. 未定 4. 海外(留学等)
92. 進路を考えた上で、どの情報入手手段は、何ですか(複数回答可)。	1. 指導教員 2. 就職担当教員 3. 先輩・知人 4. 新聞・マスコミ・就職情報誌	5. インターネット 6. 親・親戚等 7. 大学内資料 8. 会社説明会 9. 書籍・雑誌等 10. 人材派遣会社等 11. その他
93. 将来の希望職種は、何ですか(複数回答可)。	1. 研究(大学・研究所など) 2. 研究・開発(民間企業など) 3. 技術(公務員・独立・材団など) 4. 行政(公務員・独立など)	5. 事務・サービス(民間企業など) 6. 教育 7. 動物病院 8. NPO・NGO職員 9. 国際機関職員 10. 自営業(農業・起業・弁護士等) 11. 自営業・その他 12. 未定
94. どのような就職支援を希望しますか(複数回答可)。	1. 会社説明会の充実 2. 就職ガイダンスの充実 3. 就職情報コーナーの充実	4. インターネットの充実 5. 就職相談窓口の充実 6. OB/OGの紹介 7. 大学推薦 8. その他
95. インターネットの経験はありますか	1. ある 2. ない	
96. 95で「1. ある」と答えた方に伺います。どのようなところにインターネットに行きましたか(複数回答可)。	1. 就職したい企業(団体) 2. OB/OGの勤務先 3. 共同研究先	4. 自身の地元企業(団体) 5. プログラムや内容が魅力的な企業(団体) 6. 期間や条件が合った企業(団体)
97. 95で「1. 就職したい企業(団体)」と回答した方に伺います。インターネットに満足しましたか。	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満	

ご協力ありがとうございます。マークシートは10月20日(火)までに各所属学科等の担当者へ提出してください。

